

消費に対する基本的態度調査 単純集計・クロス集計結果報告書

(科学研究費補助金による支援を受けた研究成果の一部)

山口大学経済学部

柳田 卓爾

はじめに

消費に対する態度は、時代とともに変化しており、また、世代間や集団間などにおいて、違いが明確になりつつあると思われる。高度経済成長期の日本では、将来見通しは明るく、物質的な意味での生活水準の向上を目指し、また、人並みの生活を求めて、消費活動を行っていたとされる。しかし、1970年代以降になると、人々の関心は、モノから心へと移り、他人とは違った自分らしい消費を重視し、また、消費に記号的な意味を付与する傾向を持つようになったとされる。更に、21世紀に入ると、1980年代半ばから1990年代初頭の好景気（バブル経済期）における消費行動を、不景気の今日も保持し続けているのではないかと、と思われるアラフォー世代への興味が持たれたり、その一方で、若者世代は、消費に対して積極的ではないという主張も見られたりするなど、世代ごとに、消費態度が異なっているのではないかと、との議論もなされるようになった。つまり、時代間、世代間などに見られる消費態度の違いを識別することや、時間に関わる軸を用いた市場細分化のための具体的方法を開発することなどの重要性が高まってきたと思われる。本調査の目標とするところも、この点にある。

本調査報告書は、科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究、課題番号：19653031)による資金援助を受けた研究(研究代表者：柳田卓爾)の一部として実施された調査の結果を、報告するものである。この研究は、「エイジング社会における企業戦略」と題し、年齢層別の消費態度の違いを明らかにし、また、消費態度の違いを測定する尺度を用いて、市場を細分化する方法を開発し、企業のマーケティング対応に関する知見を生み出すことを目標としている。この目標のために実施される本調査は、最終的には、(1)消費態度の違いを測定する尺度を構成すること、(2)その尺度を用いて、市場の細分化を行い、どのような性質を持つセグメントが存在しているのかを明らかにすること、を目指している。本調査報告書は、このような最終目標を達成するための第1ステップとして、調査結果を単純集計・クロス集計レベルでまとめ、整理したものである。

本調査報告書は、「はじめに」を除くと、4つの章から構成されている。

1章においては、調査の目的、調査主体・実施主体、調査関連期間について記述している。

2章においては、調査の方法を記述している。調査の方法のみならず、収集したデータの分布について、資料の制約から、性別と年齢別のみではあるが、母集団である旧山口地区の人口分布との比較を行っている。

3章においては、調査によって収集したデータの分布構造を、いくつかの統計的検定の結果と合わせて、記述・考察している。収集したデータについて、できる限り正確に、可能な限り情報を失うことなく縮約し、その構造を記述することを心掛けた。そのため、一見すると無味乾燥な集計表やコメントの続く章になってしまった感は、否めない。

しかし、調査から得ることのできた情報を、可能な限り失うことなく、記録、報告する

ことは、非常に重要である。調査報告書を作成する最大の意義は、まさに、この 3 章にあると言ってよい。そのため、本調査報告書においては、データの分布構造を記述する 3 章の分量が、かなり厚めになっている。

4 章においては、本調査報告書の問題点と今後の課題を記述している。

なお、本調査報告書は、データの分布構造の記述を中心として構成されており、データの解釈については、読者の皆様に委ねるというスタイルを採用している。そのため、1 章から順番にデータを確認していただくというだけではなく、ご自身の関心のある質問項目から、あるいは、興味のある質問項目の結果のみを読み、データの解釈をしていただくという方法もある。本報告書が、皆様の知的好奇心を喚起し、また、想像力を刺激するようなデータを提示できているとすれば、幸いである。

2012 年 1 月末日

柳田 卓爾

目次

1章 調査の目的	1
2章 調査の方法	2
3章 調査の結果と考察	5
3-1 個人属性	5
3-2 意見項目	10
3-2-1 単純集計結果	10
将来見通し	10
自分へのこだわり	13
何ものかへの憧れ	16
他人との違い	20
物質的幸福の追求	23
記号的意味の付与	26
3-2-2 クロス集計結果	30
将来見通し	30
自分へのこだわり	53
何ものかへの憧れ	75
他人との違い	96
物質的幸福の追求	118
記号的意味の付与	140
4章 おわりに～問題点と今後の課題	161
【資料1】 研究計画全体像	
【資料2】 「消費に対する基本的態度」に関する研究調査 アンケート票	

1 章 調査の目的

調査の目的

本調査は、(1)消費態度の違いを測定する尺度を構成すること、(2)その尺度を用いて、市場の細分化を行い、どのような性質を持つセグメントが存在しているのかを明らかにすること、を目指している。本調査報告書は、このような最終目標を達成するための第 1 ステップとして、アンケート調査の回答結果について、単純集計・クロス集計を行い、その分布構造を明らかにすることを目的としている。

調査主体・実施主体

調査主体、実施主体は、いずれも、山口大学経済学部准教授・柳田卓爾である。調査の企画立案から、実施、報告書作成までを、柳田が一人で担当した。また、本調査は、科学研究費補助金(挑戦的萌芽研究、課題番号：19653031)による資金援助を受けた研究(研究代表者：柳田卓爾)の一部として、実施した。本調査報告書は、その研究成果の一部である。

調査関連期間

調査実施期間：平成 21(2009)年 7 月 23 日～9 月 30 日

調査集計・分析期間：平成 21(2009)年 10 月～平成 23(2011)年 12 月

7 月 23 日は、質問紙を発送した日(郵便局に持参した日)、9 月 30 日は、最後の回答済み質問紙が研究室宛に届いた日である。

2章 調査の方法

回答者

回答者は、平成20年12月31日時点の山口市住民基本台帳から、旧山口地区(大殿、白石、湯田地区)に在住している20歳以上69歳以下の方々を母集団とし、無作為抽出(系統抽出)法を用いて1,000人を抽出した。

平成20年12月31日時点の、旧山口地区在住の20歳から69歳の住民数は19,309人であった。抽出間隔は、あらかじめ決めておいた素数19を用いることにした。また、トランプ・カードを用いた方法によって、1から19までの整数の中からランダムに選んだ結果、スタート番号は9となった。住民基本台帳には、今回の抽出の対象者のみではなく、対象者外の方々(20歳未満、70歳以上の方々)も、名簿に記載されている。抽出の際に、対象外の人に当たった場合には、そこからあらためて19番目の人を数え、対象候補者とした¹。系統抽出された1,000人の内訳の概略を、母集団、有効回答者に関するデータと合わせて、図表A、Bとして整理した。

図表A 男女分布の比較

性別	母集団		系統抽出された 1,000人		有効回答者	
	男	9,334	48.3%	475	47.5%	196
女	9,975	51.7%	525	52.5%	253	56.3%
計	19,309	100%	1,000	100%	449	100%

注) 左が人数(単位：人)、右が割合である。

図表B 年齢分布の比較

年齢	母集団		系統抽出された 1,000人		有効回答者	
	20代	3,178	16.5%	133	13.3%	43
30代	4,152	21.5%	219	21.9%	79	17.6%
40代	4,037	20.9%	213	21.3%	90	20.0%
50代	4,150	21.5%	218	21.8%	107	23.8%
60代	3,792	19.6%	217	21.7%	127	28.3%
70代	0	0.0%	0	0.0%	2	0.4%
欠損値	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
計	19,309	100%	1,000	100%	449	99.9%

¹ 詳しい抽出方法の解説については、盛山(2004, p.132-134)を参照のこと。

注 1) 左が人数(単位：人)、右が割合である。

注 2) 四捨五入の関係上、有効回答者の計は 100%になっていない場合がある。

母集団の人数は、19,309 人であり、男女分布は、男性 9,334 人(48.3%)、女性 9,975 人(51.7%)であった。系統抽出された 1,000 人の男女分布は、男性 475 人(47.5%)、女性 525 人(52.5%)であった。また、母集団の年齢分布は、20 代が 3,178 人(16.5%)、30 代が 4,152 人(21.5%)、40 代が 4,037 人(20.9%)、50 代が 4,150 人(21.5%)、60 代が 3,792 人(19.6%)であった。系統抽出された 1,000 人の年齢分布は、20 代が 133 人(13.3%)、30 代が 219 人(21.9%)、40 代が 213 人(21.3%)、50 代が 218 人(21.8%)、60 代が 217 人(21.7%)であった。

系統抽出により抽出された調査対象者 1,000 人のうち、464 人から回答を得ることができた。全回答者 464 人から、全ての質問項目に白紙回答のもの、代理回答と思われるものなど、15 人を除いた。最終的に、449 人が有効回答者となった(有効回答率 44.9%)。

有効回答者の男女分布は、男性 196 人(43.7%)、女性 253 人(56.3%)であった。また、年齢分布は、20 代が 43 人(9.6%)、30 代が 79 人(17.6%)、40 代が 90 人(20.0%)、50 代が 107 人(23.8%)、60 代が 127 人(28.3%)、70 代²が 2 人(0.4%)、欠損値が 1 人(0.2%)であった。平均年齢は 49.1 歳(年齢項目が欠損値であった 1 名を除く 448 人の平均年齢)であった。

調査方法

個別自記入形式の質問紙を用いて、配布・回収ともに、個別郵送形式で行った。回答は、原則、無記名で行われた。謝礼に関しては、抽選で 20 名の方に、500 円分のギフトカードをお送りする旨、質問紙最終面に記載した。ただし、ギフトカードを希望する回答者には、質問紙最終面で、住所、氏名、電話番号の記載を、また、調査結果の案内を希望する回答者には、メールアドレスの記載を求めた。調査依頼文は、配布した質問紙表紙にて、筆者を研究代表者として記載した。質問紙表紙記載文において、説明合意を得た。また、山口大学経済学部長名にて、調査協力の依頼文書を同封した。回答時間は、おおむね 15 分程度を予想した。2009 年 7 月 23 日に、質問紙を一括送付、7 月 31 日に、質問紙回答・返送のお願いのはがきを一括送付した。

調査内容

本調査の質問紙については、巻末に掲載した。質問紙は、回答者の属性に関することを質問する「個人属性」と、消費に関連する 36 個の意見項目についての態度を質問する「消費に対する基本的態度」から構成されていた。「個人属性」に関しては、性別、年齢、出身都道府県、最終学歴、既婚・未婚、お小遣いの金額の記入を求めた。「消費に対する基本的態度」に関しては、消費に関連する 36 個の意見項目について、「そう思う」、「どちらかという

² 調査対象者は平成 20 年 12 月 31 日時点で、20 歳から 69 歳までであった。しかし、質問紙では、平成 21 年 7 月 1 日現在の年齢を回答するよう求めている。そのため、70 代との回答は、矛盾していない。

「そう思う」、「どちらとも言えない」、「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の5件法で回答を求めた。

この36個の意見項目は、(1)将来見通し(将来について、楽観的な見通しを持っているかどうか)、(2)自分へのこだわり(自分らしさにこだわっているかどうか)、(3)何ものかへの憧れ(他者などへの憧れが強いかどうか)、(4)他人との違い(他人との違いを重視しているかどうか)、(5)物質的幸福の追求(物質的幸福を追求しているかどうか)、(6)記号的意味の付与(持ち物に、記号的な意味を付与しているかどうか)、という6つの概念に着目し、これらの概念を測定可能であると事前想定³し、また、ひとつの概念項目に対して、6つの意見項目を対応させて作成した。物質的幸福の追求に関する意見項目は、Richins & Dawson(1992)の物質主義(materialism)の測定尺度のうち、幸福(happiness)下位尺度の質問項目を参考にして作成した。また、他の5つについては、新聞記事や書籍などを参考に、柳田が作成⁴した。

³ これらの意見項目への回答が、本当に、該当する概念を測定しているかどうかを確かめるためには、いくつかの手続きが必要である(森岡編, 2007, p.189-198)。本調査報告書では、この検証手続きを、別途、研究論文に譲り、意見項目に対する回答行動の分布や、その属性による違いを明らかにすることを目指す。

⁴ 柳田卓爾(2009)「消費に対する基本的態度調査(平成21年度調査A)～単純集計結果報告書～」山口大学経済学会『山口経済学雑誌』58(2): 57-81にて用いた意見項目に、追加、修正を加えたものである。

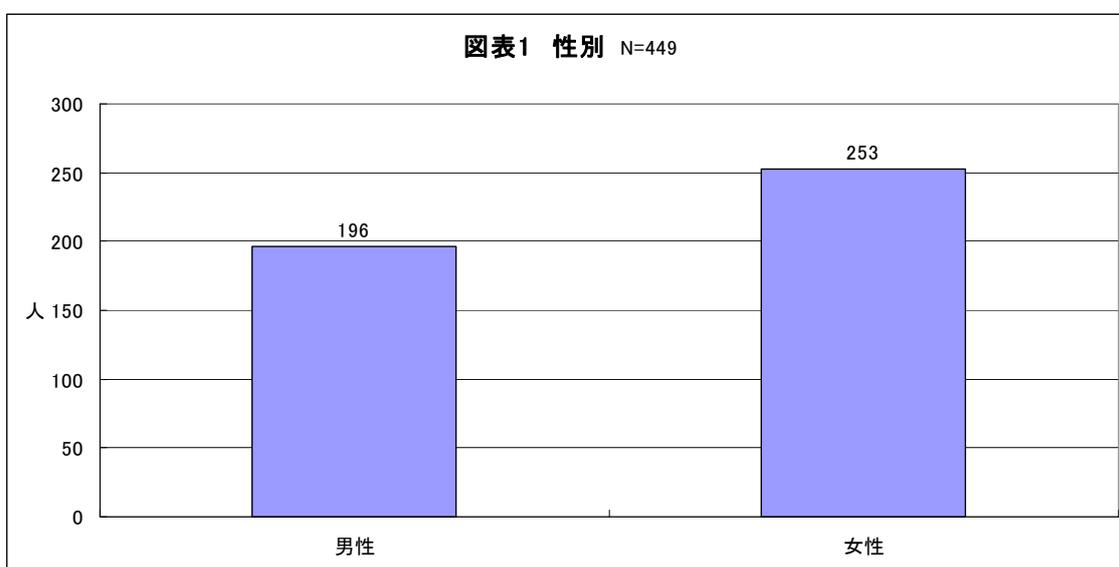
3章 調査の結果

3-1. 個人属性

本節においては、個人属性に関する単純集計結果を記述する。

3-1-1. あなたの、性別をお答えください。

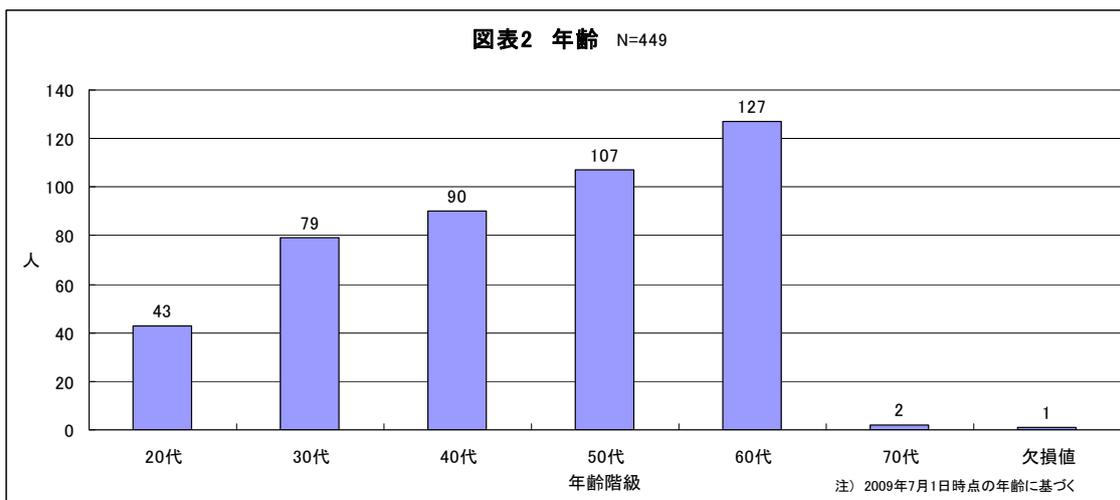
1. 男性
2. 女性



男性 196 名(43.7%)、女性 253 名(56.3%)であった。

なお、今回の調査の母集団の男女分布は、男性 9,334 名(48.3%)、女性 9,975 名(51.7%)であった。

3-1-2. あなたの、年齢をお答えください。(2009年7月1日現在での年齢をお答えください。)



年齢項目が欠損値であった1名を除く有効回答者448名の平均年齢は49.1歳、標準偏差は13.2歳であった。20代43名(9.6%)、30代79名(17.6%)、40代90名(20.0%)、50代107名(23.8%)、60代127名(28.3%)、70代2名(0.4%)、欠損値1名(0.2%)であった。(調査対象者は平成20年12月31日時点で、20歳から69歳までであった。しかし、平成21年7月1日現在の年齢を回答するよう求めている。そのため、70歳との回答は、矛盾していない。)

なお、母集団の年齢分布は、20代3,178名(16.5%)、30代4,152名(21.5%)、40代4,037名(20.9%)、50代4,150名(21.5%)、60代3,792名(19.6%)であった(ただし、平成20年12月31日時点のデータである)。

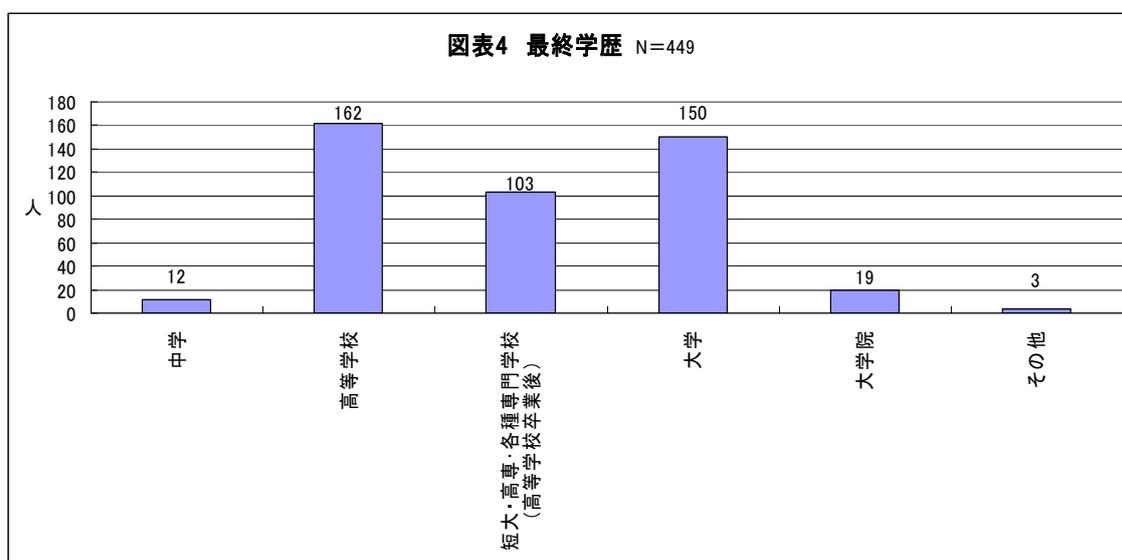
3-1-3. あなたの、出身都道府県をお答えください。

図表3 出身都道府県 N=449

都道府県名	人数(人)
山口	362
福岡	17
島根	10
広島	8
長崎	7
愛知、鹿児島	4
大阪、岡山、大分	3
栃木、神奈川、福井、静岡、京都、兵庫、鳥取、熊本	2
北海道、青森、岩手、群馬、千葉、新潟、三重、奈良、和歌山、佐賀、その他	1
欠損値	1

山口県出身者が 362 名(80.6%)と、大勢を占めた。いわゆる中心市街地とその周辺に相当する旧山口地区(大殿、白石、湯田地区)には、地元出身者が多く在住している様子が見てとれた。

3-1-4. あなたが最後に行った学校(最終学歴)は、次のどれに当たりますか。中退、在学中も卒業と同じ扱いでお答えください。

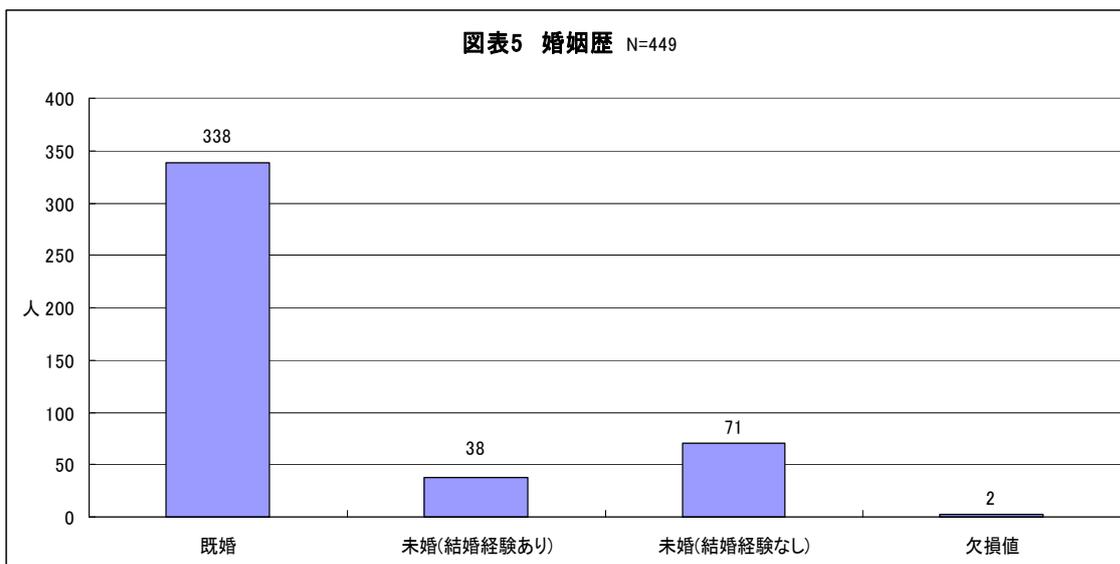


1. 中学
2. 高等学校
3. 短大・高専・各種専門学校(高等学校卒業後)
4. 大学
5. 大学院
6. その他

中学卒が 12 名(2.7%)、高等学校卒が 162 名(36.1%)、短大・高専・各種専門学校(高等学校卒業後)卒が 103 名(22.9%)、大学卒が 150 名(33.4%)、大学院卒が 19 名(4.2%)、その他が 3 名(0.7%)であった。

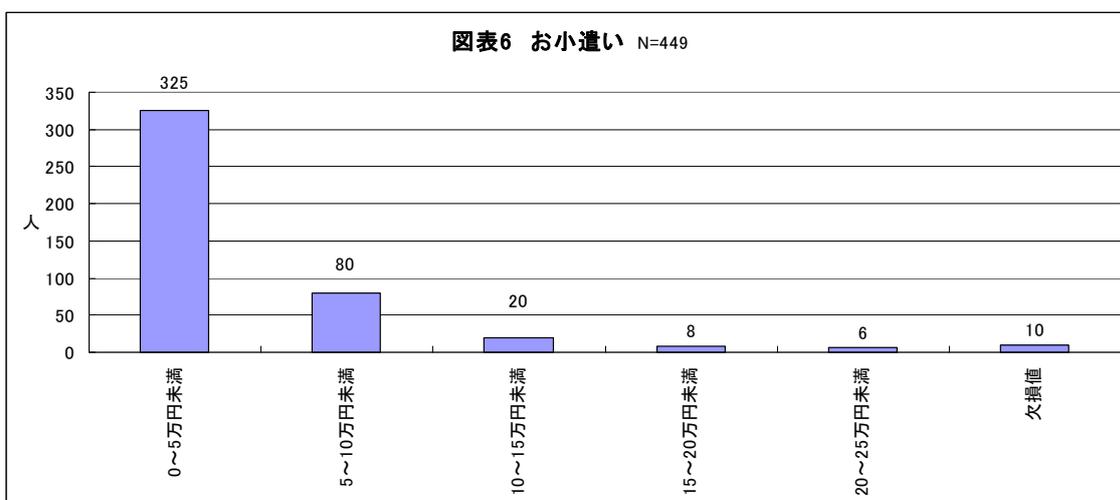
3-1-5. 現在、ご結婚されていますか。

1. 既婚
2. 未婚(結婚経験あり)
3. 未婚(結婚経験なし)



既婚が 338 名(75.3%)であり、大勢を占めた。未婚(結婚経験あり)が 38 名(8.5%)、未婚(結婚経験なし)が 71 名(15.8%)、欠損値 2 名(0.4%)であった。

3-1-6. あなたがご自身の消費のために自由に使うことのできるお金(いわゆる「お小遣い」です。貯金する分は除いて下さい。)は、1ヶ月当たり、いくらですか。おおよその金額をお答えください。(千円台の方は、例えば、8000 円の場合は、0.8 と記入)



欠損値 10 名分を除く 439 名について、お小遣いの平均値は 3 万 3,780 円、標準偏差は 3 万 4,645 円であった。その大半(72.4%)が、0~5 万円未満に分布していた。

3-2. 意見項目

本節においては、36 個の意見項目に関する単純集計・クロス集計結果を記述する。なお、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせて「肯定的回答」、「どちらとも言えない」を「中立的回答」、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせて「否定的回答」と記述する場合がある。

3-2-1 単純集計結果

本項においては、各意見項目の単純集計結果を記述する。

【将来見通し】

Q4 私の人生に、解決できない問題はない

Q4 解決できない・なし

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	199	80	117	22	27	4	449
パーセント	44.3	17.8	26.1	4.9	6.0	.9	100.0

肯定的回答が 49 名(10.9%)、中立的回答が 117 名(26.1%)、否定的回答が 279 名(62.1%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 27 名(6.0%)、「どちらかというと思う」が 22 名(4.9%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 199 名(44.3%)、「どちらかというと思わない」が 80 名(17.8%)であった。最頻値は、「そう思わない」であり、4 割を超えていた。

Q11 私の将来は明るい

Q11 将来・明るい

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	47	49	230	91	31	1	449
パーセント	10.5	10.9	51.2	20.3	6.9	.2	100.0

肯定的回答が 122 名 (27.2%)、中立的回答が 230 名 (51.2%)、否定的回答が 96 名 (21.4%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 31 名 (6.9%)、「どちらかというと思う」が 91 名 (20.3%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 47 名 (10.5%)、「どちらかというと思わない」が 49 名 (10.9%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であり、過半数を占めていた。

平成 21 年度調査A⁵(山口大学学生サンプル)の同一意見項目「Q21 私の将来は明るい」では、肯定的回答が 31.5%、中立的回答が 55.5%、否定的回答が 13.0%であった。調査Aの方が、肯定的回答の割合が高く、否定的回答の割合が低かった。中立的回答は、調査Bの方が 4%程度高かった。全体として、学生サンプルの方が、肯定的回答へと分布が偏っており、将来に対して、明るい見通しを持っていることがわかった。

Q16 私の夢は、必ず叶う(かなう)

Q16 夢は叶う

	どちらか と思わない	どちらか というと思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか というと思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	86	80	185	69	27	2	449
パーセント	19.2	17.8	41.2	15.4	6.0	.4	100.0

肯定的回答が 96 名 (21.4%)、中立的回答が 185 名 (41.2%)、否定的回答が 166 名 (37.0%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 27 名 (6.0%)、「どちらかというと思う」が 69 名 (15.4%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 86 名 (19.2%)、「どちらかというと思わない」が 80 名 (17.8%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であり、約 4 割であった。

⁵ 柳田卓爾(2009)「消費に対する基本的態度調査 (平成 21 年度調査 A) ～単純集計結果報告書～」山口大学経済学会『山口経済学雑誌』58(2): 57-81

Q24 どんな困難があったとしても、私の人生は良い方向に向かっていく

Q24 どんな困難・良い方向に

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	そう思う	欠損値	合計
度数	31	36	192	128	57	5	449
パーセント	6.9	8.0	42.8	28.5	12.7	1.1	100.0

肯定的回答が 185 名 (41.2%)、中立的回答が 192 名 (42.8%)、否定的回答が 67 名 (14.9%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 57 名 (12.7%)、「どちらかというと思う」が 128 名 (28.5%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 31 名 (6.9%)、「どちらかというと思わない」が 36 名 (8.0%) であった。中立的回答が 40% を超えており、最頻値である一方、肯定的回答も、約 4 割あった。

Q26 今の私は、希望に満ちている

Q26 希望に満ちている

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	そう思う	欠損値	合計
度数	55	70	219	72	30	3	449
パーセント	12.2	15.6	48.8	16.0	6.7	.7	100.0

肯定的回答が 102 名 (22.7%)、中立的回答が 219 名 (48.8%)、否定的回答が 125 名 (27.8%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 30 名 (6.7%)、「どちらかというと思う」が 72 名 (16.0%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 55 名 (12.2%)、「どちらかというと思わない」が 70 名 (15.6%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であり、ほぼ半数を占めていた。

Q35 私の人生は右肩上がりだ

Q35 右肩上がり

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	そう思う	欠損値	合計
度数	66	65	245	52	18	3	449
パーセント	14.7	14.5	54.6	11.6	4.0	.7	100.0

肯定的回答が 70 名 (15.6%)、中立的回答が 245 名 (54.6%)、否定的回答が 131 名 (29.2%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 18 名 (4.0%)、「どちらかというと思わ」が 52 名 (11.6%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 66 名 (14.7%)、「どちらかというと思わ」が 65 名 (14.5%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であり、過半数を占めていた。

小括

肯定的回答が過半数を超えた意見項目はなく、否定的回答は、「Q4 私の人生に、解決できない問題はない」が過半数を超えていた。Q4 以外は、いずれも「どちらとも言えない(中立的回答)」が最頻値であった。

【自分へのこだわり】

Q3 自分のファッション・センスを、もっと磨(みが)きたい

Q3 ファッション・センス

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	そう思う	欠損値	合計
度数	75	39	117	137	80	1	449
パーセント	16.7	8.7	26.1	30.5	17.8	.2	100.0

肯定的回答が 217 名 (48.3%)、中立的回答が 117 名 (26.1%)、否定的回答が 114 名 (25.4%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 80 名 (17.8%)、「どちらかというと思わ」が 137 名 (30.5%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 75 名 (16.7%)、「どちらかというと思わ」が 39 名 (8.7%) であった。最頻値は、「どちらかというと思わ」

であり、約 3 割であった。肯定的回答が、半数近くを占める一方、中立的回答、否定的回答は、それぞれ 4 分の 1 を占めていた。

Q17 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている

Q17 自分らしいライフスタイル

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	20	26	130	167	105	1	449
パーセント	4.5	5.8	29.0	37.2	23.4	.2	100.0

肯定的回答が 272 名 (60.6%)、中立的回答が 130 名 (29.0%)、否定的回答が 46 名 (10.2%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 105 名 (23.4%)、「どちらかというと思う」が 167 名 (37.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 20 名 (4.5%)、「どちらかというと思わない」が 26 名 (5.8%) であった。最頻値は、「どちらかというと思う」であり、4 割近くであった。肯定的回答が 6 割であり、否定的回答は 1 割と少なく、その一方で、中立的回答は 3 割近くを占めていた。

Q18 個性的でありたい

Q18 個性的

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	33	38	161	140	76	1	449
パーセント	7.3	8.5	35.9	31.2	16.9	.2	100.0

肯定的回答が 216 名 (48.1%)、中立的回答が 161 名 (35.9%)、否定的回答が 71 名 (15.8%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 76 名 (16.9%)、「どちらかというと思う」が 140 名 (31.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 33 名 (7.3%)、「どちらかというと思わない」が 38 名 (8.5%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であり、30%台半ばであった。肯定的回答が半数近くある一方、中立的回答も約 3 分の 1 あった。

Q23 自分自身の幸せを、一番大切にしたい

Q23 自分自身の幸せ

	どちらか と思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	そう思う	欠損値	合計
度数	69	72	159	95	50	4	449
パーセント	15.4	16.0	35.4	21.2	11.1	.9	100.0

肯定的回答が 145 名 (32.3%)、中立的回答が 159 名 (35.4%)、否定的回答が 141 名 (31.4%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 50 名 (11.1%)、「どちらかというと思わぬ」が 95 名 (21.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 69 名 (15.4%)、「どちらかというと思わぬ」が 72 名 (16.0%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であるものの、肯定的回答、中立的回答、否定的回答のいずれも、それぞれ約 3 分の 1 を占めていた。

Q28 自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまない

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない

	どちらか と思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	そう思う	欠損値	合計
度数	187	111	98	37	12	4	449
パーセント	41.6	24.7	21.8	8.2	2.7	.9	100.0

肯定的回答が 49 名 (10.9%)、中立的回答が 98 名 (21.8%)、否定的回答が 298 名 (66.4%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 12 名 (2.7%)、「どちらかというと思わぬ」が 37 名 (8.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 187 名 (41.6%)、「どちらかというと思わぬ」が 111 名 (24.7%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、約 4 割であった。否定的回答が、6 割を超えており、肯定的回答は 1 割にとどまった。中立的回答は、5 人に 1 人であった。

Q34 自分の趣味や好みを基準にして、買うものを選んでる

Q34 自分の趣味や好みを基準

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	8	11	44	189	194	3	449
パーセント	1.8	2.4	9.8	42.1	43.2	.7	100.0

肯定的回答が 383 名 (85.3%)、中立的回答が 44 名 (9.8%)、否定的回答が 19 名 (4.2%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 194 名 (43.2%)、「どちらかというそう思う」が 189 名 (42.1%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」は 8 名 (1.8%)、「どちらかというそう思わない」は 11 名 (2.4%) であった。最頻値は、「そう思う」であり、4 割を超えていた。中立的回答と否定的回答を合わせても、15%程度であった。

小括

肯定的回答が過半数を超えた意見項目は、「Q17 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている」と「Q34 自分の趣味や好みを基準にして、買うものを選んでる」であり、過半数は超えていないものの、48%台であった意見項目が「Q3 自分のファッション・センスを、もっと磨(みが)きたい」と「Q18 個性的でありたい」であった。

「Q28 自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまない」は、否定的回答が過半数を超えており、「Q23 自分自身の幸せを、一番大切にしたい」は、肯定的回答、否定的回答、中立的回答が、それぞれ約 3 割ずつであった。

【何ものかへの憧れ】

Q7 流行しているものが好きだ

Q7 流行

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	155	115	133	36	9	1	449
パーセント	34.5	25.6	29.6	8.0	2.0	.2	100.0

肯定的回答が 45 名 (10.0%)、中立的回答が 133 名 (29.6%)、否定的回答が 270 名 (60.1%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 9 名 (2.0%)、「どちらかというと思う」が 36 名 (8.0%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 155 名 (34.5%)、「どちらかというと思わない」が 115 名 (25.6%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、否定的回答が 6 割を占めており、肯定的回答は 1 割であった。

平成 21 年度調査 A (山口大学学生サンプル) の同一意見項目「Q18 流行しているものが好きだ」では、肯定的回答が 41.8%、中立的回答が 39.0%、否定的回答が 19.1% であった。調査 A の方が、肯定的回答の割合が高く、否定的回答の割合が低かった。中立的回答は、調査 A の方が 10% 程度高かった。全体として、学生サンプルの方が、肯定的回答へと分布が偏っており、流行しているものが好きであることがわかった。

Q13 東京は、私にとって魅力的なところだ

Q13 東京・魅力的

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	そう思う	欠損値	合計
度数	189	85	90	55	29	1	449
パーセント	42.1	18.9	20.0	12.2	6.5	.2	100.0

肯定的回答が 84 名 (18.7%)、中立的回答が 90 名 (20.0%)、否定的回答が 274 名 (61.0%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 29 名 (6.5%)、「どちらかというと思う」が 55 名 (12.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 189 名 (42.1%)、「どちらかというと思わない」が 85 名 (18.9%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、4 割を超えていた。否定的回答は、約 6 割であり、肯定的回答は、10% 台後半であった。

Q20 セレブのような生活に、あこがれる

Q20 セレブ生活

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	そう思う	欠損値	合計
度数	158	83	111	63	31	3	449
パーセント	35.2	18.5	24.7	14.0	6.9	.7	100.0

肯定的回答が 94 名 (20.9%)、中立的回答が 111 名 (24.7%)、否定的回答が 241 名 (53.7%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 31 名 (6.9%)、「どちらかというと思う」が 63 名 (14.0%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 158 名 (35.2%)、「どちらかというと思わない」が 83 名 (18.5%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、否定的回答は、過半数を占めていた。肯定的回答は 5 分の 1 程度であった。

平成 21 年度調査 A(山口大学学生サンプル)の同一意見項目「Q12 セレブのような生活にあこがれる」では、肯定的回答が 43.8%、中立的回答が 22.6%、否定的回答が 19.9% であった。調査 A の方が、肯定的回答の割合が高く、否定的回答の割合が低かった。中立的回答は、どちらの調査においても、20% 台前半であった。学生サンプルの方が、肯定的回答へと分布が偏っており、セレブのような生活への憧れの程度の高いことがわかった。

Q29 有名人やモデルのファッションが気になる

Q29 有名人やモデル

	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思っ る	そう思う	欠損値	合計
度数	254	111	49	24	8	3	449
パーセント	56.6	24.7	10.9	5.3	1.8	.7	100.0

肯定的回答が 32 名 (7.1%)、中立的回答が 49 名 (10.9%)、否定的回答が 365 名 (81.3%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 8 名 (1.8%)、「どちらかというと思う」が 24 名 (5.3%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 254 名 (56.6%)、「どちらかというと思わない」が 111 名 (24.7%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、過半数を超えていた。また、否定的回答は、約 8 割であった。

平成 21 年度調査 A(山口大学学生サンプル)の同一意見項目「Q22 有名人やモデルのファッションが気になる」では、肯定的回答が 40.4%、中立的回答が 32.9%、否定的回答が 26.7% であった。調査 A の方が、肯定的回答の割合が高く、否定的回答の割合が低かった。中立的回答の割合が、調査 A の方が 20% 程度高かった。学生サンプルの方が、肯定的回答へと分布が偏っており、有名人やモデルといった人たちのファッションを意識している程度の高いことがわかった。

Q31 高級ブランド品をたくさん持っている人が、うらやましい

Q31 高級ブランド品・うらやましい

	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	276	93	58	15	4	449
パーセント	61.5	20.7	12.9	3.3	.9	100.0

肯定的回答が 19 名(4.2%)、中立的回答が 58 名(12.9%)、否定的回答が 369 名(82.2%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 4 名(0.9%)、「どちらかというそう思う」が 15 名(3.3%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 276 名(61.5%)、「どちらかというそう思わない」が 93 名(20.7%)であった。最頻値は、「そう思わない」であり、約 6 割であった。否定的回答は、約 8 割であった。

Q33 他人の持っている物が、良く見えてしまう

Q33 他人の持ち物・良く見える

	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	173	99	128	39	7	449
パーセント	38.5	22.0	28.5	8.7	1.6	100.0

肯定的回答が 46 名(10.2%)、中立的回答が 128 名(28.5%)、否定的回答が 272 名(60.6%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 7 名(1.6%)、「どちらかというそう思う」が 39 名(8.7%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 173 名(38.5%)、「どちらかというそう思わない」が 99 名(22.0%)であった。最頻値は、「そう思わない」であり、否定的回答が、約 6 割であり、肯定的回答は、約 1 割であった。

小括

「Q29 有名人やモデルのファッションが気になる」と「Q31 高級ブランド品をたくさん持っている人が、うらやましい」は、否定的回答が 80%台であり、「Q7 流行しているものが好きだ」、「Q13 東京は、私にとって魅力的なところだ」、「Q33 他人の持っている物が、

良く見えてしまう」の 3 つは、60%台であった。また、「Q20 セレブのような生活に、あこがれる」も、否定的回答が、過半数を超えていた。全ての意見項目について、否定的回答が過半数か、過半数を大きく超えていた。

【他人との違い】

Q6 他人と似たようなファッションはしたくない

Q6 他人と似たような

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	63	56	152	113	64	1	449
パーセント	14.0	12.5	33.9	25.2	14.3	.2	100.0

肯定的回答が 177 名 (39.4%)、中立的回答が 152 名 (33.9%)、否定的回答が 119 名 (26.5%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 64 名 (14.3%)、「どちらかというそう思う」が 113 名 (25.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 63 名 (14.0%)、「どちらかというそう思わない」が 56 名 (12.5%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であった。

Q10 友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している

Q10 友だちとの違い・おしゃれ基準

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	186	121	99	34	7	2	449
パーセント	41.4	26.9	22.0	7.6	1.6	.4	100.0

肯定的回答が 41 名 (9.1%)、中立的回答が 66 名 (22.0%)、否定的回答が 307 名 (68.4%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 7 名 (1.6%)、「どちらかというそう思う」が 34 名 (7.6%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 186 名 (41.4%)、「どちらかというそう思わない」が 121 名 (26.9%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、約 4 割であった。否定的回答は、約 7 割を占めていた。

Q12 人まねは好きではない

Q12 人まね・好きではない

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	18	34	125	130	140	2	449
パーセント	4.0	7.6	27.8	29.0	31.2	.4	100.0

肯定的回答が 270 名 (60.1%)、中立的回答が 125 名 (27.8%)、否定的回答が 52 名 (11.6%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 140 名 (31.2%)、「どちらかというそう思う」が 130 名 (29.0%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 18 名 (4.0%)、「どちらかというそう思わない」が 34 名 (7.6%) であった。最頻値は、「そう思う」であり、肯定的回答が、約 6 割を占めた。

Q25 他の人とは違った物を持ちたい

Q25 他の人・違った物

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	98	74	165	72	36	4	449
パーセント	21.8	16.5	36.7	16.0	8.0	.9	100.0

肯定的回答が 108 名 (24.1%)、中立的回答が 165 名 (36.7%)、否定的回答が 172 名 (38.3%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 36 名 (8.0%)、「どちらかというそう思う」が 72 名 (16.0%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 98 名 (21.8%)、「どちらかというそう思わない」が 74 名 (16.5%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であった。

Q32 服を購入する際、友人と似たファッションにならないように気をつける

Q32 友人と似たファッションにならない

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	95	75	129	111	36	3	449
パーセント	21.2	16.7	28.7	24.7	8.0	.7	100.0

肯定的回答が 147 名(32.7%)、中立的回答が 129 名(28.7%)、否定的回答が 170 名(37.9%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 36 名(8.0%)、「どちらかというそう思う」が 111 名(24.7%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 95 名(21.2%)、「どちらかというそう思わない」が 75 名(16.7%)であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であった。

Q36 自分と同じファッション・アイテムを友だちが持っていることが分かったら、良い気持ちがない

Q36 自分と同じアイテム・良い気持ちがない

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	159	94	126	51	16	3	449
パーセント	35.4	20.9	28.1	11.4	3.6	.7	100.0

肯定的回答が 67 名(14.9%)、中立的回答が 126 名(28.1%)、否定的回答が 253 名(56.3%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 16 名(3.6%)、「どちらかというそう思う」が 51 名(11.4%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 159 名(35.4%)、「どちらかというそう思わない」が 94 名(20.9%)であった。最頻値は、「そう思わない」であり、否定的回答が、過半数を超えていた。

小括

「Q12 人まねは好きではない」は、肯定的回答が、約 6 割であった。否定的回答が、過半数を超えていたのは、「Q10 友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している」(68.4%)と「Q36 自分と同じファッション・アイテムを友だちが持っていることが分か

ると、良い気持ちがしない」(56.3%)であった。残り 2 つの意見項目には、半数を超えるカテゴリーはなかった。

【物質的幸福の追求】

Q5 欲しい物が買えないと、みじめな気持ちになる

Q5 みじめな気持ち							
	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	207	100	82	39	20	1	449
パーセント	46.1	22.3	18.3	8.7	4.5	.2	100.0

肯定的回答が 59 名(13.1%)、中立的回答が 82 名(18.3%)、否定的回答が 307 名(68.4%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 20 名(4.5%)、「どちらかというと思う」が 39 名(8.7%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 207 名(46.1%)、「どちらかというと思わない」が 100 名(22.3%)であった。最頻値は、「そう思わない」であり、否定的回答が、7 割近くを占めていた。

Q8 買いたい物が、私にはたくさんある

Q8 買いたいもの							
	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	101	98	97	88	64	1	449
パーセント	22.5	21.8	21.6	19.6	14.3	.2	100.0

肯定的回答が 152 名(33.9%)、中立的回答が 97 名(21.6%)、否定的回答が 199 名(44.3%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 64 名(14.3%)、「どちらかというと思う」が 88 名(19.6%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 101 名(22.5%)、「どちらかというと思わない」が 98 名(21.8%)であった。最頻値は、「そう思わない」であった。

Q19 消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ

Q19 消費・お金に余裕・幸せ

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	56	41	125	152	74	1	449
パーセント	12.5	9.1	27.8	33.9	16.5	.2	100.0

肯定的回答が 226 名 (50.3%)、中立的回答が 125 名 (27.8%)、否定的回答が 97 名 (21.6%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 74 名 (16.5%)、「どちらかというそう思う」が 152 名 (33.9%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 56 名 (12.5%)、「どちらかというそう思わない」が 41 名 (9.1%) であった。最頻値は、「どちらかというそう思う」であり、肯定的回答が過半数を占めており、また、否定的回答は 5 分の 1 程度であった。

Q22 良い商品は、私の人生を豊かにする

Q22 良い商品・豊か

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	53	42	159	138	54	3	449
パーセント	11.8	9.4	35.4	30.7	12.0	.7	100.0

肯定的回答が 192 名 (42.8%)、中立的回答が 159 名 (35.4%)、否定的回答が 95 名 (21.2%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 54 名 (12.0%)、「どちらかというそう思う」が 138 名 (30.7%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 53 名 (11.8%)、「どちらかというそう思わない」が 42 名 (9.4%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であった。

Q27 欲しい物が手に入れば入るほど、私は幸せになれる

Q27 欲しい物・幸せ

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	144	100	133	49	20	3	449
パーセント	32.1	22.3	29.6	10.9	4.5	.7	100.0

肯定的回答が 69 名 (15.4%)、中立的回答が 133 名 (29.6%)、否定的回答が 244 名 (54.3%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 20 名 (4.5%)、「どちらかというそう思う」が 49 名 (10.9%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 144 名 (32.1%)、「どちらかというそう思わない」が 100 名 (22.3%) であった。最頻値は、「そう思わない」であり、否定的回答が、半数を超えた。

Q30 貯蓄するより、消費したい

Q30 貯蓄より消費

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	133	112	156	33	11	4	449
パーセント	29.6	24.9	34.7	7.3	2.4	.9	100.0

肯定的回答が 44 名 (9.8%)、中立的回答が 156 名 (34.7%)、否定的回答が 245 名 (54.6%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 11 名 (2.4%)、「どちらかというそう思う」が 33 名 (7.3%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 133 名 (29.6%)、「どちらかというそう思わない」が 112 名 (24.9%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であり、また、否定的回答が半数を超えていた。

小括

「Q19 消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ」は、肯定的回答が過半数であった。否定的回答が過半数を超えた意見項目は、「Q5 欲しい物が買えないと、みじめな気持ちになる」(68.4%)、「Q27 欲しい物が手に入れば入るほど、私は幸せになれる」(54.3%)、「Q30

貯蓄するより、消費したい」(54.6%)であった。残り 2 つの意見項目には、半数を超えるカテゴリーはなかった。

【記号的意味の付与】

Q1 自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたい

Q1 地位や役割にふさわしい物							
	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	78	67	106	137	58	3	449
パーセント	17.4	14.9	23.6	30.5	12.9	.7	100.0

肯定的回答が 195 名 (43.4%)、中立的回答が 106 名 (23.6%)、否定的回答が 145 名 (32.3%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 58 名 (12.9%)、「どちらかというと思おう」が 137 名 (30.5%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 78 名 (17.4%)、「どちらかというと思わない」が 67 名 (14.9%) であった。最頻値は、「どちらかというと思おう」であった。

Q2 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる

Q2 自分の価値・高まる							
	そう思わない	どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	123	64	106	114	40	2	449
パーセント	27.4	14.3	23.6	25.4	8.9	.4	100.0

肯定的回答が 154 名 (34.3%)、中立的回答が 106 名 (23.6%)、否定的回答が 187 名 (41.6%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 40 名 (8.9%)、「どちらかというと思おう」が 114 名 (25.4%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 123 名 (27.4%)、「どちらかというと思わない」が 64 名 (14.3%) であった。最頻値は、「そう思わない」であった。

平成 21 年度調査 A(山口大学学生サンプル)の同一意見項目「Q6 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる」では、肯定的回答が 52.7%、中立的回答が 25.3%、否定的回

答が 21.9%であった。調査 A の方が、肯定的回答の割合が高く、否定的回答の割合が低かった。中立的回答は、2つの調査ともに、全体のほぼ 4 分の 1 の割合であった。学生サンプルの方が、肯定的回答へと分布が偏っており、物を所有することを通じて、自分の価値を確認する傾向の高いことがわかった。

Q9 持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断することが多い

Q9 持ち物を見て・判断

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思 う	欠損値	合計
度数	107	98	129	95	19	1	449
パーセント	23.8	21.8	28.7	21.2	4.2	.2	100.0

肯定的回答が 114 名 (25.4%)、中立的回答が 129 名 (28.7%)、否定的回答が 205 名 (45.7%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 19 名 (4.2%)、「どちらかというそう思う」が 95 名 (21.2%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 107 名 (23.8%)、「どちらかというそう思わない」が 98 名 (21.8%) であった。最頻値は、「どちらとも言えない」であった。

Q14 プレゼントをもらうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる

Q14 プレゼント・贈り主の気持ち

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思 う	欠損値	合計
度数	9	11	80	209	139	1	449
パーセント	2.0	2.4	17.8	46.5	31.0	.2	100.0

肯定的回答が 348 名 (77.5%)、中立的回答が 80 名 (17.8%)、否定的回答が 20 名 (4.5%) であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が 139 名 (31.0%)、「どちらかというそう思う」が 209 名 (46.5%) であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が 9 名 (2.0%)、「どちらかというそう思わない」が 11 名 (2.4%) であった。最頻値は、「どちらかというそう思う」であった。

Q15 今の自分が持っている物は、私のこれまでの努力の証(あかし)だ

Q15 努力の証

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	81	62	169	89	47	1	449
パーセント	18.0	13.8	37.6	19.8	10.5	.2	100.0

肯定的回答が136名(30.3%)、中立的回答が169名(37.6%)、否定的回答が143名(31.8%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が47名(10.5%)、「どちらかというそう思う」が89名(19.8%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が81名(18.0%)、「どちらかというそう思わない」が62名(13.8%)であった。最頻値は、「どちらかとも言えない」であった。

Q21 身の丈(みのたけ)に合わない物は持ちたくない

Q21 身の丈

	そう思わない	どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思う	欠損値	合計
度数	27	35	87	157	140	3	449
パーセント	6.0	7.8	19.4	35.0	31.2	.7	100.0

肯定的回答が297名(66.1%)、中立的回答が87名(19.4%)、否定的回答が62名(13.8%)であった。肯定的回答のうち、「そう思う」が140名(31.2%)、「どちらかというそう思う」が157名(35.0%)であった。否定的回答のうち、「そう思わない」が27名(6.0%)、「どちらかというそう思わない」が35名(7.8%)であった。最頻値は、「どちらかというそう思う」であった。

小括

肯定的回答が過半数を超えた意見項目は、「Q14 プレゼントをもらうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる」(77.5%)と「Q21 身の丈(みのたけ)に合わない物は持ちたくない」(66.1%)であった。他の4つの意見項目には、過半数を超えるカテゴリーはなかった。

(3-2-1 単純集計結果は、以上)

3-2-2 クロス集計結果

本項においては、各意見項目のクロス集計結果を記述する。クロス集計表は、表側が性別、年齢、学歴、結婚、表頭が各意見項目に対する回答である。クロス集計表と合わせて、 χ^2 検定の結果、また、 χ^2 検定が有意である場合には、残差分析表を記載している。

【将来見通し-性別】

Q4 私の人生に、解決できない問題はない

Q4 解決できない・なし クロス集計表

		どちらか					
		どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	合計		
男性	度数	96	36	43	8	13	196
	性別の%	49.0%	18.4%	21.9%	4.1%	6.6%	100.0%
女性	度数	103	44	74	14	14	249
	性別の%	41.4%	17.7%	29.7%	5.6%	5.6%	100.0%
合計	度数	199	80	117	22	27	445
	性別の%	44.7%	18.0%	26.3%	4.9%	6.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.69。

注2) $\chi^2(4)=4.687$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=4.687$, n. s.)、性別と「意見項目への回答」(以下、回答行動)との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q11 私の将来は明るい

Q11 将来・明るい クロス集計表

		どちらか という と そう 思 わ な い					どちら と も 言 え な い		どちら か と い う と そ う 思 う		合計
		そう 思 わ な い	そ う 思 わ な い	い	そ う 思 う	そ う 思 う					
男性	度数	28	21	103	31	13			196		
	性別の%	14.3%	10.7%	52.6%	15.8%	6.6%			100.0%		
女性	度数	19	28	127	60	18			252		
	性別の%	7.5%	11.1%	50.4%	23.8%	7.1%			100.0%		
合計	度数	47	49	230	91	31			448		
	性別の%	10.5%	10.9%	51.3%	20.3%	6.9%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は13.56。

注2) $\chi^2(4)=8.407, p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(4)=8.407, p<.1$)。つまり、性別は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q11 将来・明るい 残差分析表

		どちらか という と そう 思 わ な い					どちら と も 言 え な い		どちら か と い う と そ う 思 う	
		そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	い	そ う 思 う	そ う 思 う				
男性		2.31*	-.13	.45	-2.09*	-.21				
女性		-2.31*	.13	-.45	2.09*	.21				

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「そう思わない」、女性で「どちらかというと思う」が、プラスに有意であり、男性で「どちらかというと思う」、女性で「そう思わない」が、マイナスに有意であった。

男性には、将来が明るい、どちらかというと思っている人は少なく、将来が明るいと思わない人の多いことが示唆された。反対に、女性には、将来が明るい、どちらかというと思っている人が多く、将来が明るいと思わない人の少ないことが示唆された。女性の方が、将来に楽観的であることを示唆するデータであった。

Q16 私の夢は、必ず叶う(かなう)

Q16 夢は叶う クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない ない					合計
		どちら と も言 えな い	どちら か と い う と 思 う	ど ち ら か と い う と 思 う	ど ち ら か と い う と 思 わ ない	ど ち ら か と い う と 思 わ ない	
男性	度数	44	38	78	26	9	195
	性別の%	22.6%	19.5%	40.0%	13.3%	4.6%	100.0%
女性	度数	42	42	107	43	18	252
	性別の%	16.7%	16.7%	42.5%	17.1%	7.1%	100.0%
合計	度数	86	80	185	69	27	447
	性別の%	19.2%	17.9%	41.4%	15.4%	6.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は11.78。

注2) $\chi^2(4)=4.790$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=4.790$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q24 どんな困難があったとしても、私の人生は良い方向に向かっていく

Q24 どんな困難・良い方向に クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない ない					合計
		どちら と も言 えな い	どちら か と い う と 思 う	ど ち ら か と い う と 思 う	ど ち ら か と い う と 思 わ ない	ど ち ら か と い う と 思 わ ない	
男性	度数	17	18	89	50	17	191
	性別の%	8.9%	9.4%	46.6%	26.2%	8.9%	100.0%
女性	度数	14	18	103	78	40	253
	性別の%	5.5%	7.1%	40.7%	30.8%	15.8%	100.0%
合計	度数	31	36	192	128	57	444
	性別の%	7.0%	8.1%	43.2%	28.8%	12.8%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は13.34。

注2) $\chi^2(4)=8.219$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(4)=8.219$, $p<.1$)。つまり、性別は、回答行動

に関連していることが示唆された。

Q24 どんな困難・良い方向に 残差分析表

	どちらか				
	という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う	
男性	1.38	.88	1.24	-1.07	-2.15*
女性	-1.38	-.88	-1.24	1.07	2.15*

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「そう思う」が、マイナスに有意であり、女性で「そう思う」が、プラスに有意であった。

男性には、自分の人生が良い方向に向っていくと思っている人が少なく、反対に、女性には、そう思っている人の多いことが示唆された。女性の方が、困難に対して前向きであることを伺わせるデータであった。

Q26 今の私は、希望に満ちている

Q26 希望に満ちている クロス集計表

		どちらか					合計
		という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う		
男性	度数	28	29	97	27	12	193
	性別の%	14.5%	15.0%	50.3%	14.0%	6.2%	100.0%
女性	度数	27	41	122	45	18	253
	性別の%	10.7%	16.2%	48.2%	17.8%	7.1%	100.0%
合計	度数	55	70	219	72	30	446
	性別の%	12.3%	15.7%	49.1%	16.1%	6.7%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は12.98。

注2) $\chi^2(4)=2.605$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=2.605$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q35 私の人生は右肩上がりだ

Q35 右肩上がり クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな というと ない ない い そう思う そう思う					合計
男性	度数	31	28	112	15	7	193
	性別の%	16.1%	14.5%	58.0%	7.8%	3.6%	100.0%
女性	度数	35	37	133	37	11	253
	性別の%	13.8%	14.6%	52.6%	14.6%	4.3%	100.0%
合計	度数	66	65	245	52	18	446
	性別の%	14.8%	14.6%	54.9%	11.7%	4.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.79。

注2) $\chi^2(4)=5.513$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=5.513$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【将来見通し-年齢】

Q4 私の人生に、解決できない問題はない

Q4 解決できない・なし クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
40 歳未満	度数	56	26	27	2	11	122	
	年齢の%	45.9%	21.3%	22.1%	1.6%	9.0%	100.0%	
40~60 歳 未満	度数	86	37	51	8	12	194	
	年齢の%	44.3%	19.1%	26.3%	4.1%	6.2%	100.0%	
60 歳以上	度数	57	17	38	12	4	128	
	年齢の%	44.5%	13.3%	29.7%	9.4%	3.1%	100.0%	
合計	度数	199	80	116	22	27	444	
	年齢の%	44.8%	18.0%	26.1%	5.0%	6.1%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.05。

注2) $\chi^2(8)=15.457, p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(8)=15.457, p<.1$)。つまり、年齢は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q4 解決できない・なし 残差分析表

	どちらか という と				
	そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う
	40 歳未満	.28	1.11	-1.18	-1.98*
40~60 歳未満	-.18	.51	.07	-.71	.08
60 歳以上	-.08	-1.65 [†]	1.09	2.73**	-1.66 [†]

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40 歳未満で「どちらかというと思う」、が、マイナスに有意であった。60 歳以上で「どちらかというと思う」が、プラスに有意であった。また、60 歳以上で「思う」、「どちらかというと思わない」の 2 つのセルが、マイナスに有意傾向

であった。

40 歳未満には、自分の人生に、解決できない問題はないと、どちらかというと思っている人が少ないことが示唆された。60 歳以上については、そう思うと言い切れる人は少なめではあるけれども、どちらかというと思う人は多いことが示唆された。高年層の方が、若年層よりも、問題解決については、楽観的であることを示唆するデータであった。

Q11 私の将来は明るい

Q11 将来・明るい クロス集計表

		どちらか という と				合計	
		そう思 わない	そう思 わない	どちら とも言 えな い	どちら かとい うと そう思 う	そう思 う	
40 歳未満	度数	10	11	45	37	19	122
	年齢の%	8.2%	9.0%	36.9%	30.3%	15.6%	100.0%
40~60 歳 未満	度数	13	22	122	30	9	196
	年齢の%	6.6%	11.2%	62.2%	15.3%	4.6%	100.0%
60 歳以上	度数	24	16	63	23	3	129
	年齢の%	18.6%	12.4%	48.8%	17.8%	2.3%	100.0%
合計	度数	47	49	230	90	31	447
	年齢の%	10.5%	11.0%	51.5%	20.1%	6.9%	100.0%

注 1) 期待度数 5 未満のセルは、全体の 0.0%。最小期待度数は 8.46。

注 2) $\chi^2(8)=49.318$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった ($\chi^2(8)=49.318$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q11 将来・明るい 残差分析表

	どちらか				
	という		どちらと	どちらか	
	そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う
40歳未満	-.98	-.81	-3.78**	3.29**	4.40**
40~60歳未満	-2.36*	.16	4.03**	-2.25*	-1.72†
60歳以上	3.55**	.62	-.71	-.77	-2.44*

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、「どちらかというと思う」、40~60歳未満で「どちらとも言えない」、60歳以上で「そう思わない」の4つのセルが、プラスに有意であった。40歳未満で「どちらとも言えない」、40~60歳未満で「どちらかというと思う」、「そう思わない」、60歳以上で「そう思う」の4つのセルが、マイナスに有意であった。また、40~60歳未満で「そう思う」が、マイナスに有意傾向であった。

40歳未満では、自分の将来が明るいと思っている人が多く、60歳以上では、自分の将来が明るく思う人が少なく、また、思わない人の多いことがわかった。40~60歳未満については、自分の将来が明るく思う、思わないと回答した人は少なく、判断に迷い、どちらとも言えないと回答している人の多いことがわかった。結果を、大雑把に解釈すると、40歳未満では、将来が明るく思う人が多く、60歳以上では、少なかった。40~60歳未満では、判断に迷う人が多かった。

Q16 私の夢は、必ず叶う(かなう)

Q16 夢は叶う クロス集計表

		どちらか					合計
		という	どちらと	どちらか	という		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
40歳未満	度数	19	20	47	21	15	122
	年齢の%	15.6%	16.4%	38.5%	17.2%	12.3%	100.0%
40~60歳 未満	度数	34	34	86	30	11	195
	年齢の%	17.4%	17.4%	44.1%	15.4%	5.6%	100.0%
60歳以上	度数	33	26	51	18	1	129
	年齢の%	25.6%	20.2%	39.5%	14.0%	.8%	100.0%
合計	度数	86	80	184	69	27	446
	年齢の%	19.3%	17.9%	41.3%	15.5%	6.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.39。

注2) $\chi^2(8)=19.384$, $p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=19.384$, $p<.05$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q16 夢は叶う 残差分析表

		どちらか				
		という	どちらと	どちらか	という	
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う
40歳未満		-1.22	-.52	-.72	.62	3.39**
40~60歳未満		-.87	-.24	1.08	-.04	-.32
60歳以上		2.15*	.78	-.47	-.57	-2.98**

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、60歳以上で「そう思わない」が、プラスに有意であり、60歳以上で「そう思う」が、マイナスに有意であった。

40歳未満では、自分の夢が叶うと思っている人の多いことがわかった。また、60歳以上では、自分の夢が叶うと思っている人は少なく、思っていない人の多いことがわかった。

若年層の方が、高年層よりも、夢が叶うと思う傾向の強いことを示すデータであった。

Q24 どんな困難があったとしても、私の人生は良い方向に向かっていく

Q24 どんな困難・良い方向に クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
40歳未満	度数	11	11	39	42	19	122
	年齢の%	9.0%	9.0%	32.0%	34.4%	15.6%	100.0%
40～60歳未満	度数	8	11	96	54	26	195
	年齢の%	4.1%	5.6%	49.2%	27.7%	13.3%	100.0%
60歳以上	度数	12	14	56	32	12	126
	年齢の%	9.5%	11.1%	44.4%	25.4%	9.5%	100.0%
合計	度数	31	36	191	128	57	443
	年齢の%	7.0%	8.1%	43.1%	28.9%	12.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.54。

注2) $\chi^2(8)=16.183$, $p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=16.183$, $p<.05$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q24 どんな困難・良い方向に 残差分析表

		どちらか				
		という		どちらと	どちらか	
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う
		ない	ない	い	そう思う	そう思う
40歳未満		1.03	.42	-2.92**	1.58	1.05
40～60歳未満		-2.12*	-1.70†	2.30*	-.49	.26
60歳以上		1.31	1.45	.36	-1.02	-1.32

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「どちらとも言えない」、40～60歳未満で「そう思わない」の2つのセルが、マイナスに有意であり、40～60歳未満で「どちらとも言えない」が、プラ

スに有意であった。また、40～60 歳未満で「どちらかというと思わない」が、マイナスに有意傾向であった。

40 歳未満では、どちらとも言えないと回答し、判断に迷っている人が少なかった。40～60 歳未満では、どちらとも言えないと回答し、判断に迷っている人が多く、人生が良い方向に向って行くとは思わない人は少なかった。

Q26 今の私は、希望に満ちている

Q26 希望に満ちている クロス集計表

		どちらか というと思わない				どちらか というと思わない		合計
		そう思 わない	そう思 わない	も言えな い	どちらか というと思 う	どちらか というと思 う		
40 歳未満	度数	11	21	54	26	10	122	
	年齢の%	9.0%	17.2%	44.3%	21.3%	8.2%	100.0%	
40～60 歳 未満	度数	22	31	105	29	10	197	
	年齢の%	11.2%	15.7%	53.3%	14.7%	5.1%	100.0%	
60 歳以上	度数	22	17	60	17	10	126	
	年齢の%	17.5%	13.5%	47.6%	13.5%	7.9%	100.0%	
合計	度数	55	69	219	72	30	445	
	年齢の%	12.4%	15.5%	49.2%	16.2%	6.7%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.22。

注2) $\chi^2(8)=10.157$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=10.157$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q35 私の人生は右肩上がりだ

Q35 右肩上がり クロス集計表

		どちらか					合計
		という	どちらと	どちらか	という		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
40歳未満	度数	14	25	48	23	12	122
	年齢の%	11.5%	20.5%	39.3%	18.9%	9.8%	100.0%
40～60歳 未満	度数	23	24	131	14	5	197
	年齢の%	11.7%	12.2%	66.5%	7.1%	2.5%	100.0%
60歳以上	度数	29	16	65	15	1	126
	年齢の%	23.0%	12.7%	51.6%	11.9%	.8%	100.0%
合計	度数	66	65	244	52	18	445
	年齢の%	14.8%	14.6%	54.8%	11.7%	4.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.93。

注2) $\chi^2(8)=45.824$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=45.824$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q35 右肩上がり 残差分析

		どちらか				
		という	どちらと	どちらか	という	
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う
40歳未満		-1.22	2.16*	-4.03**	2.89**	3.81**
40～60歳未満		-1.67 [†]	-1.29	4.41**	-2.68**	-1.44
60歳以上		3.05**	-.72	-.86	.09	-2.19*

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、「どちらかというそう思う」、「どちらかというそう思わない」、40～60歳未満で「どちらとも言えない」、60歳以上で「そう思わない」が、プラスに有意であった。40歳未満で「どちらとも言えない」、40～60歳未満で「どちらかというそう思う」、60歳以上で「そう思う」が、マイナスに有意であった。また、40～60

歳未満で「そう思わない」が、マイナスに有意傾向であった。

40歳未満では、自分の人生が右肩上がりだと思っている人が多く、また、どちらかというと思わない人も多かった。どちらとも言えないと回答し、判断に迷っている人は、少なかった。40～60歳未満では、どちらかというと思っている人が少なく、どちらとも言えないと回答し、判断に迷っている人が多かった。60歳以上では、人生右肩上がりと思っている人は少なく、そう思わない人の多いことがわかった。大雑把に解釈すると、若年層ほど、人生右肩上がりと思う傾向が強いようであった。しかし、若年層では、そう思わない人も多く、回答が二極化しているようであった。

【将来見通し-学歴】

Q4 私の人生に、解決できない問題はない

Q4 解決できない・なし クロス集計表

		どちらか というと思わ ない	どちら とも言えな い	どちら かとい うと思 う	合計
中学・高校卒	度数	74	29	11	172
	学歴の%	43.0%	16.9%	6.4%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	52	16	5	103
	学歴の%	50.5%	15.5%	4.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	71	35	6	168
	学歴の%	42.3%	20.8%	3.6%	100.0%
合計	度数	197	80	22	443
	学歴の%	44.5%	18.1%	5.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.12。

注2) $\chi^2(8)=4.600$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=4.600$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q11 私の将来は明るい

Q11 将来・明るい クロス集計表

		どちらか という そう思 わない	どちら かとい うとそ う思 う	どちら かとい うとそ う思 う	合計
中学・高校卒	度数	24	22	91	173
	学歴の%	13.9%	12.7%	52.6%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	11	14	53	103
	学歴の%	10.7%	13.6%	51.5%	100.0%
大学・大学院卒	度数	12	13	84	169
	学歴の%	7.1%	7.7%	49.7%	100.0%
合計	度数	47	49	228	445
	学歴の%	10.6%	11.0%	51.2%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.18。

注2) $\chi^2(8)=21.202$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=21.202$, $p<.01$)。学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q11 将来・明るい 残差分析表

	どちらか という そう思 わない	どちら かとい うとそ う思 う	どちら かとい うとそ う思 う	どちら かとい うとそ う思 う	どちら かとい うとそ う思 う
中学・高校卒	1.81 [†]	.92	.46	-2.90**	.36
短大・高専・各種専門学校卒	.04	.95	.05	.89	-2.73**
大学・大学院卒	-1.86 [†]	-1.75 [†]	-.51	2.14*	2.01*

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、中学・高校卒で「どちらかというと思う」、短大・高専・各種専門学校卒で「そう思う」の2つのセルで、マイナスに有意、大学・大学院卒で「そう思う」、「どちらかというと思う」の2つのセルで、プラスに有意であった。

中学・高校卒では、どちらかという将来は明るいと思っている人が少なく、短大・高専・

各種専門学校卒では、将来が明るいと思っている人の少ないことがわかった。大学・大学院卒では、自分の将来が明るいと思っている人は多かった。学歴によって、特に、大学を卒業しているか否かによって、将来見通しの評価が割れていることを伺わせるデータであった。

Q16 私の夢は、必ず叶う(かなう)

Q16 夢は叶う クロス集計表

		どちらか というのと どちらとも言えな い					合計
		そう思 わない	そう思 わない	も言え ない	どちらか という とそう 思う	そう思 う	
中学・高校卒	度数	29	40	68	26	10	173
	学歴の%	16.8%	23.1%	39.3%	15.0%	5.8%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	27	17	40	16	3	103
	学歴の%	26.2%	16.5%	38.8%	15.5%	2.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	30	23	75	26	14	168
	学歴の%	17.9%	13.7%	44.6%	15.5%	8.3%	100.0%
合計	度数	86	80	183	68	27	444
	学歴の%	19.4%	18.0%	41.2%	15.3%	6.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.26。

注2) $\chi^2(8)=11.590$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=11.590$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q24 どんな困難があったとしても、私の人生は良い方向に向かっていく

Q24 どんな困難・良い方向に クロス集計表

		どちらか という そう思 わない	どちら かとい うとそ う思 う	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	合計	
中学・高校卒	度数	11	16	79	37	27	170
	学歴の%	6.5%	9.4%	46.5%	21.8%	15.9%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	9	6	45	34	9	103
	学歴の%	8.7%	5.8%	43.7%	33.0%	8.7%	100.0%
大学・大学院卒	度数	11	14	66	57	20	168
	学歴の%	6.5%	8.3%	39.3%	33.9%	11.9%	100.0%
合計	度数	31	36	190	128	56	441
	学歴の%	7.0%	8.2%	43.1%	29.0%	12.7%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.24。

注2) $\chi^2(8)=10.358$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=10.358$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q35 私の人生は右肩上がりだ

Q35 右肩上がり クロス集計表

		どちらか					合計
		どちらか という そう思 わない	どちら と そう思 わない	どちら と も言え ない	どちら か という と そう思 う	どちら か そう思 う	
中学・高校卒	度数	34	24	93	13	8	172
	学歴の%	19.8%	14.0%	54.1%	7.6%	4.7%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	16	14	56	16	1	103
	学歴の%	15.5%	13.6%	54.4%	15.5%	1.0%	100.0%
大学・大学院卒	度数	16	27	93	23	9	168
	学歴の%	9.5%	16.1%	55.4%	13.7%	5.4%	100.0%
合計	度数	66	65	242	52	18	443
	学歴の%	14.9%	14.7%	54.6%	11.7%	4.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.19。

注2) $\chi^2(8)=14.049$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(8)=14.049$, $p<.1$)。つまり、学歴は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q35 右肩上がり 残差分析表

	どちらか				
	どちらか という そう思 わない		どちら と も言え ない	どちら か という と そう思 う	
	そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う
中学・高校卒	2.29*	-.34	-.19	-2.18*	.50
短大・高専・各種専門学校卒	.21	-.35	-.06	1.37	-1.81†
大学・大学院卒	-2.48*	.65	.24	1.00	1.08

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、中学・高校卒で「そう思わない」が、プラスに有意であり、中学・高校卒で「どちらかというと思う」、大学・大学院卒で「そう思わない」の2つのセルが、マイナスに有意であった。

中学・高校卒では、自分の人生が右肩上がりであると思わない人が多く、どちらかとい

うとそう思う人の少ないことが示唆された。また、大学・大学院卒では、人生右肩上がりと思わない人の少ないことが示唆された。大学・大学院卒の方が、将来見通しについて、悲観的ではないことを伺わせるデータであった。

【将来見通し-結婚】

Q4 私の人生に、解決できない問題はない

Q4 解決できない・なし クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない				どちら と も言え ない と そう思 う		合計
既婚	度数	151	62	82	17	22	334	
	結婚の %	45.2%	18.6%	24.6%	5.1%	6.6%	100.0%	
未婚	度数	47	18	34	5	5	109	
	結婚の %	43.1%	16.5%	31.2%	4.6%	4.6%	100.0%	
合計	度数	198	80	116	22	27	443	
	結婚の %	44.7%	18.1%	26.2%	5.0%	6.1%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.41。

注2) $\chi^2(4)=2.237$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=2.237$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q11 私の将来は明るい

Q11 将来・明るい クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					合計
		どちらか という と そう思 わない	どちらと も言えな い	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う		
既婚	度数	35	35	178	63	26	337
	結婚の %	10.4%	10.4%	52.8%	18.7%	7.7%	100.0%
未婚	度数	12	14	52	26	5	109
	結婚の %	11.0%	12.8%	47.7%	23.9%	4.6%	100.0%
合計	度数	47	49	230	89	31	446
	結婚の %	10.5%	11.0%	51.6%	20.0%	7.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.58。

注2) $\chi^2(4)=3.159$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=3.159$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q16 私の夢は、必ず叶う(かなう)

Q16 夢は叶う クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					合計
		どちらか という と そう思 わない	どちらと も言えな い	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う		
既婚	度数	68	66	134	50	18	336
	結婚の %	20.2%	19.6%	39.9%	14.9%	5.4%	100.0%
未婚	度数	18	13	50	19	9	109
	結婚の %	16.5%	11.9%	45.9%	17.4%	8.3%	100.0%
合計	度数	86	79	184	69	27	445
	結婚の %	19.3%	17.8%	41.3%	15.5%	6.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.61。

注2) $\chi^2(4)=5.551$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=5.551$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

Q24 どんな困難があったとしても、私の人生は良い方向に向かっていく

Q24 どんな困難・良い方向に クロス集計表

		どちらか という と どちらと も言えな い どちらか という と そう思う そう思う				合計	
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思う	そう思う	
既婚	度数	21	28	145	97	42	333
	結婚の %	6.3%	8.4%	43.5%	29.1%	12.6%	100.0%
未婚	度数	10	8	46	30	15	109
	結婚の %	9.2%	7.3%	42.2%	27.5%	13.8%	100.0%
合計	度数	31	36	191	127	57	442
	結婚の %	7.0%	8.1%	43.2%	28.7%	12.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.64。

注2) $\chi^2(4)=1.270$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=1.270$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q26 今の私は、希望に満ちている

Q26 希望に満ちている クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う					
既婚	度数	40	50	168	56	21			335		
	結婚の %	11.9%	14.9%	50.1%	16.7%	6.3%			100.0%		
未婚	度数	15	19	51	15	9			109		
	結婚の %	13.8%	17.4%	46.8%	13.8%	8.3%			100.0%		
合計	度数	55	69	219	71	30			444		
	結婚の %	12.4%	15.5%	49.3%	16.0%	6.8%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.36。

注2) $\chi^2(4)=1.671$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=1.671$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q35 私の人生は右肩上がりだ

Q35 右肩上がり クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う					
既婚	度数	48	46	187	42	12			335		
	結婚の %	14.3%	13.7%	55.8%	12.5%	3.6%			100.0%		
未婚	度数	18	19	56	10	6			109		
	結婚の %	16.5%	17.4%	51.4%	9.2%	5.5%			100.0%		
合計	度数	66	65	243	52	18			444		
	結婚の %	14.9%	14.6%	54.7%	11.7%	4.1%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.42。

注2) $\chi^2(4)=2.874$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=2.874$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

(【将来見通し】のクロス集計結果は、以上)

【自分へのこだわり-性別】

Q3 自分のファッション・センスを、もっと磨（みが）きたい

Q3 ファッション・センス クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
男性	度数	48	22	57	48	21	196	
	性別の%	24.5%	11.2%	29.1%	24.5%	10.7%	100.0%	
女性	度数	27	17	60	89	59	252	
	性別の%	10.7%	6.7%	23.8%	35.3%	23.4%	100.0%	
合計	度数	75	39	117	137	80	448	
	性別の%	16.7%	8.7%	26.1%	30.6%	17.9%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は17.06。

注2) $\chi^2(4)=30.393$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であり ($\chi^2(4)=30.393$, $p<.01$)。性別と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q3 ファッション・センス 残差分析表

		どちらか という と		どちらか という と	
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う
男性		3.87**	1.67 [†]	1.26	-2.47*
女性		-3.87**	-1.67 [†]	-1.26	2.47*

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「そう思わない」、女性で「どちらかというと思う」、「そう思う」の3つのセルが、プラスに有意であり、男性で「そう思う」、「どちらかというと思う」、女性で「そう思わない」が、マイナスに有意であった。また、男性で「どちらかというと思わない」が、プラスに有意傾向、女性で「どちらかというと思わない」が、マイナスに有意傾向であった。

男性では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人は少なく、そ

う思わない人が多かった。女性では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人が多く、そう思わない人が少なかった。女性の方が、ファッション・センスを磨きたいと思う傾向の強いことを伺わせるデータであった。

Q17 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている

Q17 自分らしいライフスタイル クロス集計表

		どちらか					合計
		どちらか と思う ない	どちらか と思う ない	どちらと も言えな い	どちらか と思う	どちらか と思う	
男性	度数	8	13	58	74	43	196
	性別の%	4.1%	6.6%	29.6%	37.8%	21.9%	100.0%
女性	度数	12	13	72	93	62	252
	性別の%	4.8%	5.2%	28.6%	36.9%	24.6%	100.0%
合計	度数	20	26	130	167	105	448
	性別の%	4.5%	5.8%	29.0%	37.3%	23.4%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.75。

注2) $\chi^2(4)=0.922$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=0.922$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q18 個性的でありたい

Q18 個性的 クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない と そう思 う		どちらか という と そう思 う		合計
男性	度数	16	15	66	69	30			196		
	性別の%	8.2%	7.7%	33.7%	35.2%	15.3%			100.0%		
女性	度数	17	23	95	71	46			252		
	性別の%	6.7%	9.1%	37.7%	28.2%	18.3%			100.0%		
合計	度数	33	38	161	140	76			448		
	性別の%	7.4%	8.5%	35.9%	31.3%	17.0%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は14.44。

注2) $\chi^2(4)=3.388$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=3.388$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q23 自分自身の幸せを、一番大切にしたい

Q23 自分自身の幸せ クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない と そう思 う		どちらか という と そう思 う		合計
男性	度数	33	26	70	44	19			192		
	性別の%	17.2%	13.5%	36.5%	22.9%	9.9%			100.0%		
女性	度数	36	46	89	51	31			253		
	性別の%	14.2%	18.2%	35.2%	20.2%	12.3%			100.0%		
合計	度数	69	72	159	95	50			445		
	性別の%	15.5%	16.2%	35.7%	21.3%	11.2%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は21.57。

注2) $\chi^2(4)=3.048$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=3.048$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

Q28 自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまない

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない クロス集計表

		どちらか という と どちらと も言えな い どちらか という と そう思う そう思う					合計
		そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う	
男性	度数	82	42	44	21	4	193
	性別の%	42.5%	21.8%	22.8%	10.9%	2.1%	100.0%
女性	度数	105	69	54	16	8	252
	性別の%	41.7%	27.4%	21.4%	6.3%	3.2%	100.0%
合計	度数	187	111	98	37	12	445
	性別の%	42.0%	24.9%	22.0%	8.3%	2.7%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.20。

注2) $\chi^2(4)=4.686$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=4.686$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q34 自分の趣味や好みを基準にして、買うものを選んでる

Q34 自分の趣味や好みを基準 クロス集計表

		どちらか という と どちらと も言えな い どちらか という と そう思う そう思う					合計
		そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う	
男性	度数	5	7	34	74	73	193
	性別の%	2.6%	3.6%	17.6%	38.3%	37.8%	100.0%
女性	度数	3	4	10	115	121	253
	性別の%	1.2%	1.6%	4.0%	45.5%	47.8%	100.0%
合計	度数	8	11	44	189	194	446
	性別の%	1.8%	2.5%	9.9%	42.4%	43.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の30.0%。最小期待度数は3.46。

期待度数が5未満のセルの比率が30%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできない。

【自分へのこだわり-年齢】

Q3 自分のファッション・センスを、もっと磨（みが）きたい

Q3 ファッション・センス クロス集計表

		どちらか というのと どちらとも 言えない				どちらか というのと そう思う		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	と い う と そ う 思 う	そ う 思 う		
40歳未満	度数	19	6	23	41	33	122	
	年齢の%	15.6%	4.9%	18.9%	33.6%	27.0%	100.0%	
40～60歳 未満	度数	28	19	56	62	31	196	
	年齢の%	14.3%	9.7%	28.6%	31.6%	15.8%	100.0%	
60歳以上	度数	28	14	38	33	16	129	
	年齢の%	21.7%	10.9%	29.5%	25.6%	12.4%	100.0%	
合計	度数	75	39	117	136	80	447	
	年齢の%	16.8%	8.7%	26.2%	30.4%	17.9%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は10.64。

注2) $\chi^2(8)=18.919$, $p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=18.919$, $p<.05$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q3 ファッション・センス 残差分析表

	どちらか				
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという
40歳未満	-0.42	-1.75 [†]	-2.16*	.90	3.09**
40～60歳未満	-1.25	.64	1.02	.49	-1.01
60歳以上	1.78 [†]	1.02	1.01	-1.42	-1.93 [†]

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」が、プラスに有意であり、40歳未満で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意であった。また、40歳未満で「どちらかという」と「そう思わない」、60歳以上で「そう思う」の2つのセルが、マイナスに有意傾向であり、60歳以上で「そう思わない」が、プラスに有意傾向であった。

40歳未満では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人の多いことがわかった。

Q17 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている

Q17 自分らしいライフスタイル クロス集計表

	どちらか					合計	
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという		
40歳未満	度数	4	14	25	47	32	122
	年齢の%	3.3%	11.5%	20.5%	38.5%	26.2%	100.0%
40～60歳未満	度数	11	10	63	77	35	196
	年齢の%	5.6%	5.1%	32.1%	39.3%	17.9%	100.0%
60歳以上	度数	5	2	42	42	38	129
	年齢の%	3.9%	1.6%	32.6%	32.6%	29.5%	100.0%
合計	度数	20	26	130	166	105	447
	年齢の%	4.5%	5.8%	29.1%	37.1%	23.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.46。

注2) $\chi^2(8)=22.276$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった ($\chi^2(8)=22.276, p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q17 自分らしいライフスタイル 残差分析表

	どちらか		どちらと		どちらか	
	という		も言えな		という	
	そう思わ	そう思わ	い	そう思	そう思	
	ない	ない	い	そう思	そう思	
40 歳未満	-.75	3.13**	-2.45*	.37	.84	
40~60 歳未満	1.03	-.57	1.26	.83	-2.48*	
60 歳以上	-.39	-2.45*	1.03	-1.28	1.90†	

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40 歳未満で「どちらかというと思わない」が、プラスに有意であり、40 歳未満で「どちらとも言えない」、40~60 歳未満で「そう思う」、60 歳以上で「どちらかというと思わない」の3つのセルが、マイナスに有意であった。また、60 歳以上で「そう思う」が、プラスに有意傾向であった。

40 歳未満では、自分らしいライフスタイル・生き方に、どちらかというところこだわっているとは思わない人が多かった。40~60 歳以上では、自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを大切にしていると思っている人は少なく、60 歳以上では、どちらかというと思わない人が少なかった。概して、若年層の方が、自分らしいライフスタイル・生き方にこだわっていないことが伺われるデータであった。

Q18 個性的でありたい

Q18 個性的 クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	どちらと も言えな い	そう思 う	そう思 う		
40歳未満	度数	10	10	38	38	26	122	
	年齢の%	8.2%	8.2%	31.1%	31.1%	21.3%	100.0%	
40～60歳 未満	度数	12	18	78	60	28	196	
	年齢の%	6.1%	9.2%	39.8%	30.6%	14.3%	100.0%	
60歳以上	度数	11	10	44	42	22	129	
	年齢の%	8.5%	7.8%	34.1%	32.6%	17.1%	100.0%	
合計	度数	33	38	160	140	76	447	
	年齢の%	7.4%	8.5%	35.8%	31.3%	17.0%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.01。

注2) $\chi^2(8)=4.960$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(8)=4.960$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q23 自分自身の幸せを、一番大切にしたい

Q23 自分自身の幸せ クロス集計表

		どちらか という と どちらか も言えな い という と				合計	
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思 う	そう思 う	
40歳未満	度数	14	21	50	23	14	122
	年齢の%	11.5%	17.2%	41.0%	18.9%	11.5%	100.0%
40~60歳 未満	度数	31	31	67	46	21	196
	年齢の%	15.8%	15.8%	34.2%	23.5%	10.7%	100.0%
60歳以上	度数	24	20	42	25	15	126
	年齢の%	19.0%	15.9%	33.3%	19.8%	11.9%	100.0%
合計	度数	69	72	159	94	50	444
	年齢の%	15.5%	16.2%	35.8%	21.2%	11.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は13.74。

注2) $\chi^2(8)=4.687$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=4.687$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q28 自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまない

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない クロス集計表

		どちらか					合計
		そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという	
40歳未満	度数	43	43	13	17	6	122
	年齢の%	35.2%	35.2%	10.7%	13.9%	4.9%	100.0%
40～60歳未満	度数	76	49	56	16	0	197
	年齢の%	38.6%	24.9%	28.4%	8.1%	.0%	100.0%
60歳以上	度数	68	19	28	4	6	125
	年齢の%	54.4%	15.2%	22.4%	3.2%	4.8%	100.0%
合計	度数	187	111	97	37	12	444
	年齢の%	42.1%	25.0%	21.8%	8.3%	2.7%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の13.3%。最小期待度数は3.30。

注2) $\chi^2(8)=45.402$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=45.402$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない 残差分析表

	どちらか				
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという
40歳未満	-1.80 [†]	3.07**	-3.51**	2.63**	1.77 [†]
40～60歳未満	-1.35	-.06	3.00**	-.14	-3.14**
60歳以上	3.28**	-2.99**	.18	-2.45*	1.71 [†]

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40歳未満で「どちらかというと思う」、「どちらかというと思わない」、40～60歳未満で「どちらとも言えない」、60歳以上で「そう思わない」の4つのセルが、プラスに有意であり、40歳未満で「どちらとも言えない」、40～60歳未満で「そう思う」、60歳以上で「どちらかというと思う」、「どちらかというと思わない」の4つの

セルが、マイナスに有意であった。また、40歳未満で「そう思う」、60歳以上で「そう思う」の2つのセルが、プラスに有意傾向であり、40歳未満で「そう思わない」が、マイナスに有意傾向であった。

40歳未満では、どちらかという、自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまないと思っている人、思っていない人、両方とも多かった。40～60歳未満では、自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまないと思っている人は少なく、どちらとも言えないと回答し、判断に迷っている人の多いことがわかった。60歳以上では、自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまないと思っていない人が多く、どちらかという、そう思わない人、どちらかという、そう思う人は少ないことがわかった。

Q34 自分の趣味や好みを基準にして、買うものを選んでいる

Q34 自分の趣味や好みを基準 クロス集計表

		どちらか				合計	
		どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う		
40歳未満	度数	1	6	9	51	55	122
	年齢の%	.8%	4.9%	7.4%	41.8%	45.1%	100.0%
40～60歳 未満	度数	2	2	17	99	77	197
	年齢の%	1.0%	1.0%	8.6%	50.3%	39.1%	100.0%
60歳以上	度数	5	3	18	38	62	126
	年齢の%	4.0%	2.4%	14.3%	30.2%	49.2%	100.0%
合計	度数	8	11	44	188	194	445
	年齢の%	1.8%	2.5%	9.9%	42.2%	43.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の40.0%。最小期待度数は2.19。

期待度数が5未満のセルの比率が40%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

【自分へのこだわり-学歴】

Q3 自分のファッション・センスを、もっと磨（みが）きたい

Q3 ファッション・センス クロス集計表

		どちらか という そう思 ない	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	そう思 う	合計
中学・高校卒	度数	28	21	50	51	23
	学歴の%	16.2%	12.1%	28.9%	29.5%	13.3%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	13	5	21	33	31
	学歴の%	12.6%	4.9%	20.4%	32.0%	30.1%
大学・大学院卒	度数	34	12	45	52	26
	学歴の%	20.1%	7.1%	26.6%	30.8%	15.4%
合計	度数	75	38	116	136	80
	学歴の%	16.9%	8.5%	26.1%	30.6%	18.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.80。

注2) $\chi^2(8)=20.009$, $p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=20.009$, $p<.05$)。学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q3 ファッション・センス 残差分析表

	どちらか という そう思 ない	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	そう思 う
中学・高校卒	-.30	2.17*	1.09	-2.05*
短大・高専・各種専門学校卒	-1.31	-1.53	-1.50	3.65**
大学・大学院卒	1.44	-.85	.21	-1.11

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、中学・高校卒で「そう思う」がマイナスに有意、中学・高校卒で「どちらかというと思う」、短大・高専・各種専門学校卒で「そう思う」がプラスに有意であった。

中学・高校卒では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人が少なく、どちらかというともっと磨きたいと思わない人の多いことがわかった。短大・高専・各種専門学校卒では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人の多いことがわかった。

Q17 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている

Q17 自分らしいライフスタイル クロス集計表

		どちらか		どちら		合計	
		という	という	かとい	うとそ		
		そう思わ	そう思わ	とも言	うとそ	そう思	
		ない	ない	えない	う思う	う	
中学・高校卒	度数	5	6	58	62	42	173
	学歴の%	2.9%	3.5%	33.5%	35.8%	24.3%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	9	5	30	40	19	103
	学歴の%	8.7%	4.9%	29.1%	38.8%	18.4%	100.0%
大学・大学院卒	度数	6	15	41	64	43	169
	学歴の%	3.6%	8.9%	24.3%	37.9%	25.4%	100.0%
合計	度数	20	26	129	166	104	445
	学歴の%	4.5%	5.8%	29.0%	37.3%	23.4%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.63。

注2) $\chi^2(8)=14.107$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(8)=14.107$, $p<.1$)。つまり、学歴は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q17 自分らしいライフスタイル 残差分析表

	どちらか				
	という	という	どちらと	どちらか	
	そう思わ	そう思わ	も言えな	という	
	ない	ない	い	そう思う	そう思う
中学・高校卒	-1.30	-1.70 [†]	1.68 [†]	-.51	.36
短大・高専・各種専門学校卒	2.37*	-.49	.04	.37	-1.35
大学・大学院卒	-.75	2.13*	-1.72 [†]	.19	.81

注) [†] $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、短大・高専・各種専門学校卒で「そう思わない」、大学・大学院卒で「どちらかというと思わない」が、プラスに有意であった。短大・高専・各種専門学校卒、大学・大学院卒には、自分らしいライフスタイルを求めようとは思っていない人が、相対的に多いことが示唆される結果となった。

Q18 個性的でありたい

Q18 個性的 クロス集計表

		どちらか という と思わ ない	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	合計		
中学・高校卒	度数	11	14	68	28	173	
	学歴の%	6.4%	8.1%	39.3%	30.1%	16.2%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	6	11	36	31	19	103
	学歴の%	5.8%	10.7%	35.0%	30.1%	18.4%	100.0%
大学・大学院卒	度数	16	13	56	55	29	169
	学歴の%	9.5%	7.7%	33.1%	32.5%	17.2%	100.0%
合計	度数	33	38	160	138	76	445
	学歴の%	7.4%	8.5%	36.0%	31.0%	17.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.64。

注2) $\chi^2(8)=3.650$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=3.650$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q23 自分自身の幸せを、一番大切にしたい

Q23 自分自身の幸せ クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか とも言えな いうと そう思わ ない ない い そう思う そう思う					合計
中学・高校卒	度数	29	25	70	28	20	172
	学歴の%	16.9%	14.5%	40.7%	16.3%	11.6%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	19	18	31	21	14	103
	学歴の%	18.4%	17.5%	30.1%	20.4%	13.6%	100.0%
大学・大学院卒	度数	21	27	57	46	16	167
	学歴の%	12.6%	16.2%	34.1%	27.5%	9.6%	100.0%
合計	度数	69	70	158	95	50	442
	学歴の%	15.6%	15.8%	35.7%	21.5%	11.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は11.65。

注2) $\chi^2(8)=10.291$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=10.291$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q28 自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまない

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな というと ない ない い そう思う そう思う					合計
中学・高校卒	度数	70	42	41	13	5	171
	学歴の%	40.9%	24.6%	24.0%	7.6%	2.9%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	47	22	22	10	2	103
	学歴の%	45.6%	21.4%	21.4%	9.7%	1.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	69	46	34	14	5	168
	学歴の%	41.1%	27.4%	20.2%	8.3%	3.0%	100.0%
合計	度数	186	110	97	37	12	442
	学歴の%	42.1%	24.9%	21.9%	8.4%	2.7%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は2.80。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q34 自分の趣味や好みを基準にして、買うものを選んでいる

Q34 自分の趣味や好みを基準 クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな というと ない ない い そう思う そう思う					合計
中学・高校卒	度数	4	5	24	75	64	172
	学歴の%	2.3%	2.9%	14.0%	43.6%	37.2%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	1	2	3	45	52	103
	学歴の%	1.0%	1.9%	2.9%	43.7%	50.5%	100.0%
大学・大学院卒	度数	3	4	17	66	78	168
	学歴の%	1.8%	2.4%	10.1%	39.3%	46.4%	100.0%
合計	度数	8	11	44	186	194	443
	学歴の%	1.8%	2.5%	9.9%	42.0%	43.8%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の40.0%。最小期待度数は1.86。

期待度数が5未満のセルの比率が40%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

【自分へのこだわり-結婚】

Q3 自分のファッション・センスを、もっと磨（みが）きたい

Q3 ファッション・センス クロス集計表

		どちらか という と					
		どちらか そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらか も言えな い	どちらか という と そう思う	どちらか そう思う	合計
既婚	度数	54	34	97	100	52	337
	結婚の %	16.0%	10.1%	28.8%	29.7%	15.4%	100.0%
未婚	度数	21	5	20	36	27	109
	結婚の %	19.3%	4.6%	18.3%	33.0%	24.8%	100.0%
合計	度数	75	39	117	136	79	446
	結婚の %	16.8%	8.7%	26.2%	30.5%	17.7%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.53。

注2) $\chi^2(4)=11.145, p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=11.145, p<.05$)。結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q3 ファッション・センス 残差分析表

		どちらか という と			
		どちらか そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらか も言えな い	どちらか という と そう思う
既婚		-.79	1.77 [†]	2.15*	-.66
未婚		.79	-1.77 [†]	-2.15*	.66

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、既婚で「どちらとも言えない」、未婚で「そう思う」が、プラスに有意であり、既婚で「そう思う」、未婚で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意であった。また、既婚で「どちらかというと思わない」が、プラスに有意傾向であり、未婚で「どちらかというと思わない」が、マイナスに有意傾向であった。

既婚では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人が少なく、未婚では、自分のファッション・センスをもっと磨きたいと思っている人の多いことがわか

った。

Q17 自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている

Q17 自分らしいライフスタイル クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
既婚	度数	17	14	103	131	72	337
	結婚の %	5.0%	4.2%	30.6%	38.9%	21.4%	100.0%
未婚	度数	3	12	27	34	33	109
	結婚の %	2.8%	11.0%	24.8%	31.2%	30.3%	100.0%
合計	度数	20	26	130	165	105	446
	結婚の %	4.5%	5.8%	29.1%	37.0%	23.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.89。

注2) $\chi^2(4)=12.642, p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=12.642, p<.05$)。結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q17 自分らしいライフスタイル 残差分析表

		どちらか				
		という		どちらと	どちらか	
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う
		ない	ない	い	そう思う	そう思う
既婚		1.01	-2.66**	1.16	1.44	-1.91 [†]
未婚		-1.01	2.66**	-1.16	-1.44	1.91 [†]

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、既婚で「どちらかというと思わない」が、マイナスに有意であり、未婚で「どちらかというと思わない」が、プラスに有意であった。

既婚では、自分らしいライフスタイルへのこだわりを大切にしているとは、どちらかというと思わない人が少なかった。未婚では、自分らしいライフスタイルへのこだわりを大切にしているとは、どちらかというと思わない人が多かった。未婚者の方が、自分らしいライフスタイルにこだわっていないことが伺われるデータであった。

Q18 個性的でありたい

Q18 個性的 クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか とも言えな というと そう思わ ない そう思わ ない い そう思 う そう思 う					合計
既婚	度数	23	34	124	103	53	337
	結婚の %	6.8%	10.1%	36.8%	30.6%	15.7%	100.0%
未婚	度数	10	4	36	36	23	109
	結婚の %	9.2%	3.7%	33.0%	33.0%	21.1%	100.0%
合計	度数	33	38	160	139	76	446
	結婚の %	7.4%	8.5%	35.9%	31.2%	17.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.07。

注2) $\chi^2(4)=6.480$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=6.480$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q23 自分自身の幸せを、一番大切にしたい

Q23 自分自身の幸せ クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか とも言えな というと そう思わ ない そう思わ ない い そう思 う そう思 う					合計
既婚	度数	54	59	123	67	31	334
	結婚の %	16.2%	17.7%	36.8%	20.1%	9.3%	100.0%
未婚	度数	15	13	36	26	19	109
	結婚の %	13.8%	11.9%	33.0%	23.9%	17.4%	100.0%
合計	度数	69	72	159	93	50	443
	結婚の %	15.6%	16.3%	35.9%	21.0%	11.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は12.30。

注2) $\chi^2(4)=7.700$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=7.700$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

Q28 自分らしい商品を手に入れるためなら、お金は惜しまない

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う					
既婚	度数	147	85	74	25	4			335		
	結婚の %	43.9%	25.4%	22.1%	7.5%	1.2%			100.0%		
未婚	度数	39	26	23	12	8			108		
	結婚の %	36.1%	24.1%	21.3%	11.1%	7.4%			100.0%		
合計	度数	186	111	97	37	12			443		
	結婚の %	42.0%	25.1%	21.9%	8.4%	2.7%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は2.93。

注2) $\chi^2(4)=14.194$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=14.194$, $p<.01$)。結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q28 自分らしい商品・お金は惜しまない 残差分析表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない		どちらか という と そう思 う	
		そう思 わない	そう思 わない	い	そう思 う	そう思 う				
既婚		1.42	.27	.17	-1.19	-3.46**				
未婚		-1.42	-.27	-.17	1.19	3.46**				

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、既婚で「そう思う」が、マイナスに有意であり、未婚で「そう思う」が、プラスに有意であった。

既婚では、自分らしい商品を手に入れるために、お金を惜しまないと思っている人は少なく、未婚では、多いことがわかった。未婚者の方が、自分らしい商品を手に入れるために、積極的に支出する傾向の強いことを伺わせるデータであった。

Q34 自分の趣味や好みを基準にして、買うものを選んでいる

Q34 自分の趣味や好みを基準 クロス集計表

		どちらか という と どちらか という と				合計	
		そう思 わ ない	そう思 わ ない	もち ら と も 言 え な い	もち ら か と い う と そ う 思 う	そ う 思 う	
既婚	度数	5	9	37	149	135	335
	結婚の %	1.5%	2.7%	11.0%	44.5%	40.3%	100.0%
未婚	度数	3	2	7	39	58	109
	結婚の %	2.8%	1.8%	6.4%	35.8%	53.2%	100.0%
合計	度数	8	11	44	188	193	444
	結婚の %	1.8%	2.5%	9.9%	42.3%	43.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.96。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

(【自分へのこだわり】のクロス集計結果は、以上)

【何ものかへの憧れ-性別】

Q7 流行しているものが好きだ

Q7 流行 クロス集計表

		どちらか				合計	
		どちらか という そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思 う	
男性	度数	85	53	43	11	4	196
	性別の%	43.4%	27.0%	21.9%	5.6%	2.0%	100.0%
女性	度数	70	62	90	25	5	252
	性別の%	27.8%	24.6%	35.7%	9.9%	2.0%	100.0%
合計	度数	155	115	133	36	9	448
	性別の%	34.6%	25.7%	29.7%	8.0%	2.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は3.94。

注2) $\chi^2(4)=17.595$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=17.595$, $p<.01$)。性別と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q7 流行 残差分析表

		どちらか					
		どちらか という そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	そう思 う	
男性		3.44**	.59	-3.17**	-1.66 [†]	.04	
女性		-3.44**	-.59	3.17**	1.66 [†]	-.04	

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「そう思わない」、女性で「どちらとも言えない」が、プラスに有意であり、男性で「どちらとも言えない」、女性で「そう思わない」が、マイナスに有意であった。また、男性で「どちらかというそう思う」が、マイナスに有意傾向であり、女性で「どちらかというそう思う」が、プラスに有意傾向であった。

男性では、流行が好きだと思わない人が多く、どちらでもない人が少なかった。女性では、流行が好きだと思わない人が少なく、どちらでもない人が多かった。男性の方が、流

行好きではないことを伺わせるデータであった。

Q13 東京は、私にとって魅力的なところだ

Q13 東京・魅力的 クロス集計表

		どちらか という と どちらか も言えな い という と					合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思 う	そう思 う	
男性	度数	96	33	36	19	12	196
	性別の%	49.0%	16.8%	18.4%	9.7%	6.1%	100.0%
女性	度数	93	52	54	36	17	252
	性別の%	36.9%	20.6%	21.4%	14.3%	6.7%	100.0%
合計	度数	189	85	90	55	29	448
	性別の%	42.2%	19.0%	20.1%	12.3%	6.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は12.69。

注2) $\chi^2(4)=7.123$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=7.123$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q20 セレブのような生活に、あこがれる

Q20 セレブ生活 クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
男性	度数	72	38	42	28	13				193	
	性別の%	37.3%	19.7%	21.8%	14.5%	6.7%				100.0%	
女性	度数	86	45	69	35	18				253	
	性別の%	34.0%	17.8%	27.3%	13.8%	7.1%				100.0%	
合計	度数	158	83	111	63	31				446	
	性別の%	35.4%	18.6%	24.9%	14.1%	7.0%				100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は13.41。

注2) $\chi^2(4)=1.946$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=1.946$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q29 有名人やモデルのファッションが気になる

Q29 有名人やモデル クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
男性	度数	133	45	11	1	3				193	
	性別の%	68.9%	23.3%	5.7%	.5%	1.6%				100.0%	
女性	度数	121	66	38	23	5				253	
	性別の%	47.8%	26.1%	15.0%	9.1%	2.0%				100.0%	
合計	度数	254	111	49	24	8				446	
	性別の%	57.0%	24.9%	11.0%	5.4%	1.8%				100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は3.46。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできな

い。

Q31 高級ブランド品をたくさん持っている人が、うらやましい

Q31 高級ブランド品・うらやましい クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言 えな い		どちら か とい うと そう 思 う		合計
		そう 思 わ ない	そう 思 わ ない	ど ち ら と も 言 え な い	ど ち ら か とい う と そ う 思 う	ど ち ら か とい う と そ う 思 う					
男性	度数	123	41	24	5	0			193		
	性別の%	63.7%	21.2%	12.4%	2.6%	.0%			100.0%		
女性	度数	153	52	34	10	4			253		
	性別の%	60.5%	20.6%	13.4%	4.0%	1.6%			100.0%		
合計	度数	276	93	58	15	4			446		
	性別の%	61.9%	20.9%	13.0%	3.4%	.9%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.73。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできない。

Q33 他人の持っている物が、良く見えてしまう

Q33 他人の持ち物・良く見える クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言 えな い		どちら か とい うと そう 思 う		合計
		そう 思 わ ない	そう 思 わ ない	ど ち ら と も 言 え な い	ど ち ら か とい う と そ う 思 う	ど ち ら か とい う と そ う 思 う					
男性	度数	79	51	54	8	1			193		
	性別の%	40.9%	26.4%	28.0%	4.1%	.5%			100.0%		
女性	度数	94	48	74	31	6			253		
	性別の%	37.2%	19.0%	29.2%	12.3%	2.4%			100.0%		
合計	度数	173	99	128	39	7			446		
	性別の%	38.8%	22.2%	28.7%	8.7%	1.6%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は3.03。

期待度数が 5 未満のセルの比率が 20%であり、基準となる 20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできない。

【何ものかへの憧れ-年齢】

Q7 流行しているものが好きだ

Q7 流行 クロス集計表

		どちらか というのとどちらと どちらか というのと				合計	
		そう思 わない	そう思 わない	も言え ない	そう思 う	そう思 う	
40 歳未満	度数	37	32	38	12	3	122
	年齢の%	30.3%	26.2%	31.1%	9.8%	2.5%	100.0%
40~60 歳 未満	度数	60	51	66	14	5	196
	年齢の%	30.6%	26.0%	33.7%	7.1%	2.6%	100.0%
60 歳以上	度数	58	32	28	10	1	129
	年齢の%	45.0%	24.8%	21.7%	7.8%	.8%	100.0%
合計	度数	155	115	132	36	9	447
	年齢の%	34.7%	25.7%	29.5%	8.1%	2.0%	100.0%

注 1) 期待度数 5 未満のセルは、全体の 20.0%。最小期待度数は 2.46。

期待度数が 5 未満のセルの比率が 20%であり、基準となる 20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q13 東京は、私にとって魅力的なところだ

Q13 東京・魅力的 クロス集計表

		どちらか という と どちらか も言えな い という と そう思う そう思う					合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思う	そう思う	
40歳未満	度数	47	25	26	13	11	122
	年齢の%	38.5%	20.5%	21.3%	10.7%	9.0%	100.0%
40～60歳 未満	度数	74	39	41	29	13	196
	年齢の%	37.8%	19.9%	20.9%	14.8%	6.6%	100.0%
60歳以上	度数	68	21	23	12	5	129
	年齢の%	52.7%	16.3%	17.8%	9.3%	3.9%	100.0%
合計	度数	189	85	90	54	29	447
	年齢の%	42.3%	19.0%	20.1%	12.1%	6.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.91。

注2) $\chi^2(8)=10.680$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=10.680$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q20 セレブのような生活に、あこがれる

Q20 セレブ生活 クロス集計表

		どちらか					合計
		そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという	
40歳未満	度数	30	23	29	25	15	122
	年齢の%	24.6%	18.9%	23.8%	20.5%	12.3%	100.0%
40～60歳未満	度数	70	32	57	29	9	197
	年齢の%	35.5%	16.2%	28.9%	14.7%	4.6%	100.0%
60歳以上	度数	57	28	25	9	7	126
	年齢の%	45.2%	22.2%	19.8%	7.1%	5.6%	100.0%
合計	度数	157	83	111	63	31	445
	年齢の%	35.3%	18.7%	24.9%	14.2%	7.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.50。

注2) $\chi^2(8)=26.453$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=26.453$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q20 セレブ生活 残差分析表

	どちらか				
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという
40歳未満	-2.90**	.07	-.35	2.36*	2.71**
40～60歳未満	.10	-1.16	1.73†	.30	-1.77†
60歳以上	2.76**	1.22	-1.56	-2.67**	-.73

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、「どちらかというと思う」、60歳以上で「そう思わない」の3つのセルが、プラスに有意であり、40歳未満で「そう思わない」、60歳以上で「どちらかというと思う」の2つのセルが、マイナスに有意であった。また、40～60歳未満で「どちらとも言えない」が、プラスに有意傾向であり、「そう思う」が、マイナ

スに有意傾向であった。

40 歳未満では、セレブのような生活への憧れている人が多く、そうではない人が少なかった。60 歳以上では、セレブのような生活に、どちらかという憧れている人は少なく、憧れていない人が多かった。若い世代の人たちの方が、セレブのような生活に、憧れを抱いている程度が高いようであった。

Q29 有名人やモデルのファッションが気になる

Q29 有名人やモデルクロス集計表

		どちらか という と どちらか も言えな い と どちらか という と					合計
		そう思 わ ない	そう思 わ ない	い	そう思 う	そう思 う	
40 歳未満	度数	60	31	12	15	4	122
	年齢の%	49.2%	25.4%	9.8%	12.3%	3.3%	100.0%
40~60 歳 未満	度数	108	53	26	6	4	197
	年齢の%	54.8%	26.9%	13.2%	3.0%	2.0%	100.0%
60 歳以上	度数	86	27	10	3	0	126
	年齢の%	68.3%	21.4%	7.9%	2.4%	.0%	100.0%
合計	度数	254	111	48	24	8	445
	年齢の%	57.1%	24.9%	10.8%	5.4%	1.8%	100.0%

注 1) 期待度数 5 未満のセルは、全体の 20.0%。最小期待度数は 2.19。

期待度数が 5 未満のセルの比率が 20%であり、基準となる 20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q31 高級ブランド品をたくさん持っている人が、うらやましい

Q31 高級ブランド品・うらやましい クロス集計表

		どちらか					合計
		どちらか という と そう思わ ない	どちらか という と そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う	
40歳未満	度数	62	35	15	7	3	122
	年齢の%	50.8%	28.7%	12.3%	5.7%	2.5%	100.0%
40～60歳 未満	度数	121	39	31	6	0	197
	年齢の%	61.4%	19.8%	15.7%	3.0%	.0%	100.0%
60歳以上	度数	93	18	12	2	1	126
	年齢の%	73.8%	14.3%	9.5%	1.6%	.8%	100.0%
合計	度数	276	92	58	15	4	445
	年齢の%	62.0%	20.7%	13.0%	3.4%	.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の33.3%。最小期待度数は1.10。

期待度数が5未満のセルの比率が33.3%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q33 他人の持っている物が、良く見えてしまう

Q33 他人の持ち物・良く見える クロス集計表

		どちらか という と どちらか も言えな い と どちらか という と そう思う そう思う					合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思う	そう思う	
40歳未満	度数	36	27	38	18	3	122
	年齢の%	29.5%	22.1%	31.1%	14.8%	2.5%	100.0%
40～60歳 未満	度数	73	46	60	15	3	197
	年齢の%	37.1%	23.4%	30.5%	7.6%	1.5%	100.0%
60歳以上	度数	64	26	29	6	1	126
	年齢の%	50.8%	20.6%	23.0%	4.8%	.8%	100.0%
合計	度数	173	99	127	39	7	445
	年齢の%	38.9%	22.2%	28.5%	8.8%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.92。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

【何ものかへの憧れ-学歴】

Q7 流行しているものが好きだ

Q7 流行 クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
中学・高校卒	度数	65	47	45	14	2	173	
	学歴の%	37.6%	27.2%	26.0%	8.1%	1.2%	100.0%	
短大・高専・各種専門学校卒	度数	30	25	35	11	2	103	
	学歴の%	29.1%	24.3%	34.0%	10.7%	1.9%	100.0%	
大学・大学院卒	度数	59	43	51	11	5	169	
	学歴の%	34.9%	25.4%	30.2%	6.5%	3.0%	100.0%	
合計	度数	154	115	131	36	9	445	
	学歴の%	34.6%	25.8%	29.4%	8.1%	2.0%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は2.08。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q13 東京は、私にとって魅力的なところだ

Q13 東京・魅力的 クロス集計表

		どちらか という と そう 思 わ な い					どちら も 言 え な い		どちら か と 言 え な い		合計	
		そう 思 わ な い	そう 思 わ な い	も 言 え な い	ど ち ら か と 言 え な い	ど ち ら か と 言 え な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	
中学・高校卒	度数	94	32	24	16	7					173	
	学歴の%	54.3%	18.5%	13.9%	9.2%	4.0%					100.0%	
短大・高専・各種専門学校卒	度数	37	23	22	13	8					103	
	学歴の%	35.9%	22.3%	21.4%	12.6%	7.8%					100.0%	
大学・大学院卒	度数	57	29	43	26	14					169	
	学歴の%	33.7%	17.2%	25.4%	15.4%	8.3%					100.0%	
合計	度数	188	84	89	55	29					445	
	学歴の%	42.2%	18.9%	20.0%	12.4%	6.5%					100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.71。

注2) $\chi^2(8)=21.926$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=21.926$, $p<.01$)。学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q13 東京・魅力的 残差分析表

	どちらか という と そう 思 わ な い					どちら も 言 え な い		どちら か と 言 え な い	
	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	も 言 え な い	ど ち ら か と 言 え な い	ど ち ら か と 言 え な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	も 言 え な い	ど ち ら か と 言 え な い	ど ち ら か と 言 え な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い
中学・高校卒	4.12**	-.16	-2.58**	-1.59	-1.68†				
短大・高専・各種専門学校卒	-1.48	1.02	.39	.09	.59				
大学・大学院卒	-2.85**	-.72	2.25*	1.52	1.18				

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、中学・高校卒で「そう思わない」、大学・大学院卒で「どちらとも言えない」の2つのセルが、プラスに有意であった。また、中学・高校卒で「どちらとも言えない」、大学・大学院卒で「そう思わない」の2つのセルが、マイナスに有意であった。

中学・高校卒では、東京を魅力的と思っていない人が多く、どちらとも言えない人は少

Q29 有名人やモデルのファッションが気になる

Q29 有名人やモデル クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか というと そう思わ ない ない も言えな い そう思う そう思う					合計
中学・高校卒	度数	104	37	24	6	1	172
	学歴の%	60.5%	21.5%	14.0%	3.5%	.6%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	55	19	16	11	2	103
	学歴の%	53.4%	18.4%	15.5%	10.7%	1.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	93	54	9	7	5	168
	学歴の%	55.4%	32.1%	5.4%	4.2%	3.0%	100.0%
合計	度数	252	110	49	24	8	443
	学歴の%	56.9%	24.8%	11.1%	5.4%	1.8%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.86。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q31 高級ブランド品をたくさん持っている人が、うらやましい

Q31 高級ブランド品・うらやましい クロス集計表

		どちらか という と どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな という ない ない い そう思う そう思う					合計
中学・高校卒	度数	111	29	25	5	2	172
	学歴の%	64.5%	16.9%	14.5%	2.9%	1.2%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	65	23	13	1	1	103
	学歴の%	63.1%	22.3%	12.6%	1.0%	1.0%	100.0%
大学・大学院卒	度数	98	40	20	9	1	168
	学歴の%	58.3%	23.8%	11.9%	5.4%	.6%	100.0%
合計	度数	274	92	58	15	4	443
	学歴の%	61.9%	20.8%	13.1%	3.4%	.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の26.7%。最小期待度数は0.93。

期待度数が5未満のセルの比率が26.7%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q33 他人の持っている物が、良く見えてしまう

Q33 他人の持ち物・良く見える クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな というと ない ない い そう思う そう思う					合計
中学・高校卒	度数	68	36	53	14	1	172
	学歴の%	39.5%	20.9%	30.8%	8.1%	.6%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	38	19	33	10	3	103
	学歴の%	36.9%	18.4%	32.0%	9.7%	2.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	67	43	40	15	3	168
	学歴の%	39.9%	25.6%	23.8%	8.9%	1.8%	100.0%
合計	度数	173	98	126	39	7	443
	学歴の%	39.1%	22.1%	28.4%	8.8%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.63。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

【何ものかへの憧れ-結婚】

Q7 流行しているものが好きだ

Q7 流行 クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
既婚	度数	117	86	99	28	7	337
	結婚の %	34.7%	25.5%	29.4%	8.3%	2.1%	100.0%
未婚	度数	38	28	33	8	2	109
	結婚の %	34.9%	25.7%	30.3%	7.3%	1.8%	100.0%
合計	度数	155	114	132	36	9	446
	結婚の %	34.8%	25.6%	29.6%	8.1%	2.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は2.20。

注2) $\chi^2(4)=0.144$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=0.144$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q13 東京は、私にとって魅力的なところだ

Q13 東京・魅力的 クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
既婚	度数	143	62	68	42	22	337
	結婚の %	42.4%	18.4%	20.2%	12.5%	6.5%	100.0%
未婚	度数	46	23	21	12	7	109
	結婚の %	42.2%	21.1%	19.3%	11.0%	6.4%	100.0%
合計	度数	189	85	89	54	29	446
	結婚の %	42.4%	19.1%	20.0%	12.1%	6.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.09。

注2) $\chi^2(4)=0.496$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=0.496$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q20 セレブのような生活に、あこがれる

Q20 セレブ生活 クロス集計表

		どちらか という と					
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	どちら か と い う と 思 う	そう 思 う	合計
既婚	度数	119	62	84	50	20	335
	結婚の %	35.5%	18.5%	25.1%	14.9%	6.0%	100.0%
未婚	度数	38	21	27	12	11	109
	結婚の %	34.9%	19.3%	24.8%	11.0%	10.1%	100.0%
合計	度数	157	83	111	62	31	444
	結婚の %	35.4%	18.7%	25.0%	14.0%	7.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.61。

注2) $\chi^2(4)=2.943$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=2.943$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q29 有名人やモデルのファッションが気になる

Q29 有名人やモデル クロス集計表

		どちらか					合計
		という そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらか も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う	
既婚	度数	195	89	33	14	4	335
	結婚の %	58.2%	26.6%	9.9%	4.2%	1.2%	100.0%
未婚	度数	59	22	15	9	4	109
	結婚の %	54.1%	20.2%	13.8%	8.3%	3.7%	100.0%
合計	度数	254	111	48	23	8	444
	結婚の %	57.2%	25.0%	10.8%	5.2%	1.8%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は1.96。

注2) $\chi^2(4)=8.181, p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(4)=8.181, p<.1$)。つまり、結婚は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q29 有名人やモデル 残差分析表

		どちらか				
		という そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらか も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う
既婚		.75	1.34	-1.14	-1.67 [†]	-1.69 [†]
未婚		-.75	-1.34	1.14	1.67 [†]	1.69 [†]

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、既婚で「そう思う」、「どちらかというそう思う」が、マイナスに有意傾向であり、未婚で「そう思う」、「どちらかというそう思う」が、プラスに有意傾向であった。

既婚者では、有名人やモデルのファッションを気にする人が少なく、未婚者では、気にする人の多いことが、示唆される結果となった。

Q31 高級ブランド品をたくさん持っている人が、うらやましい

Q31 高級ブランド品・うらやましい クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
既婚	度数	207	69	45	12	2	335
	結婚の %	61.8%	20.6%	13.4%	3.6%	.6%	100.0%
未婚	度数	68	23	13	3	2	109
	結婚の %	62.4%	21.1%	11.9%	2.8%	1.8%	100.0%
合計	度数	275	92	58	15	4	444
	結婚の %	61.9%	20.7%	13.1%	3.4%	.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の30.0%。最小期待度数は0.98。

期待度数が5未満のセルの比率が30%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q33 他人の持っている物が、良く見えてしまう

Q33 他人の持ち物・良く見える クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
既婚	度数	129	80	94	28	4	335
	結婚の %	38.5%	23.9%	28.1%	8.4%	1.2%	100.0%
未婚	度数	43	19	33	11	3	109
	結婚の %	39.4%	17.4%	30.3%	10.1%	2.8%	100.0%
合計	度数	172	99	127	39	7	444
	結婚の %	38.7%	22.3%	28.6%	8.8%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は1.72。

注2) $\chi^2(4)=3.242$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=3.242$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

(【何ものかへの憧れ】のクロス集計結果は、以上)

【他人との違い-性別】

Q6 他人と似たようなファッションはしたくない

Q6 他人と似たような クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
男性	度数	40	26	64	40	26	196	
	性別の%	20.4%	13.3%	32.7%	20.4%	13.3%	100.0%	
女性	度数	23	30	88	73	38	252	
	性別の%	9.1%	11.9%	34.9%	29.0%	15.1%	100.0%	
合計	度数	63	56	152	113	64	448	
	性別の%	14.1%	12.5%	33.9%	25.2%	14.3%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は24.50。

注2) $\chi^2(4)=13.765, p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=13.765, p<.01$)。性別と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q6 他人と似たような 残差分析表

		どちらか という と				どちらか という と	
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う	
男性		3.41**	.43	-.50	-2.07*	-.54	
女性		-3.41**	-.43	.50	2.07*	.54	

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「そう思わない」、女性で「どちらかというと思う」が、プラスに有意であり、男性で「どちらかというと思う」、女性で「そう思わない」が、マイナスに有意であった。

男性には、他人と似たようなファッションをしたくないとは思っていない人が多く、どちらかというと思っている人の少ないことがわかった。また、女性には、他人と似たようなファッションをしたくないとは思っていない人が少なく、どちらかというと思っている人の多いことがわかった。女性の方が、男性よりも、他人と同じようなファッションをしたくないと思っていることを伺わせるデータであった。

Q10 友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している

Q10 友だちとの違い・おしゃれ基準 クロス集計表

		どちらか					合計
		そう思わ ない	どちらか という 思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という 思 う	どちらか という 思 う	
男性	度数	92	55	33	15	1	196
	性別の%	46.9%	28.1%	16.8%	7.7%	.5%	100.0%
女性	度数	94	66	66	19	6	251
	性別の%	37.5%	26.3%	26.3%	7.6%	2.4%	100.0%
合計	度数	186	121	99	34	7	447
	性別の%	41.6%	27.1%	22.1%	7.6%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数が5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は3.07。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできない。

Q12 人まねは好きではない

Q12 人まね・好きではない クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない ない					合計
		どちら と も言え ない	どちら か という と そう思 う	どちら か という と そう思 う	合計		
男性	度数	6	17	54	49	70	196
	性別の%	3.1%	8.7%	27.6%	25.0%	35.7%	100.0%
女性	度数	12	17	71	81	70	251
	性別の%	4.8%	6.8%	28.3%	32.3%	27.9%	100.0%
合計	度数	18	34	125	130	140	447
	性別の%	4.0%	7.6%	28.0%	29.1%	31.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.89。

注2) $\chi^2(4)=5.505$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=5.505$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q25 他の人とは違った物を持ちたい

Q25 他の人・違った物 クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない ない					合計
		どちら と も言え ない	どちら か という と そう思 う	どちら か という と そう思 う	合計		
男性	度数	43	42	67	25	16	193
	性別の%	22.3%	21.8%	34.7%	13.0%	8.3%	100.0%
女性	度数	55	32	98	47	20	252
	性別の%	21.8%	12.7%	38.9%	18.7%	7.9%	100.0%
合計	度数	98	74	165	72	36	445
	性別の%	22.0%	16.6%	37.1%	16.2%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は15.61。

注2) $\chi^2(4)=8.132$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった ($\chi^2(4)=8.132$, $p<.1$)。つまり、性別は、解答行動

に関連していることが示唆された。

Q25 他の人・違った物 残差分析表

	どちらか				
	という そう思わ ない	という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う
男性	.11	2.54*	-.90	-1.62	.14
女性	-.11	-2.54*	.90	1.62	-.14

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「どちらかというと思わない」が、プラスに有意であり、女性で「どちらかというと思わない」が、マイナスに有意であった。

男性には、他人と違った物を持ちたいとは、どちらかというと思わない人が多く、女性には、少ないことが示唆される結果であった。男性の方が、他人と違った物を持ちたいとは思っていないことを示唆するデータであった。

Q32 服を購入する際、友人と似たファッションにならないように気をつける

Q32 友人と似たファッションにならない クロス集計表

		どちらか					合計
		という そう思わ ない	という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う	
男性	度数	58	32	52	40	11	193
	性別の%	30.1%	16.6%	26.9%	20.7%	5.7%	100.0%
女性	度数	37	43	77	71	25	253
	性別の%	14.6%	17.0%	30.4%	28.1%	9.9%	100.0%
合計	度数	95	75	129	111	36	446
	性別の%	21.3%	16.8%	28.9%	24.9%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は15.58。

注2) $\chi^2(4)=17.447$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=17.447$, $p<.01$)。性別と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q32 友人と似たファッションにならない 残差分析表

	どちらか				
	という そう思わ ない	という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う
男性	3.94**	-.12	-.81	-1.78 [†]	-1.61
女性	-3.94**	.12	.81	1.78 [†]	1.61

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「そう思わない」が、プラスに有意であり、女性で「そう思わない」が、マイナスに有意であった。また、男性で「どちらかというと思う」が、マイナスに有意傾向であり、女性で「どちらかというと思う」が、プラスに有意傾向であった。

男性には、友人と似たファッションにならないように気をつけているとは思わない人が多く、どちらかというと思う人の少ないことがわかった。また、女性には、友人と似たファッションにならないように気をつけているとは思わない人は少なく、どちらかというと思う人の多いことがわかった。男性の方が、友人とファッションがかぶらないように気にする傾向の弱いことが分かった。

Q36 自分と同じファッション・アイテムを友だちが持っていることが分かったら、良い気持ちがない

Q36 自分と同じアイテム・良い気持ちしない クロス集計表

		どちらか					合計
		という そう思わ ない	という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思う	どちらか という そう思う	
男性	度数	69	48	52	16	8	193
	性別の%	35.8%	24.9%	26.9%	8.3%	4.1%	100.0%
女性	度数	90	46	74	35	8	253
	性別の%	35.6%	18.2%	29.2%	13.8%	3.2%	100.0%
合計	度数	159	94	126	51	16	446
	性別の%	35.7%	21.1%	28.3%	11.4%	3.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.92。

注2) $\chi^2(4)=5.768$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=5.768$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【他人との違い-年齢】

Q6 他人と似たようなファッションはしたくない

Q6 他人と似たような クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
40 歳未満	度数	17	11	44	29	21	122	
	年齢の%	13.9%	9.0%	36.1%	23.8%	17.2%	100.0%	
40~60 歳 未満	度数	26	29	69	49	23	196	
	年齢の%	13.3%	14.8%	35.2%	25.0%	11.7%	100.0%	
60 歳以上	度数	20	16	38	35	20	129	
	年齢の%	15.5%	12.4%	29.5%	27.1%	15.5%	100.0%	
合計	度数	63	56	151	113	64	447	
	年齢の%	14.1%	12.5%	33.8%	25.3%	14.3%	100.0%	

注1) 期待度数 5 未満のセルは、全体の 0.0%。最小期待度数は 15.28。

注2) $\chi^2(8)=5.352$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(8)=5.352$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q10 友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している

Q10 友だちとの違い・おしゃれ基準 クロス集計表

		どちらか					合計
		どちらか という と そう思 わない	どちら か も言 えな い	どちら か と いう と そう 思 う	どちら か と いう と そう 思 う	どちら か と いう と そう 思 う	
40歳未満	度数	43	33	31	12	3	122
	年齢の%	35.2%	27.0%	25.4%	9.8%	2.5%	100.0%
40～60歳 未満	度数	85	57	34	17	2	195
	年齢の%	43.6%	29.2%	17.4%	8.7%	1.0%	100.0%
60歳以上	度数	58	31	33	5	2	129
	年齢の%	45.0%	24.0%	25.6%	3.9%	1.6%	100.0%
合計	度数	186	121	98	34	7	446
	年齢の%	41.7%	27.1%	22.0%	7.6%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.91。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q12 人まねは好きではない

Q12 人まね・好きではない クロス集計表

		どちらか				合計
		そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかそう思う	
40歳未満	度数	4	9	29	38	122
	年齢の%	3.3%	7.4%	23.8%	31.1%	100.0%
40～60歳未満	度数	7	16	72	55	196
	年齢の%	3.6%	8.2%	36.7%	28.1%	100.0%
60歳以上	度数	7	9	24	36	128
	年齢の%	5.5%	7.0%	18.8%	28.1%	100.0%
合計	度数	18	34	125	129	446
	年齢の%	4.0%	7.6%	28.0%	28.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.92。

注2) $\chi^2(8)=19.135$, $p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=19.135$, $p<.05$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q12 人まね・好きではない 残差分析表

	どちらか				
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかそう思う	どちらかそう思う
40歳未満	-.50	-.12	-1.23	.64	.85
40～60歳未満	-.44	.38	3.63**	-.36	-3.19**
60歳以上	.98	-.30	-2.77**	-.24	2.67**

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、40～60歳未満で「どちらとも言えない」、60歳以上で「そう思う」の2つのセルが、プラスに有意であり、40～60歳未満で「そう思う」、60歳以上で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意であった。

40～60歳未満では、人まねが好きではないと思う人が少なく、どちらとも言えない人の

多いことがわかった。60歳以上では、人まねが好きではないと思う人が多く、どちらとも言えない人は少ないことがわかった。高齢層の人たちは、人まねが好きではない程度の高いことを伺わせるデータであった。

Q25 他の人とは違った物を持ちたい

Q25 他の人・違った物 クロス集計表

		どちらか					合計
		そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという	
40歳未満	度数	13	13	47	31	17	121
	年齢の%	10.7%	10.7%	38.8%	25.6%	14.0%	100.0%
40～60歳未満	度数	43	39	74	26	15	197
	年齢の%	21.8%	19.8%	37.6%	13.2%	7.6%	100.0%
60歳以上	度数	42	22	43	15	4	126
	年齢の%	33.3%	17.5%	34.1%	11.9%	3.2%	100.0%
合計	度数	98	74	164	72	36	444
	年齢の%	22.1%	16.7%	36.9%	16.2%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.81。

注2) $\chi^2(8)=36.701$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=36.701$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q25 他の人・違った物 残差分析表

	どちらか				
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかという	どちらかという
	ない	ない	い	そう思う	そう思う
40歳未満	-3.52**	-2.05*	.51	3.29**	2.81**
40～60歳未満	-.11	1.58	.24	-1.54	-.34
60歳以上	3.60**	.28	-.77	-1.55	-2.40*

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、「どちらかというと思う」、60歳以上で「そう思わない」の3つのセルが、プラスに有意であり、40歳未満で「どちらかというと思わない」、「そう思わない」、60歳以上で「そう思う」の3つのセルが、マイナスに有意であった。

40歳未満では、他の人と違った物を持ちたいと思っている人が多く、そう思っていない人の少ないことがわかった。また、60歳以上では、他の人と違った物を持ちたいと思っている人が少なく、そう思っていない人の多いことがわかった。若い世代の人たちは、他人との違いに、敏感であることを伺わせるデータであった。

Q32 服を購入する際、友人と似たファッションにならないように気をつける

Q32 友人と似たファッションにならない クロス集計表

		どちらか という そう思 ない				どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	合計
40歳未満	度数	19	22	36	32	13	122	
	年齢の%	15.6%	18.0%	29.5%	26.2%	10.7%	100.0%	
40～60歳 未満	度数	49	32	54	53	9	197	
	年齢の%	24.9%	16.2%	27.4%	26.9%	4.6%	100.0%	
60歳以上	度数	27	21	39	25	14	126	
	年齢の%	21.4%	16.7%	31.0%	19.8%	11.1%	100.0%	
合計	度数	95	75	129	110	36	445	
	年齢の%	21.3%	16.9%	29.0%	24.7%	8.1%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.87。

注2) $\chi^2(8)=10.687$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=10.687$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q36 自分と同じファッション・アイテムを友だちが持っていることが分かると、良い気持ち
がしない

Q36 自分と同じアイテム・良い気持ちしない クロス集計表

		どちらか という と				合計	
		そう思 わない	そう思 わない	どちら も言え ない	どちら かとい うと そう思 う	そう思 う	
40歳未満	度数	37	31	30	16	8	122
	年齢の%	30.3%	25.4%	24.6%	13.1%	6.6%	100.0%
40~60歳 未満	度数	69	44	58	22	4	197
	年齢の%	35.0%	22.3%	29.4%	11.2%	2.0%	100.0%
60歳以上	度数	53	19	37	13	4	126
	年齢の%	42.1%	15.1%	29.4%	10.3%	3.2%	100.0%
合計	度数	159	94	125	51	16	445
	年齢の%	35.7%	21.1%	28.1%	11.5%	3.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の13.3%。最小期待度数は4.39。

注2) $\chi^2(8)=11.379$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=11.379$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【他人との違い-学歴】

Q6 他人と似たようなファッションはしたくない

Q6 他人と似たような クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	そう思 う	そう思 う		
中学・高校卒	度数	21	21	59	46	26	173	
	学歴の%	12.1%	12.1%	34.1%	26.6%	15.0%	100.0%	
短大・高専・各種専門学校卒	度数	13	12	38	24	16	103	
	学歴の%	12.6%	11.7%	36.9%	23.3%	15.5%	100.0%	
大学・大学院卒	度数	29	22	53	43	22	169	
	学歴の%	17.2%	13.0%	31.4%	25.4%	13.0%	100.0%	
合計	度数	63	55	150	113	64	445	
	学歴の%	14.2%	12.4%	33.7%	25.4%	14.4%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は12.73。

注2) $\chi^2(8)=3.087$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(8)=3.087$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q10 友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している

Q10 友だちとの違い・おしゃれ基準 クロス集計表

		どちらか				合計	
		どちらか という そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	どちらか という そう思 う		
中学・高校卒	度数	71	38	49	13	2	173
	学歴の%	41.0%	22.0%	28.3%	7.5%	1.2%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	41	31	23	6	2	103
	学歴の%	39.8%	30.1%	22.3%	5.8%	1.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	72	51	27	15	3	168
	学歴の%	42.9%	30.4%	16.1%	8.9%	1.8%	100.0%
合計	度数	184	120	99	34	7	444
	学歴の%	41.4%	27.0%	22.3%	7.7%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は1.62。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q12 人まねは好きではない

Q12 人まね・好きではない クロス集計表

		どちらか という そう思 わない	どちら かとい うとそ う思 う	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	そう思 う	合計
中学・高校卒	度数	4	11	46	46	65	172
	学歴の%	2.3%	6.4%	26.7%	26.7%	37.8%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	8	9	25	32	29	103
	学歴の%	7.8%	8.7%	24.3%	31.1%	28.2%	100.0%
大学・大学院卒	度数	6	13	53	51	46	169
	学歴の%	3.6%	7.7%	31.4%	30.2%	27.2%	100.0%
合計	度数	18	33	124	129	140	444
	学歴の%	4.1%	7.4%	27.9%	29.1%	31.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.18。

注2) $\chi^2(8)=10.708$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=10.708$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q25 他の人とは違った物を持ちたい

Q25 他の人・違った物 クロス集計表

		どちらか という そう思 わない	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	そう思 う	合計	
中学・高校卒	度数	40	31	70	23	8	172
	学歴の%	23.3%	18.0%	40.7%	13.4%	4.7%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	24	11	39	16	12	102
	学歴の%	23.5%	10.8%	38.2%	15.7%	11.8%	100.0%
大学・大学院卒	度数	33	30	56	33	16	168
	学歴の%	19.6%	17.9%	33.3%	19.6%	9.5%	100.0%
合計	度数	97	72	165	72	36	442
	学歴の%	21.9%	16.3%	37.3%	16.3%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.31。

注2) $\chi^2(8)=11.081$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=11.081$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q32 服を購入する際、友人と似たファッションにならないように気をつける

Q32 友人と似たファッションにならない

クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな というと そう思 ない ない い そう思う う					合計
中学・高校卒	度数	34	29	45	47	17	172
	学歴の%	19.8%	16.9%	26.2%	27.3%	9.9%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	19	17	34	26	7	103
	学歴の%	18.4%	16.5%	33.0%	25.2%	6.8%	100.0%
大学・大学院卒	度数	40	28	50	38	12	168
	学歴の%	23.8%	16.7%	29.8%	22.6%	7.1%	100.0%
合計	度数	93	74	129	111	36	443
	学歴の%	21.0%	16.7%	29.1%	25.1%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.37。

注2) $\chi^2(8)=3.988$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(8)=3.988$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【他人との違い-結婚】

Q6 他人と似たようなファッションはしたくない

Q6 他人と似たような クロス集計表

		どちらか という と				合計	
		そう思 わない	そう思 わない	どちら とも言 えな い	どちら かとい うと そう思 う	そう思 う	
既婚	度数	44	45	117	90	41	337
	結婚の %	13.1%	13.4%	34.7%	26.7%	12.2%	100.0%
未婚	度数	19	11	34	22	23	109
	結婚の %	17.4%	10.1%	31.2%	20.2%	21.1%	100.0%
合計	度数	63	56	151	112	64	446
	結婚の %	14.1%	12.6%	33.9%	25.1%	14.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は13.69。

注2) $\chi^2(4)=8.093$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(4)=8.093$, $p<.1$)。つまり、結婚は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q6 他人と似たような 残差分析表

		どちらか という と				合計	
		そう思 わない	そう思 わない	どちら とも言 えな い	どちら かとい うと そう思 う	そう思 う	
既婚		-1.14	.89	.68	1.37	-2.31*	
未婚		1.14	-.89	-.68	-1.37	2.31*	

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、既婚で「そう思う」が、マイナスに有意であり、未婚で「そう思う」が、プラスに有意であった。

既婚者には、他人と似たようなファッションをしたくないと思っている人が少なく、未婚者には多いことが示唆される結果となった。

Q10 友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している

Q10 友だちとの違い・おしゃれ基準 クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
既婚	度数	143	94	67	29	4	337
	結婚の %	42.4%	27.9%	19.9%	8.6%	1.2%	100.0%
未婚	度数	42	27	31	5	3	108
	結婚の %	38.9%	25.0%	28.7%	4.6%	2.8%	100.0%
合計	度数	185	121	98	34	7	445
	結婚の %	41.6%	27.2%	22.0%	7.6%	1.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は1.70。

注2) $\chi^2(4)=6.397$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=6.397$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q12 人まねは好きではない

Q12 人まね・好きではない クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
既婚	度数	13	26	99	95	103	336
	結婚の %	3.9%	7.7%	29.5%	28.3%	30.7%	100.0%
未婚	度数	5	8	26	33	37	109
	結婚の %	4.6%	7.3%	23.9%	30.3%	33.9%	100.0%
合計	度数	18	34	125	128	140	445
	結婚の %	4.0%	7.6%	28.1%	28.8%	31.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.41。

注2) $\chi^2(4)=1.442$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=1.442$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

Q25 他の人とは違った物を持ちたい

Q25 他の人・違った物 クロス集計表

		どちらか					合計
		という	どちらと	どちらか			
		そう思わ	も言えな	という	そう思う	そう思う	
		ない	い	そう思う			
既婚	度数	74	60	135	48	18	335
	結婚の %	22.1%	17.9%	40.3%	14.3%	5.4%	100.0%
未婚	度数	24	14	29	23	18	108
	結婚の %	22.2%	13.0%	26.9%	21.3%	16.7%	100.0%
合計	度数	98	74	164	71	36	443
	結婚の %	22.1%	16.7%	37.0%	16.0%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.78。

注2) $\chi^2(4)=20.479$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=20.479$, $p<.01$)。結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q25 他の人・違った物 残差分析表

		どちらか				
		という	どちらと	どちらか		
		そう思わ	も言えな	という	そう思う	そう思う
		ない	い	そう思う		
既婚		-.03	1.20	2.52*	-1.72 [†]	-3.74**
未婚		.03	-1.20	-2.52*	1.72 [†]	3.74**

注) [†] $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、既婚で「そう思う」、未婚で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意であり、既婚で「どちらとも言えない」、未婚で「そう思う」が、プラスに有意であった。

既婚者には、他の人と違った物を持ちたいと思っている人が少なく、どちらとも言えない人の多いことがわかった。また、未婚者には、他の人と違った物を持ちたいと思っている人が多く、どちらとも言えない人の少ないことがわかった。未婚者の方が、他人との違いに、敏感であることを伺わせるデータであった。

Q32 服を購入する際、友人と似たファッションにならないように気をつける

Q32 友人と似たファッションにならない クロス集計表

		どちらか という と					
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	どちら か と い う と 思 う	そう 思 う	合計
既婚	度数	67	57	107	81	23	335
	結婚の %	20.0%	17.0%	31.9%	24.2%	6.9%	100.0%
未婚	度数	28	17	22	29	13	109
	結婚の %	25.7%	15.6%	20.2%	26.6%	11.9%	100.0%
合計	度数	95	74	129	110	36	444
	結婚の %	21.4%	16.7%	29.1%	24.8%	8.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.84。

注2) $\chi^2(4)=8.049, p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった ($\chi^2(4)=8.049, p<.1$)。つまり、結婚は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q32 友人と似たファッションにならない 残差分析表

		どちらか という と					
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	どちら か と い う と 思 う	そう 思 う	
既婚		-1.26	.35	2.35*	-.51	-1.68 [†]	
未婚		1.26	-.35	-2.35*	.51	1.68 [†]	

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、既婚で「どちらとも言えない」が、プラスに有意であり、未婚で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意であった。また、既婚で「そう思う」が、マイナスに有意傾向であり、未婚で「そう思う」が、プラスに有意傾向であった。

既婚者には、友人と似たファッションにならないように気をつけている人が少なく、未婚者には多いことが示唆される結果であった。

Q36 自分と同じファッション・アイテムを友だちが持っていることが分かったら、良い気持ちがない

Q36 自分と同じアイテム・良い気持ちしない クロス集計表

		どちらか という そう思わ ない				どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	合計
既婚	度数	121	73	92	37	12	335	
	結婚の %	36.1%	21.8%	27.5%	11.0%	3.6%	100.0%	
未婚	度数	38	20	33	14	4	109	
	結婚の %	34.9%	18.3%	30.3%	12.8%	3.7%	100.0%	
合計	度数	159	93	125	51	16	444	
	結婚の %	35.8%	20.9%	28.2%	11.5%	3.6%	100.0%	

注1) 期待度数 5 未満のセルは、全体の 10.0%。最小期待度数は 3.93。

注2) $\chi^2(4)=0.966$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=0.966$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

(【他人との違い】のクロス集計結果は、以上)

【物質的幸福の追求-性別】

Q5 欲しい物が買えないと、みじめな気持ちになる

Q5 みじめな気持ち クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	も言え ない	と そう思 う	と そう思 う	そう思 う		
男性	度数	90	47	37	13	9		196	
	性別の%	45.9%	24.0%	18.9%	6.6%	4.6%		100.0%	
女性	度数	117	53	45	26	11		252	
	性別の%	46.4%	21.0%	17.9%	10.3%	4.4%		100.0%	
合計	度数	207	100	82	39	20		448	
	性別の%	46.2%	22.3%	18.3%	8.7%	4.5%		100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.75。

注2) $\chi^2(4)=2.230$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=2.230$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q8 買いたい物が、私にはたくさんある

Q8 買いたいもの クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	も言え ない	と そう思 う	と そう思 う	そう思 う		
男性	度数	43	42	43	42	26		196	
	性別の%	21.9%	21.4%	21.9%	21.4%	13.3%		100.0%	
女性	度数	58	56	54	46	38		252	
	性別の%	23.0%	22.2%	21.4%	18.3%	15.1%		100.0%	
合計	度数	101	98	97	88	64		448	
	性別の%	22.5%	21.9%	21.7%	19.6%	14.3%		100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は28.00。

注2) $\chi^2(4)=0.921$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=0.921$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q19 消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ

Q19 消費・お金に余裕・幸せ クロス集計表

		どちらか という と				合計	
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	どちら か と い う と 思 う	そう 思 う	
男性	度数	28	17	54	60	37	196
	性別の%	14.3%	8.7%	27.6%	30.6%	18.9%	100.0%
女性	度数	28	24	71	92	37	252
	性別の%	11.1%	9.5%	28.2%	36.5%	14.7%	100.0%
合計	度数	56	41	125	152	74	448
	性別の%	12.5%	9.2%	27.9%	33.9%	16.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は17.94。

注2) $\chi^2(4)=3.295$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=3.295$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q22 良い商品は、私の人生を豊かにする

Q22 良い商品・豊か クロス集計表

		どちらか					合計
		という	どちら	どちら	という		
		そう	とも	とも	という		
		思わ	も	も	という		
		ない	言え	言え	という		
		ない	ない	ない	そう		
		ない	い	い	思う		
		ない	い	い	思う		
男性	度数	21	22	78	46	26	193
	性別の%	10.9%	11.4%	40.4%	23.8%	13.5%	100.0%
女性	度数	32	20	81	92	28	253
	性別の%	12.6%	7.9%	32.0%	36.4%	11.1%	100.0%
合計	度数	53	42	159	138	54	446
	性別の%	11.9%	9.4%	35.7%	30.9%	12.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は18.17。

注2) $\chi^2(4)=9.951$, $p<.05$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(4)=9.951$, $p<.05$)。性別と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q22 良い商品・豊か 残差分析表

		どちらか				
		という	どちら	どちら	という	
		そう	とも	とも	という	
		思わ	も	も	という	
		ない	言え	言え	という	
		ない	ない	ない	そう	
		ない	い	い	思う	
		ない	い	い	思う	
男性		-.57	1.25	1.83 [†]	-2.84**	.77
女性		.57	-1.25	-1.83 [†]	2.84**	-.77

注) [†] $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、男性で「どちらかというと思う」が、マイナスに有意であり、女性で「どちらかというと思う」が、プラスに有意であった。また、男性で「どちらとも言えない」が、プラスに有意傾向であり、女性で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意傾向であった。

男性には、良い商品が人生を豊かにすると、どちらかというと思っている人が少なく、女性には、多いことがわかった。女性の方が、よい商品と人生の豊かさの間のプラスの関係を、より強く意識していることを伺わせるデータであった。

Q27 欲しい物が手に入れば入るほど、私は幸せになれる

Q27 欲しい物・幸せ クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	も言え ない	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う	合計		
男性	度数	61	41	57	25	9	193		
	性別の%	31.6%	21.2%	29.5%	13.0%	4.7%	100.0%		
女性	度数	83	59	76	24	11	253		
	性別の%	32.8%	23.3%	30.0%	9.5%	4.3%	100.0%		
合計	度数	144	100	133	49	20	446		
	性別の%	32.3%	22.4%	29.8%	11.0%	4.5%	100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.65。

注2) $\chi^2(4)=1.491$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=1.491$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q30 貯蓄するより、消費したい

Q30 貯蓄より消費 クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない と そう思 う		合計
		そう思 わない	そう思 わない	も言え ない	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う	合計		
男性	度数	43	43	76	23	7	192		
	性別の%	22.4%	22.4%	39.6%	12.0%	3.6%	100.0%		
女性	度数	90	69	80	10	4	253		
	性別の%	35.6%	27.3%	31.6%	4.0%	1.6%	100.0%		
合計	度数	133	112	156	33	11	445		
	性別の%	29.9%	25.2%	35.1%	7.4%	2.5%	100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.75。

注2) $\chi^2(4)=20.714$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった ($\chi^2(4)=20.714, p<.01$)。性別と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q30 貯蓄より消費 残差分析表

	どちらか		どちらとも 言えない	どちらか	
	という そう思わ ない	という そう思わ ない		という そう思 う	という そう思 う
男性	-3.01**	-1.17	1.74 [†]	3.20**	1.39
女性	3.01**	1.17	-1.74 [†]	-3.20**	-1.39

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、男性で「どちらかというと思う」、女性で「そう思わない」が、プラスに有意であり、男性で「そう思わない」、女性で「どちらかというと思う」が、マイナスに有意であった。また、男性で「どちらとも言えない」が、プラスに有意傾向であり、女性で「どちらとも言えない」が、マイナスに有意傾向であった。

男性には、貯蓄するより消費したいと、どちらかというと思っている人が多く、そう思わない人が少なかった。女性には、貯蓄するより消費したいと、どちらかというと思っている人が少なく、そう思わない人が多かった。男性の方が、貯蓄より消費だと考えている人の多いことを伺わせるデータであった。

【物質的幸福の追求-年齢】

Q5 欲しい物が買えないと、みじめな気持ちになる

Q5 みじめな気持ち クロス集計表

		どちらか				合計	
		どちらか という そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う		
40歳未満	度数	44	27	25	16	10	122
	年齢の%	36.1%	22.1%	20.5%	13.1%	8.2%	100.0%
40~60歳未満	度数	89	46	42	16	3	196
	年齢の%	45.4%	23.5%	21.4%	8.2%	1.5%	100.0%
60歳以上	度数	74	26	15	7	7	129
	年齢の%	57.4%	20.2%	11.6%	5.4%	5.4%	100.0%
合計	度数	207	99	82	39	20	447
	年齢の%	46.3%	22.1%	18.3%	8.7%	4.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.46。

注2) $\chi^2(8)=23.294$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=23.294$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q5 みじめな気持ち 残差分析表

	どちらか				
	どちらか という そう思わ ない		どちらと も言えな い	どちらか という そう思 う	
	そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思 う	そう思 う
40歳未満	-2.66**	-.01	.72	2.02*	2.33*
40~60歳未満	-.34	.59	1.49	-.37	-2.66**
60歳以上	2.99**	-.65	-2.34*	-1.57	.62

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、「どちらかというそう思う」、60歳以上で「そう思わない」の3つのセルが、プラスに有意であり、40歳未満で「そう思わない」、40~60歳未満で「そう思う」、60歳以上で「どちらとも言えない」の3つのセルが、マイナスに有

意であった。

40歳未満には、欲しいものが買えないと、みじめな気持ちになると思っている人が多く、そう思わない人が少なかった。40～60歳未満には、欲しいものが買えないと、みじめな気持ちになると思っている人は少なかった。60歳以上には、欲しいものが買えないと、みじめな気持ちになると思っていない人が多かった。若い世代の人たちは、欲しいものが買えなければ、みじめな気持ちになるようであった。

Q8 買いたい物が、私にはたくさんある

Q8 買いたいもの クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう思 わ ない	そう思 わ ない	も言え な い	そう思 う	そう思 う		
40歳未満	度数	14	24	24	31	29	122	
	年齢の%	11.5%	19.7%	19.7%	25.4%	23.8%	100.0%	
40～60歳 未満	度数	38	42	47	43	26	196	
	年齢の%	19.4%	21.4%	24.0%	21.9%	13.3%	100.0%	
60歳以上	度数	49	31	26	14	9	129	
	年齢の%	38.0%	24.0%	20.2%	10.9%	7.0%	100.0%	
合計	度数	101	97	97	88	64	447	
	年齢の%	22.6%	21.7%	21.7%	19.7%	14.3%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は17.47。

注2) $\chi^2(8)=42.762$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=42.762$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q8 買いたいもの 残差分析表

	どちらか		どちらとも 言えない	どちらか	
	という そう思わ ない	という そう思わ ない		という そう思 う	という そう思 う
	40 歳未満	-3.44**		-.64	-.64
40~60 歳未満	-1.43	-.12	1.03	1.06	-.56
60 歳以上	4.96**	.76	-.50	-2.99**	-2.82**

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40 歳未満で「そう思う」、60 歳以上で「そう思わない」の 2 つのセルが、プラスに有意であり、40 歳未満で「そう思わない」、60 歳以上で「そう思う」、「どちらかというそう思う」の 3 つのセルが、マイナスに有意であった。また、40 歳未満で「どちらかというそう思う」が、プラスに有意傾向であった。

40 歳未満では、買いたいものがたくさんあると思っている人が多く、そう思わない人が少なかった。60 歳以上では、買いたいものがたくさんあると思っている人が少なく、そう思わない人が多かった。若い世代の人たちの方が、買いたい物がたくさんあることの伺えるデータであった。

Q19 消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ

Q19 消費・お金に余裕・幸せ クロス集計表

		どちらか				合計
		そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかと思う	
40歳未満	度数	8	11	31	41	122
	年齢の%	6.6%	9.0%	25.4%	33.6%	100.0%
40～60歳未満	度数	23	14	60	69	196
	年齢の%	11.7%	7.1%	30.6%	35.2%	100.0%
60歳以上	度数	25	15	34	42	129
	年齢の%	19.4%	11.6%	26.4%	32.6%	100.0%
合計	度数	56	40	125	152	447
	年齢の%	12.5%	8.9%	28.0%	34.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は10.92。

注2) $\chi^2(8)=20.450$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=20.450$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q19 消費・お金に余裕・幸せ 残差分析表

	どちらか				
	そう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	どちらかと思う	そう思う
40歳未満	-2.34*	.03	-.74	-.11	3.09**
40～60歳未満	-.45	-1.18	1.10	.47	-.63
60歳以上	2.79**	1.26	-.48	-.41	-2.35*

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、60歳以上で「そう思わない」の2つのセルが、プラスに有意であり、40歳未満で「そう思わない」、60歳以上で「そう思う」の2つのセルが、マイナスに有意であった。

40歳未満では、消費に使えるお金に余裕があれば幸せだと思う人が多く、そう思わない

人が少なかった。60歳以上では、消費に使えるお金に余裕があれば幸せだと思う人が少なく、そう思わない人が多かった。若い世代の人たちにとって、金銭的余裕は、幸せに結びつく程度の高いことを伺わせるデータであった。

Q22 良い商品は、私の人生を豊かにする

Q22 良い商品・豊か クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
40歳未満	度数	17	13	37	35	20	122
	年齢の%	13.9%	10.7%	30.3%	28.7%	16.4%	100.0%
40～60歳未満	度数	15	15	80	69	18	197
	年齢の%	7.6%	7.6%	40.6%	35.0%	9.1%	100.0%
60歳以上	度数	21	14	42	33	16	126
	年齢の%	16.7%	11.1%	33.3%	26.2%	12.7%	100.0%
合計	度数	53	42	159	137	54	445
	年齢の%	11.9%	9.4%	35.7%	30.8%	12.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は11.51。

注2) $\chi^2(8)=15.141$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(8)=15.141$, $p<.1$)。つまり、年齢は、回答行動と関連していることが示唆された。

Q22 良い商品・豊か 残差分析表

		どちらか				
		という		どちらと	どちらか	
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う
		ない	ない	い	そう思う	そう思う
40歳未満		.81	.54	-1.46	-.59	1.69 [†]
40～60歳未満		-2.49 [*]	-1.17	1.91 [†]	1.73 [†]	-1.73 [†]
60歳以上		1.95 [†]	.76	-.66	-1.32	.23

注) [†]p<.1、^{*}p<.05、^{**}p<.01

残差分析によると、40～60 歳未満で「そう思わない」が、有意にマイナスであった。中年層において、良い商品が人生を豊かにするとは思わない人の少ないことが示唆される結果であった。

Q27 欲しい物が手に入れば入るほど、私は幸せになれる

Q27 欲しい物・幸せ クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
40 歳未満	度数	23	31	37	20	11	122
	年齢の%	18.9%	25.4%	30.3%	16.4%	9.0%	100.0%
40～60 歳 未満	度数	63	45	58	23	8	197
	年齢の%	32.0%	22.8%	29.4%	11.7%	4.1%	100.0%
60 歳以上	度数	58	24	37	6	1	126
	年齢の%	46.0%	19.0%	29.4%	4.8%	.8%	100.0%
合計	度数	144	100	132	49	20	445
	年齢の%	32.4%	22.5%	29.7%	11.0%	4.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.48。

注2) $\chi^2(8)=32.559$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=32.559$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q27 欲しい物・幸せ 残差分析表

		どちらか				
		という		どちらと	どちらか	
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う
		ない	ない	い	そう思う	そう思う
40 歳未満		-3.74**	.91	.19	2.23*	2.83**
40～60 歳未満		-.15	.17	-.09	.40	-.39
60 歳以上		3.87**	-1.09	-.09	-2.65**	-2.37*

注) † $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、「どちらかというと思う」、60歳以上で「そう思わない」の3つのセルが、プラスに有意であり、40歳未満で「そう思わない」、60歳以上で「そう思う」、「どちらかというと思う」の3つのセルが、マイナスに有意であった。

40歳未満では、欲しい物が手に入れば幸せになれると思っている人が多く、そう思わない人が少なかった。60歳以上では、欲しい物が手に入れば幸せになれると思っている人が少なく、そう思わない人が多かった。若い世代の人たちの方が、欲しい物がたくさん手に入ることと幸せとが、強く結びついていることを示唆するデータであった。

Q30 貯蓄するより、消費したい

Q30 貯蓄より消費 クロス集計表

		どちらか という と				合計	
		そう思 わない	そう思 わない	どちら も言え ない	どちら かとい うと そう思 う	そう思 う	
40歳未満	度数	37	35	33	11	6	122
	年齢の%	30.3%	28.7%	27.0%	9.0%	4.9%	100.0%
40～60歳 未満	度数	52	49	79	15	2	197
	年齢の%	26.4%	24.9%	40.1%	7.6%	1.0%	100.0%
60歳以上	度数	44	27	44	7	3	125
	年齢の%	35.2%	21.6%	35.2%	5.6%	2.4%	100.0%
合計	度数	133	111	156	33	11	444
	年齢の%	30.0%	25.0%	35.1%	7.4%	2.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は3.02。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできない。

【物質的幸福の追求-学歴】

Q5 欲しい物が買えないと、みじめな気持ちになる

Q5 みじめな気持ち クロス集計表

		どちらか という そう思わ ない	どちら かとい うとそ う思 う	どちら かとい うとそ う思 う	合計		
中学・高校卒	度数	70	44	34	13	12	173
	学歴の%	40.5%	25.4%	19.7%	7.5%	6.9%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	49	21	20	10	3	103
	学歴の%	47.6%	20.4%	19.4%	9.7%	2.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	86	34	28	16	5	169
	学歴の%	50.9%	20.1%	16.6%	9.5%	3.0%	100.0%
合計	度数	205	99	82	39	20	445
	学歴の%	46.1%	22.2%	18.4%	8.8%	4.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.63。

注2) $\chi^2(8)=8.154$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=8.154$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q8 買いたい物が、私にはたくさんある

Q8 買いたいもの クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか と言えな いうと 思う 思う ない ない い 思う 思う 合計					
中学・高校卒	度数	42	39	39	27	26	173
	学歴の%	24.3%	22.5%	22.5%	15.6%	15.0%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	21	24	20	25	13	103
	学歴の%	20.4%	23.3%	19.4%	24.3%	12.6%	100.0%
大学・大学院卒	度数	36	34	38	36	25	169
	学歴の%	21.3%	20.1%	22.5%	21.3%	14.8%	100.0%
合計	度数	99	97	97	88	64	445
	学歴の%	22.2%	21.8%	21.8%	19.8%	14.4%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は14.81。

注2) $\chi^2(8)=4.331$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(8)=4.331$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q19 消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ

Q19 消費・お金に余裕・幸せ クロス集計表

		どちらか という そう思わ ない	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思う	そう思 う	合計
中学・高校卒	度数	20	11	50	62	30
	学歴の%	11.6%	6.4%	28.9%	35.8%	17.3%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	12	12	25	39	15
	学歴の%	11.7%	11.7%	24.3%	37.9%	14.6%
大学・大学院卒	度数	24	18	49	49	29
	学歴の%	14.2%	10.7%	29.0%	29.0%	17.2%
合計	度数	56	41	124	150	74
	学歴の%	12.6%	9.2%	27.9%	33.7%	16.6%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.49。

注2) $\chi^2(8)=5.982$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=5.982$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q22 良い商品は、私の人生を豊かにする

Q22 良い商品・豊か クロス集計表

		どちらか という そう思 わない	どちら とも言 えない	どちら かとい うとそ う思 う	合計		
中学・高校卒	度数	20	17	72	21	172	
	学歴の%	11.6%	9.9%	41.9%	24.4%	12.2%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	15	8	36	33	11	103
	学歴の%	14.6%	7.8%	35.0%	32.0%	10.7%	100.0%
大学・大学院卒	度数	18	17	50	61	22	168
	学歴の%	10.7%	10.1%	29.8%	36.3%	13.1%	100.0%
合計	度数	53	42	158	136	54	443
	学歴の%	12.0%	9.5%	35.7%	30.7%	12.2%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.77。

注2) $\chi^2(8)=9.043$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=9.043$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q30 貯蓄するより、消費したい

Q30 貯蓄より消費 クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか と思う と思う とも言えな い と思う 思う					合計
		ない	ない	い	思う	思う	
中学・高校卒	度数	51	33	71	13	3	171
	学歴の%	29.8%	19.3%	41.5%	7.6%	1.8%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	37	28	31	4	3	103
	学歴の%	35.9%	27.2%	30.1%	3.9%	2.9%	100.0%
大学・大学院卒	度数	44	50	53	16	5	168
	学歴の%	26.2%	29.8%	31.5%	9.5%	3.0%	100.0%
合計	度数	132	111	155	33	11	442
	学歴の%	29.9%	25.1%	35.1%	7.5%	2.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は2.56。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

【物質的幸福の追求-結婚】

Q5 欲しい物が買えないと、みじめな気持ちになる

Q5 みじめな気持ち クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない い と そう思 う		合計
既婚	度数	162	74	58	31	12		337	
	結婚の %	48.1%	22.0%	17.2%	9.2%	3.6%		100.0%	
未婚	度数	44	25	24	8	8		109	
	結婚の %	40.4%	22.9%	22.0%	7.3%	7.3%		100.0%	
合計	度数	206	99	82	39	20		446	
	結婚の %	46.2%	22.2%	18.4%	8.7%	4.5%		100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.89。

注2) $\chi^2(4)=5.077$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=5.077$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q8 買いたい物が、私にはたくさんある

Q8 買いたいもの クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちらと も言え ない い と そう思 う		合計
既婚	度数	76	74	80	61	46		337	
	結婚の %	22.6%	22.0%	23.7%	18.1%	13.6%		100.0%	
未婚	度数	25	22	17	27	18		109	
	結婚の %	22.9%	20.2%	15.6%	24.8%	16.5%		100.0%	
合計	度数	101	96	97	88	64		446	
	結婚の %	22.6%	21.5%	21.7%	19.7%	14.3%		100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は15.64。

注2) $\chi^2(4)=4.964$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=4.964$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q19 消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ

Q19 消費・お金に余裕・幸せ クロス集計表

		どちらか という そう思 ない				どちらと も言えな い	どちらか という そう思 そう思 う		合計
既婚	度数	45	34	96	115	47		337	
	結婚の %	13.4%	10.1%	28.5%	34.1%	13.9%		100.0%	
未婚	度数	10	6	29	37	27		109	
	結婚の %	9.2%	5.5%	26.6%	33.9%	24.8%		100.0%	
合計	度数	55	40	125	152	74		446	
	結婚の %	12.3%	9.0%	28.0%	34.1%	16.6%		100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.78。

注2) $\chi^2(4)=9.017$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった ($\chi^2(4)=9.017$, $p<.1$)。つまり、結婚は、回答行動と関連していることが示唆された。

Q19 消費・お金に余裕・幸せ 残差分析表

	どちらか という そう思 ない		どちらと も言えな い	どちらか という そう思 そう思 う	
既婚	1.15	1.46	.38	.03	-2.64**
未婚	-1.15	-1.46	-.38	-.03	2.64**

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、既婚で「そう思う」が、マイナスに有意であり、未婚で「そう思う」が、プラスに有意であった。

既婚者には、消費に使えるお金に余裕があれば、幸せだと思う人が少なく、未婚者には多いことが示唆される結果であった。未婚者の方が、金銭的余裕と幸せが、強く結びついていることを示唆するデータであった。

Q22 良い商品は、私の人生を豊かにする

Q22 良い商品・豊か クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
既婚	度数	38	32	121	110	34	335	
	結婚の %	11.3%	9.6%	36.1%	32.8%	10.1%	100.0%	
未婚	度数	15	9	38	27	20	109	
	結婚の %	13.8%	8.3%	34.9%	24.8%	18.3%	100.0%	
合計	度数	53	41	159	137	54	444	
	結婚の %	11.9%	9.2%	35.8%	30.9%	12.2%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は10.07。

注2) $\chi^2(4)=6.868$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=6.868$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q27 欲しい物が手に入れば入るほど、私は幸せになれる

Q27 欲しい物・幸せ クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
既婚	度数	115	75	100	33	12	335	
	結婚の %	34.3%	22.4%	29.9%	9.9%	3.6%	100.0%	
未婚	度数	29	24	32	16	8	109	
	結婚の %	26.6%	22.0%	29.4%	14.7%	7.3%	100.0%	
合計	度数	144	99	132	49	20	444	
	結婚の %	32.4%	22.3%	29.7%	11.0%	4.5%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.91。

注2) $\chi^2(4)=5.839$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=5.839$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q30 貯蓄するより、消費したい

Q30 貯蓄より消費 クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら も言 えな い	そう 思 う	そう 思 う		
既婚	度数	100	90	112	27	5	334	
	結婚の %	29.9%	26.9%	33.5%	8.1%	1.5%	100.0%	
未婚	度数	32	21	44	6	6	109	
	結婚の %	29.4%	19.3%	40.4%	5.5%	5.5%	100.0%	
合計	度数	132	111	156	33	11	443	
	結婚の %	29.8%	25.1%	35.2%	7.4%	2.5%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は2.71。

注2) $\chi^2(4)=9.083$, $p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった ($\chi^2(4)=9.083$, $p<.1$)。つまり、結婚は、回答行動と関連していることが示唆された。

Q30 貯蓄より消費 残差分析表

	どちらか という と				
	そう 思わ ない		どちら も言 えな い	どちらか という と	
	そう 思わ ない	そう 思わ ない	い	そう 思 う	そう 思 う
既婚	.12	1.61	-1.30	.89	-2.33*
未婚	-.12	-1.61	1.30	-.89	2.33*

注) † $p<.1$, * $p<.05$, ** $p<.01$

残差分析によると、既婚で「そう思う」が、マイナスに有意であり、未婚で「そう思う」が、プラスに有意であった。

既婚者には、貯蓄するより、消費したいと思っている人が少なく、未婚者には多いことが示唆される結果であった。未婚者の方が、貯蓄より消費だと思っている傾向が強いことを示唆するデータであった。 (【物質的幸福の追求】のクロス集計結果は、以上)

【記号的意味の付与-性別】

Q1 自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたい

Q1 地位や役割にふさわしい物 クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					合計
		どちらか という と そう思 わない	どちらと も言え ない	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う		
男性	度数	34	31	43	63	24	195
	性別の%	17.4%	15.9%	22.1%	32.3%	12.3%	100.0%
女性	度数	44	36	63	74	34	251
	性別の%	17.5%	14.3%	25.1%	29.5%	13.5%	100.0%
合計	度数	78	67	106	137	58	446
	性別の%	17.5%	15.0%	23.8%	30.7%	13.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は25.36。

注2) $\chi^2(4)=1.021$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=1.021$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q2 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる

Q2 自分の価値・高まる クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					合計
		どちらか という と そう思 わない	どちらと も言え ない	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う		
男性	度数	53	30	45	46	22	196
	性別の%	27.0%	15.3%	23.0%	23.5%	11.2%	100.0%
女性	度数	70	34	61	68	18	251
	性別の%	27.9%	13.5%	24.3%	27.1%	7.2%	100.0%
合計	度数	123	64	106	114	40	447
	性別の%	27.5%	14.3%	23.7%	25.5%	8.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は17.54。

注2) $\chi^2(4)=2.937$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=2.937$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q9 持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断することが多い

Q9 持ち物を見て・判断 クロス集計表

		どちらか という と どちらと も言えな い どちらか という と そう思う そう思う					合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思 う	そう思 う	
男性	度数	55	47	48	36	10	196
	性別の%	28.1%	24.0%	24.5%	18.4%	5.1%	100.0%
女性	度数	52	51	81	59	9	252
	性別の%	20.6%	20.2%	32.1%	23.4%	3.6%	100.0%
合計	度数	107	98	129	95	19	448
	性別の%	23.9%	21.9%	28.8%	21.2%	4.2%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は8.31。

注2) $\chi^2(4)=7.426$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=7.426$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q14 プレゼントをもらうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる

Q14 プレゼント・贈り主の気持ち クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
男性	度数	6	6	51	93	40				196	
	性別の%	3.1%	3.1%	26.0%	47.4%	20.4%				100.0%	
女性	度数	3	5	29	116	99				252	
	性別の%	1.2%	2.0%	11.5%	46.0%	39.3%				100.0%	
合計	度数	9	11	80	209	139				448	
	性別の%	2.0%	2.5%	17.9%	46.7%	31.0%				100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は3.94。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできない。

Q15 今の自分が持っている物は、私のこれまでの努力の証(あかし)だ

Q15 努力の証 クロス集計表

		どちらか という と そう思 わない					どちら と も言え ない		どちらか という と そう思 う		合計
男性	度数	30	30	75	42	19				196	
	性別の%	15.3%	15.3%	38.3%	21.4%	9.7%				100.0%	
女性	度数	51	32	94	47	28				252	
	性別の%	20.2%	12.7%	37.3%	18.7%	11.1%				100.0%	
合計	度数	81	62	169	89	47				448	
	性別の%	18.1%	13.8%	37.7%	19.9%	10.5%				100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は20.56。

注2) $\chi^2(4)=2.691$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=2.691$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

Q21 身の丈(みのたけ)に合わない物は持ちたくない

Q21 身の丈 クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか そう思わ そう思わ も言えな というと ない ない い そう思う そう思う					合計
男性	度数	14	13	39	72	55	193
	性別の%	7.3%	6.7%	20.2%	37.3%	28.5%	100.0%
女性	度数	13	22	48	85	85	253
	性別の%	5.1%	8.7%	19.0%	33.6%	33.6%	100.0%
合計	度数	27	35	87	157	140	446
	性別の%	6.1%	7.8%	19.5%	35.2%	31.4%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は11.68。

注2) $\chi^2(4)=2.766$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=2.766$, n. s.)、性別と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【記号的意味の付与-年齢】

Q1 自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたい

Q1 地位や役割にふさわしい物 クロス集計表

		どちらか という と				どちらか という と		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う		
40 歳未満	度数	14	11	22	45	30	122	
	年齢の%	11.5%	9.0%	18.0%	36.9%	24.6%	100.0%	
40~60 歳 未満	度数	33	27	50	61	24	195	
	年齢の%	16.9%	13.8%	25.6%	31.3%	12.3%	100.0%	
60 歳以上	度数	31	29	34	30	4	128	
	年齢の%	24.2%	22.7%	26.6%	23.4%	3.1%	100.0%	
合計	度数	78	67	106	136	58	445	
	年齢の%	17.5%	15.1%	23.8%	30.6%	13.0%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は15.90。

注2) $\chi^2(8)=42.284$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=42.284$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q1 地位や役割にふさわしい物 残差分析表

	どちらか という と				
	そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	そう 思 う	そう 思 う
	40 歳未満	-2.06*	-2.19*	-1.76 [†]	1.78 [†]
40~60 歳 未満	-.30	-.63	.80	.29	-.40
60 歳以上	2.36*	2.85**	.86	-2.07*	-3.95**

注) [†] $p<.1$ 、* $p<.05$ 、** $p<.01$

残差分析によると、40 歳未満で「そう思う」、60 歳以上で「どちらかというと思わない」、「そう思わない」の3つのセルが、プラスに有意であり、40 歳未満で「どちらかというと思わない」、「そう思わない」、60 歳以上で「そう思う」、「どちらかというと思おう」

の4つのセルが、マイナスに有意であった。また、40歳未満で「どちらかというと思う」が、プラスに有意傾向であり、「どちらとも言えない」が、マイナスに有意傾向であった。

40歳未満では、自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたいと思っている人が多く、そう思っていない人は少なかった。60歳以上では、自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたいと思っている人は少なく、そう思わない人が多かった。年齢が、物の所有を通じた顕示欲に関係していることが伺われるデータであった。

Q2 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる

Q2 自分の価値・高まる クロス集計表

		どちらか という と				合計	
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら も言え ない	どちら か という と そう 思 う	そう 思 う	
40歳未満	度数	24	16	23	43	16	122
	年齢の%	19.7%	13.1%	18.9%	35.2%	13.1%	100.0%
40～60歳 未満	度数	50	25	51	51	19	196
	年齢の%	25.5%	12.8%	26.0%	26.0%	9.7%	100.0%
60歳以上	度数	49	23	31	20	5	128
	年齢の%	38.3%	18.0%	24.2%	15.6%	3.9%	100.0%
合計	度数	123	64	105	114	40	446
	年齢の%	27.6%	14.3%	23.5%	25.6%	9.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は10.94。

注2) $\chi^2(8)=27.255$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=27.255$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q2 自分の価値・高まる 残差分析表

	どちらか		どちらとも 言えない	どちらか	
	という そう思わ ない	という そう思わ ない		という そう思 う	という そう思 う
	40 歳未満	-2.29*		-.46	-1.43
40~60 歳未満	-.87	-.85	1.09	.20	.47
60 歳以上	3.21**	1.38	.21	-3.05**	-2.37*

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40 歳未満で「どちらかというと思う」、60 歳以上で「そう思わない」の 2 つが、プラスに有意であり、40 歳未満で「そう思わない」、60 歳以上で「思う」、
「どちらかというと思う」の 3 つが、マイナスに有意であった。また、40 歳未満で「思う」が、プラスに有意傾向であった。

40 歳未満では、良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる人が多く、そうならない人は少なかった。60 歳以上では、良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる人は少なく、そうならない人が多かった。若い世代の方が、所有・獲得と自己肯定感との間に、正の関係のあることを伺わせるデータであった。

Q9 持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断することが多い

Q9 持ち物を見て・判断 クロス集計表

		どちらか					合計
		という	どちらと	どちらか			
		そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う		
40歳未満	度数	22	24	34	32	10	122
	年齢の%	18.0%	19.7%	27.9%	26.2%	8.2%	100.0%
40～60歳 未満	度数	39	45	61	45	6	196
	年齢の%	19.9%	23.0%	31.1%	23.0%	3.1%	100.0%
60歳以上	度数	46	29	33	18	3	129
	年齢の%	35.7%	22.5%	25.6%	14.0%	2.3%	100.0%
合計	度数	107	98	128	95	19	447
	年齢の%	23.9%	21.9%	28.6%	21.3%	4.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は5.19。

注2) $\chi^2(8)=22.953$, $p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=22.953$, $p<.01$)。年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q9 持ち物を見て・判断 残差分析表

		どちらか				
		という	どちらと	どちらか		
		そう思わ ない	も言えな い	という そう思う	そう思う	
40歳未満		-1.79 [†]	-.71	-.22	1.58	2.53*
40～60歳未満		-1.77 [†]	.47	1.03	.78	-1.10
60歳以上		3.70**	.18	-.91	-2.40*	-1.28

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、40歳未満で「そう思う」、60歳以上で「そう思わない」の2つが、プラスに有意であり、60歳以上で「どちらかというそう思う」が、マイナスに有意であった。また、40歳未満と40～60歳未満で「そう思わない」の2つが、マイナスに有意傾向であった。

40歳未満では、持ち物を見て、他人を判断すると思っている人が多かった。60歳以上では、持ち物を見て、他人を判断すると思っている人が少なく、そう思わない人は多かった。自分自身の評価(Q2)だけでなく、他人を評価する際にも、若い世代の方が、所有によるシグナルを利用していることを伺わせるデータであった。

Q14 プレゼントをもらおうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる

Q14 プレゼント・贈り主の気持ち クロス集計表

		どちらか				合計	
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	という そう思う		
40歳未満	度数	2	4	22	53	41	122
	年齢の%	1.6%	3.3%	18.0%	43.4%	33.6%	100.0%
40～60歳 未満	度数	3	4	36	100	53	196
	年齢の%	1.5%	2.0%	18.4%	51.0%	27.0%	100.0%
60歳以上	度数	4	3	22	55	45	129
	年齢の%	3.1%	2.3%	17.1%	42.6%	34.9%	100.0%
合計	度数	9	11	80	208	139	447
	年齢の%	2.0%	2.5%	17.9%	46.5%	31.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の40.0%。最小期待度数は2.46。

期待度数が5未満のセルの比率が40%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q15 今の自分が持っている物は、私のこれまでの努力の証(あかし)だ

Q15 努力の証 クロス集計表

		どちらか				合計
		どちらか という と そう思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と そう思 う	どちらか という と そう思 う	
40歳未満	度数	24	20	36	26	122
	年齢の%	19.7%	16.4%	29.5%	21.3%	100.0%
40~60歳 未満	度数	36	28	80	37	196
	年齢の%	18.4%	14.3%	40.8%	18.9%	100.0%
60歳以上	度数	21	14	52	26	129
	年齢の%	16.3%	10.9%	40.3%	20.2%	100.0%
合計	度数	81	62	168	89	447
	年齢の%	18.1%	13.9%	37.6%	19.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は12.83。

注2) $\chi^2(8)=7.736$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=7.736$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q21 身の丈(みのたけ)に合わない物は持ちたくない

Q21 身の丈 クロス集計表

		どちらか という と どちらか も言えな い という と					合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	い	そう思 う	そう思 う	
40歳未満	度数	9	13	24	39	37	122
	年齢の%	7.4%	10.7%	19.7%	32.0%	30.3%	100.0%
40~60歳 未満	度数	9	11	45	69	63	197
	年齢の%	4.6%	5.6%	22.8%	35.0%	32.0%	100.0%
60歳以上	度数	9	11	18	49	39	126
	年齢の%	7.1%	8.7%	14.3%	38.9%	31.0%	100.0%
合計	度数	27	35	87	157	139	445
	年齢の%	6.1%	7.9%	19.6%	35.3%	31.2%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は7.40。

注2) $\chi^2(8)=7.744$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=7.744$, n. s.)、年齢と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【記号的意味の付与-学歴】

Q1 自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたい

Q1 地位や役割にふさわしい物 クロス集計表

		どちらか という と そう 思わ ない					どちらと も 言え な い		どちらか という と そう 思 う		合計
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	ど ち ら か と す お う 思 う	ど ち ら か と す お う 思 う					
中学・高校卒	度数	33	26	52	46	14			171		
	学歴の%	19.3%	15.2%	30.4%	26.9%	8.2%			100.0%		
短大・高専・各種専門学校卒	度数	19	12	22	36	14			103		
	学歴の%	18.4%	11.7%	21.4%	35.0%	13.6%			100.0%		
大学・大学院卒	度数	26	28	31	54	30			169		
	学歴の%	15.4%	16.6%	18.3%	32.0%	17.8%			100.0%		
合計	度数	78	66	105	136	58			443		
	学歴の%	17.6%	14.9%	23.7%	30.7%	13.1%			100.0%		

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は13.49。

注2) $\chi^2(8)=14.842, p<.1$

χ^2 検定の結果は、有意傾向であった($\chi^2(8)=14.842, p<.1$)。つまり、学歴は、回答行動に関連していることが示唆された。

Q1 地位や役割にふさわしい物 残差分析表

	どちらか という と そう 思わ ない					どちらと も 言え な い		どちらか という と そう 思 う	
	そう 思わ ない	そう 思わ ない	も 言え な い	ど ち ら か と す お う 思 う	ど ち ら か と す お う 思 う				
中学・高校卒	.74	.14	2.63**	-1.37	-2.43*				
短大・高専・各種専門学校卒	.26	-1.06	-.64	1.07	.17				
大学・大学院卒	-.96	.78	-2.08*	.45	2.28*				

注) †p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、中学・高校卒で「そう思う」、大学・大学院卒で「どちらとも言えない」の2つのセルが、マイナスに有意であった。また、中学・高校卒で「どちらとも言えない」、大学・大学院卒で「そう思う」の2つのセルが、プラスに有意であった。

中学・高校卒では、自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたいと思っている人は少なく、どちらとも言えない人が多いことが示唆される結果であった。大学・大学院卒では、自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたいと思っている人が多く、どちらとも言えない人は少ないことが示唆される結果であった。学歴によって、物の所有を通じた顕示欲に違いがあることを伺わせるデータであった。

Q2 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる

Q2 自分の価値・高まる クロス集計表

		どちらか という と そう 思 わ な い		どちら か と い う と そ う 思 う		合計	
中学・高校卒	度数	49	20	45	44	14	172
	学歴の%	28.5%	11.6%	26.2%	25.6%	8.1%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	32	15	23	27	6	103
	学歴の%	31.1%	14.6%	22.3%	26.2%	5.8%	100.0%
大学・大学院卒	度数	41	29	36	43	20	169
	学歴の%	24.3%	17.2%	21.3%	25.4%	11.8%	100.0%
合計	度数	122	64	104	114	40	444
	学歴の%	27.5%	14.4%	23.4%	25.7%	9.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.28。

注2) $\chi^2(8)=6.740$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=6.740$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q9 持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断することが多い

Q9 持ち物を見て・判断 クロス集計表

		どちらか					合計
		どちらか という そう思 わない	どちら とも 言え ない	どちら か という そう 思 う	どちら か という そう 思 う	そう 思 う	
中学・高校卒	度数	44	36	53	34	6	173
	学歴の%	25.4%	20.8%	30.6%	19.7%	3.5%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	26	25	30	22	0	103
	学歴の%	25.2%	24.3%	29.1%	21.4%	.0%	100.0%
大学・大学院卒	度数	35	36	46	39	13	169
	学歴の%	20.7%	21.3%	27.2%	23.1%	7.7%	100.0%
合計	度数	105	97	129	95	19	445
	学歴の%	23.6%	21.8%	29.0%	21.3%	4.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の6.7%。最小期待度数は4.40。

注2) $\chi^2(8)=11.458$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=11.458$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q14 プレゼントをもらうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる

Q14 プレゼント・贈り主の気持ち クロス集計表

		どちらか というと どちらと どちらか と思う と思う とも言えな い と思う 思う					合計
		そう思わ ない	そう思わ ない	も言えな い	と思う	思う	
中学・高校卒	度数	3	5	35	76	54	173
	学歴の%	1.7%	2.9%	20.2%	43.9%	31.2%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	1	2	10	47	43	103
	学歴の%	1.0%	1.9%	9.7%	45.6%	41.7%	100.0%
大学・大学院卒	度数	5	4	35	84	41	169
	学歴の%	3.0%	2.4%	20.7%	49.7%	24.3%	100.0%
合計	度数	9	11	80	207	138	445
	学歴の%	2.0%	2.5%	18.0%	46.5%	31.0%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の40.0%。最小期待度数は2.08。

期待度数が5未満のセルの比率が40%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q15 今の自分が持っている物は、私のこれまでの努力の証(あかし)だ

Q15 努力の証 クロス集計表

		どちらか					合計
		どちらか と思う ない	どちらか と思う ない	どちらと も言えな い	どちらか と思う	どちらか と思う	
中学・高校卒	度数	22	21	76	31	23	173
	学歴の%	12.7%	12.1%	43.9%	17.9%	13.3%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	18	11	40	19	15	103
	学歴の%	17.5%	10.7%	38.8%	18.4%	14.6%	100.0%
大学・大学院卒	度数	41	30	51	38	9	169
	学歴の%	24.3%	17.8%	30.2%	22.5%	5.3%	100.0%
合計	度数	81	62	167	88	47	445
	学歴の%	18.2%	13.9%	37.5%	19.8%	10.6%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は10.88。

注2) $\chi^2(8)=21.811, p<.01$

χ^2 検定の結果は、有意であった($\chi^2(8)=21.811, p<.01$)。学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は棄却され、何らかの結びつきを示す結果となった。

Q15 努力の証 残差分析表

	どちらか				
	どちらか と思う ない	どちらか と思う ない	どちらと も言えな い	どちらか と思う	どちらか と思う
	中学・高校卒	-2.39*	-.87	2.22*	-.78
短大・高専・各種専門学校卒	-.22	-1.09	.31	-.39	1.51
大学・大学院卒	2.59**	1.82 [†]	-2.51*	1.12	-2.81**

注) [†]p<.1、*p<.05、**p<.01

残差分析によると、中学・高校卒で「そう思わない」、大学・大学院卒で「どちらとも言えない」、「そう思う」の3つのセルが、マイナスに有意であった。また、中学・高校卒で「どちらとも言えない」、大学・大学院卒で「そう思わない」の2つのセルが、プラスに有意であった。

中学・高校卒では、今の自分の所有物が、自分のこれまでの努力の証だと思わない人が少なく、どちらとも言えない人が多かった。大学・大学院卒では、今の自分の所有物が、自分のこれまでの努力の証だと思う人が少なく、そう思わない人が多かった。また、どちらとも言えない人は、少なかった。高学歴者の方が、自分自身の所有物に、過去の自分の努力が反映していないと考えていることを伺わせるデータであった。

Q21 身の丈(みのたけ)に合わない物は持ちたくない

Q21 身の丈 クロス集計表

		どちらか という そう思 わない	どちら かとい うとそ う思 う	合計
中学・高校卒	度数	6	67	172
	学歴の%	3.5%	39.0%	100.0%
短大・高専・各種専門学校卒	度数	8	33	103
	学歴の%	7.8%	32.0%	100.0%
大学・大学院卒	度数	13	56	168
	学歴の%	7.7%	33.3%	100.0%
合計	度数	27	156	443
	学歴の%	6.1%	35.2%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.28。

注2) $\chi^2(8)=5.426$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(8)=5.426$, n. s.)、学歴と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

【記号的意味の付与-結婚】

Q1 自分自身の社会的な地位や役割にふさわしい物を持ちたい

Q1 地位や役割にふさわしい物 クロス集計表

		どちらか という と						
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	どちら か と い う と 思 う	そう 思 う	合計	
既婚	度数	56	53	85	102	39	335	
	結婚の %	16.7%	15.8%	25.4%	30.4%	11.6%	100.0%	
未婚	度数	21	14	21	34	19	109	
	結婚の %	19.3%	12.8%	19.3%	31.2%	17.4%	100.0%	
合計	度数	77	67	106	136	58	444	
	結婚の %	17.3%	15.1%	23.9%	30.6%	13.1%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は14.24。

注2) $\chi^2(4)=4.201$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=4.201$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q2 良い物を買うと、自分の価値が高まった気持ちになる

Q2 自分の価値・高まる クロス集計表

		どちらか という と						
		そう 思わ ない	そう 思わ ない	どちら と も 言え な い	どちら か と い う と 思 う	そう 思 う	合計	
既婚	度数	94	52	82	81	27	336	
	結婚の %	28.0%	15.5%	24.4%	24.1%	8.0%	100.0%	
未婚	度数	28	12	23	33	13	109	
	結婚の %	25.7%	11.0%	21.1%	30.3%	11.9%	100.0%	
合計	度数	122	64	105	114	40	445	
	結婚の %	27.4%	14.4%	23.6%	25.6%	9.0%	100.0%	

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は9.80。

注2) $\chi^2(4)=4.288$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=4.288$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q9 持ち物を見て、その人がどんな人物かを判断することが多い

Q9 持ち物を見て・判断 クロス集計表

		どちらか という と					
		どちらか そう思わ ない	どちらと そう思わ ない	どちらか も言えな い	どちらか という と そう思 う	どちらか そう思 う	合計
既婚	度数	86	73	98	65	15	337
	結婚の %	25.5%	21.7%	29.1%	19.3%	4.5%	100.0%
未婚	度数	20	25	30	30	4	109
	結婚の %	18.3%	22.9%	27.5%	27.5%	3.7%	100.0%
合計	度数	106	98	128	95	19	446
	結婚の %	23.8%	22.0%	28.7%	21.3%	4.3%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の10.0%。最小期待度数は4.64。

注2) $\chi^2(4)=4.653$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=4.653$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

Q14 プレゼントをもらうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる

Q14 プレゼント・贈り主の気持ち クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
既婚	度数	7	6	57	169	98	337
	結婚の %	2.1%	1.8%	16.9%	50.1%	29.1%	100.0%
未婚	度数	2	5	23	39	40	109
	結婚の %	1.8%	4.6%	21.1%	35.8%	36.7%	100.0%
合計	度数	9	11	80	208	138	446
	結婚の %	2.0%	2.5%	17.9%	46.6%	30.9%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の20.0%。最小期待度数は2.20。

期待度数が5未満のセルの比率が20%であり、基準となる20%を超えていた。そのため、 χ^2 検定結果を信頼するに十分ではなく、有意か、有意でないかの判断を下すことはできなかった。

Q15 今の自分が持っている物は、私のこれまでの努力の証(あかし)だ

Q15 努力の証 クロス集計表

		どちらか					合計
		という		どちらと	どちらか		
		そう思わ	そう思わ	も言えな	という	そう思う	
		ない	ない	い	そう思う	そう思う	
既婚	度数	58	45	132	71	31	337
	結婚の %	17.2%	13.4%	39.2%	21.1%	9.2%	100.0%
未婚	度数	23	16	36	18	16	109
	結婚の %	21.1%	14.7%	33.0%	16.5%	14.7%	100.0%
合計	度数	81	61	168	89	47	446
	結婚の %	18.2%	13.7%	37.7%	20.0%	10.5%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は11.49。

注2) $\chi^2(4)=4.820$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく ($\chi^2(4)=4.820$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係が

ないという仮説は、棄却されなかった。

Q21 身の丈(みのたけ)に合わない物は持ちたくない

Q21 身の丈 クロス集計表

		どちらか					
		どちらか という と思わ ない	どちらと も言えな い	どちらか という と思わ ない	合計		
既婚	度数	19	29	67	116	104	335
	結婚の %	5.7%	8.7%	20.0%	34.6%	31.0%	100.0%
未婚	度数	8	6	20	41	34	109
	結婚の %	7.3%	5.5%	18.3%	37.6%	31.2%	100.0%
合計	度数	27	35	87	157	138	444
	結婚の %	6.1%	7.9%	19.6%	35.4%	31.1%	100.0%

注1) 期待度数5未満のセルは、全体の0.0%。最小期待度数は6.63。

注2) $\chi^2(4)=1.735$, n. s.

χ^2 検定の結果は、有意ではなく($\chi^2(4)=1.735$, n. s.)、結婚と回答行動との間に関係がないという仮説は、棄却されなかった。

(【記号的意味の付与】のクロス集計結果は、以上)

4章 おわりに ～問題点と今後の課題

この章では、本調査における問題点を、3つに絞って指摘し、今後の課題としたい。

- (1) 本調査において、消費態度を測定する際、6つの要因のみに着目した点に、問題がないわけではない。例えば、間々田(2005)は、消費社会の動向について、(1)機能的改良から記号的な意味付与へ、(2)画一的大量消費から消費の多様化と個性化へ、(3)プロシューマー化、(4)ゆとり消費の追及、(5)私的消費から社会的消費へ、(6)文化的消費の活発化、(7)情報消費の増大、(8)消費財の低質化と低価格化、という8つの見通しを、批判的に検討している。この観点からみると、本調査は、(1)の記号的な意味付与と、(2)消費の多様化と個性化に、かなり偏った意見項目の構成になっていると言える。そのため、消費態度の全体像を測定することはできないとの欠点がある。また、調査の名称についても、本調査を「消費に対する基本的態度調査」と呼ぶことは、いささか不適切であったと考える。しかし、このような要因の偏りは、別の見方をすると、研究対象の焦点を絞り込み、明確化しているというメリットもある。消費態度に関する限定された範囲についての調査であることを、十分に配慮するならば、そこから得られる調査結果から、意義のある知見を得ることが可能だと考える。
- (2) 本調査は、年齢層別の消費態度の違いを明らかにし、また、消費態度の違いを測定する尺度を用いて、市場を細分化する方法を開発し、企業のマーケティング対応に関する知見を生み出すことを目標とした一連の研究の第1ステップとして行われた。消費態度を測定することが可能と思われる複数の意見項目からなる合成尺度を作成し¹、概念の整理などを行った後に、データの解釈を行うことを意図して、本調査項目は作成されている。合成尺度を構成することを前提として、各意見項目が作成されているため、本調査に用いられた意見項目の中には、類似のものも含まれている。そのため、これらの調査結果を、単純集計・クロス集計のレベルで、統一的に解釈することには、課題も多い²。つまり、本調査報告書は、「即自的関心の問い³」(盛山, 2004)を満たすためのものというよりも、基本的なデータの構造を正しく理解し、消費態度に関する

¹ その方法については、例えば、森岡編(2007, p.189-198)を参照のこと。

² 単純・クロス集計レベルでの統一的解釈が困難であるからこそ、今後、多変量解析の手法を用いて合成尺度を構成し、データの解釈を試みようとしている。

³ 「即自的関心の問いとは、ある現象を観察したり、データを集めたりすることそれ自体に意義があると考えられているような問いである」(盛山, 2004, p.50)。盛山(2004)によると、官庁統計、重要争点に関する世論調査、企業にとっての市場調査、「福祉ニーズ調査」などの実態調査といった実務的調査の多くが、即自的関心の問いによって支えられた調査だとされる。それに対して、本調査を通じて、最終的に明らかにしたい問いは、「理論的関心の問い」(盛山, 2004)に対応する。理論的関心の問いとは、「…なんらかの理論背景との関連において立てられるような問い」(盛山, 2004, p.50)である。本調査における理論背景については、「4章 おわりに」の(3)の(i)(ii)(iii)(iv)を参照のこと。

仮説を発見するための材料として活用することにあると思われる⁴。そのため、全体としては、統計表とコメントの長い羅列が続いていることは否めない。

- (3) 本調査のサンプルは、山口県山口市の旧山口地区から抽出を行っている。つまり、旧山口地区の人々をひとつの集団とみなし、その集団に属する人々の平均的な消費態度を測定しているのであり、決して、平均的な日本人の消費態度を測定しているのではない。そのため、本調査報告書は、極めて狭い範囲について調査・分析しているに過ぎないとの疑問が生じ得る。調査対象となる集団の選択が恣意的であり、旧山口地区住人という集団は、日本人を代表しているとは言えないという批判である。しかし、もし仮に、日本人全体を母集団として、サンプリングを行った場合であっても、別の疑問が生じる。なぜ、アメリカ人全体が研究対象ではないのか、なぜ、中国人全体ではないのか、なぜ、アジア人全体ではないのか、なぜ、人類全体ではないのか……。盛山(2004)によると、ある母集団を設定し、そこから標本を取り出すときの「代表性」の問題と、どの集団を研究対象として取り上げるのか、という意味での「代表性」の問題という2つが存在している。前者については、「データ収集のしかたが適切である限りにおいて、統計的研究にとっての代表性は問題にしなくてもいい」(盛山, 2004, p.36)。しかし、後者については、次のように考えることが適切だという。

どんな集団に対する統計的研究であっても、もしも研究の成果が何らかの観点からみて学問共同体にとって意義のあるものと認められるならば、その集団を取り上げたことは十分に意義のあることなのだ。要するに、本当は「代表性」とか「典型性」とかはむしろどうでもいい。どんな事例や集団であれ、ポイントは、しかるべき問いを立ててそれに答えるという探求の中で意義ある活用のされ方をしているかどうかである。(盛山, 2004, p.36)

本調査報告書の背景には、(i) 1980年代～1990年代初頭にかけて見られたとされる消費態度は、バブル崩壊以降の景気低迷を受けて、日本社会から消滅してしまったのか、(ii)バブル期までとは全く異なった消費態度を、今の日本の消費者は、持つようになったのか、また、その特徴は、どのようなものか、(iii)異なる消費態度を持つ複数のセグメントに、日本社会は細分化されているのか、また、どのような性質を持つセグメントに分かれているのか、(iv) (i)で述べたような消費態度を持つ人々は、現代の日本社

⁴ 調査報告書は、その目的に応じて、(1)調査結果をシンプルに提示するタイプ、(2)調査結果とその説明・解説を行うタイプ、(3)調査結果とその発展的利用～命題分析を進展させた論文の形式～を行うタイプ、(4)調査結果とその発展的利用～調査結果にもとづく提言や批判・企画立案～を行うタイプ、のような4つのタイプに分類できる(森岡編, 2007)。この分類に従うならば、本調査報告書は、(1)に相当する。このタイプの報告書では、データの解釈の多くを、読者に委ねることになる。

会に生き残っているのか、といった消費態度の構造や変動過程を明らかにするという理論的な問題意識がある。盛山(2004)に従って考えるならば、旧山口地区住人という集団を調査・分析することを通じて、これらの「問い」に答えるための「ヒント」を、あるいは、意味のある「仮説」を導き出すことができるかどうかという点に、研究の意義の有無がかかっている。この点については、今後の課題として残されている。引き続き、研究を進めていきたい。

【参考・引用文献】

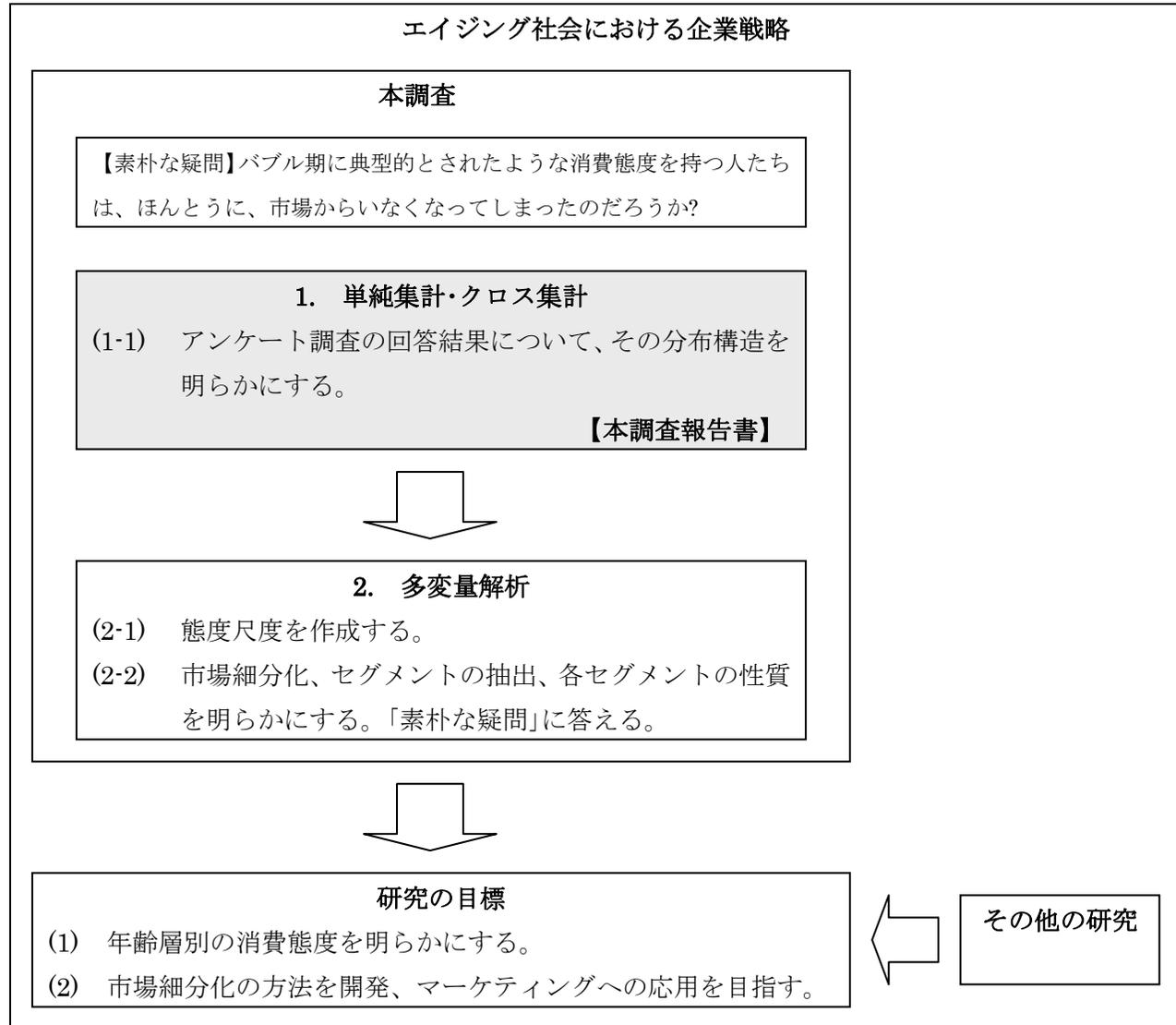
- 盛山和夫（2004）『社会調査法入門』（有斐閣ブックス）有斐閣
間々田孝夫（2005）『消費社会のゆくえ 記号消費と脱物質主義』有斐閣
森岡清志編（2007）『ガイドブック社会調査 第2版』日本評論社

(以上)

【資料1】研究計画全体像

背景となる問題意識

- (i) バブル崩壊以降の景気低迷を受けて、1980～1990年代初頭にかけて見られたとされる消費態度は、日本社会から消滅してしまったのか。
- (ii) バブル期までとは全く異なった消費態度を、今の日本の消費者は、持つようになったのか、また、その特徴は、どのようなものか。
- (iii) 異なる消費態度をもつ複数のセグメントに、日本社会は細分化されているのか、また、どのような性質を持つセグメントに分かれているのか。
- (iv) (i)で述べたような消費態度を持つ人々は、現代の日本社会に生き残っているのか。



【資料2】「消費に対する基本的態度」に関する研究調査

平成 21 年度調査

調査協力をお願い

初夏の候、皆様におかれましては、ますますご繁栄の事とお喜び申し上げます。

現在、柳田研究室では、消費に対する基本的態度を統計的手法により明らかにすることを目的とした研究調査を行っております。市民のみなさまの消費や将来に対する考え方・スタンスを明らかにするための心理尺度の開発を通じて、消費の活性化や経済振興を考える契機となる研究を目指しています。そこで、皆様のお考えやスタンスをお伺いしたく、今回、アンケート票を送付させていただきました。突然の郵送で、大変恐縮ではございますが、皆様の率直なご意見を回答していただければ幸いです。

なお、ご回答は、封筒に記載されているお名前のご本人様にお願い申し上げます。

このアンケート票は、平成 20 年 12 月 31 日現在の山口市住民基本台帳から、20 歳以上 69 歳以下の方を対象に、山口地区(大殿、白石、湯田地区)在住の約 1000 名の方に配布しております。対象となる方は、無作為抽出というくじ引きに似た方法で選びました。本調査から知り得た情報は統計的な処理を施しますので、個人が特定されることは一切ありません。また、研究調査目的以外に利用することはありません。なお、アンケートの分析結果につきましては、研究論文・学会での報告というかたちで公表させていただく予定です。

お忙しいところ、大変申し訳ありませんが、何卒ご協力をお願いいたします。

本調査は、科学研究費補助金(課題番号 19653031, 平成 19~21 年度)を受けた研究の一部として実施しています。

回答済みのアンケート用紙を、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、

2009 年 7 月 31 日(金)までにご投函ください。

多少遅れても、ご返送くださることを歓迎いたします。

【研究代表者】

●●●●● (大学住所)

山口大学経済学部 准教授

柳田 卓爾 (やなぎだ たくじ)

【問い合わせ先】

柳田 卓爾

電話番号 ●●●●●●

E-mail ●●●●●●

「回答方法のご説明」へ ⇒

☆☆☆ 回答方法のご説明 ☆☆☆

このアンケート票は、全部で8ページ(表紙を含む)あります。それぞれの質問文を読み、選択肢から適切なものと思われる番号を選び、直接○をつけてください。以下では、このアンケート票の回答方法について、ご説明いたします。最初に必ずご一読ください。

<回答例1> 通常タイプの質問への回答方法

質問文を読み、選択肢の番号に直接○をつけてください。

あなたの、性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

<回答例2> 表形式の質問への回答方法

※回答方法に注意してください!

説明：意見項目に書かれている意見に関して、もっともぴったりする選択肢の番号に直接○をしてください。

賛成・反対の程度 意見項目	5. そう思う	4. どちらか というと思う	3. どちらとも 言えない	2. どちらか というと思わない	1. そう思わない
自分自身の社会的な地位 や役割にふさわしい物 を持ちたい	5	4	3	2	1
良い物を買うと、自分の 価値が高まった気持ちに なる	5	4	3	2	1

<回答例3> 記述回答欄への回答方法

回答欄におさまるように、わかりやすい字で、お書きください。

あなたの、出身都道府県をお答えください。

山 口 県

ご協力いただける場合は、次のページからの質問に回答してください。

それでは、よろしくお願い致します。

☆☆☆ 質問項目 ☆☆☆

【個人属性】

1. 最初に、あなたご自身についてお聞きします。

1-1. あなたの、性別をお答えください。

1. 男性 2. 女性

1-2. あなたの、年齢をお答えください。
(2009年7月1日現在での年齢をお答えください。)

 歳

1-3. あなたの、出身都道府県をお答えください。

1-4. あなたが最後に行った学校(最終学歴)は、次のどれに当たりますか。中退、在学中も卒業と同じ扱いでお答えください。

1. 中学 2. 高等学校 3. 短大・高専・各種専門学校(高等学校卒業後)
4. 大学 5. 大学院 6. その他

1-5. 現在、ご結婚されていますか。

1. 既婚 2. 未婚(結婚経験あり) 3. 未婚(結婚経験なし)

1-6. あなたがご自身の消費のために自由に使うことのできるお金(いわゆる「お小遣い」です。貯金する分は除いて下さい。)は、1ヶ月当たり、いくらですか。おおよその金額をお答えください。(千円台の方は、例えば、8000円の場合は、0.8と記入)

 万円

「消費に対する基本的態度」(4~7ページまで)質問項目へ ⇒

【消費に対する基本的態度】

2. 次に、消費に関連する様々な意見について、あなたがどのように思われるかをお聞きします。意見項目に書かれている意見に関して、もっともびったりする選択肢の番号に直接○をしてください。(回答の仕方は、2 ページの回答例 2 を参考にしてください。)

賛成・反対の程度 意見項目	5. そう思う	4. どちらか というと思う	3. どちらとも 言えない	2. どちらか というと思わない	1. そう思わない
自分自身の社会的な地位 や役割にふさわしい物を 持ちたい	5	4	3	2	1
良い物を買うと、自分の 価値が高まった気持ちに なる	5	4	3	2	1
自分のファッション・ センスを、もっと磨 (みが) きたい	5	4	3	2	1
私の人生に、解決できな い問題はない	5	4	3	2	1
欲しい物が買えないと、 みじめな気持ちになる	5	4	3	2	1
他人と似たようなファッ ションはしたくない	5	4	3	2	1
流行しているものが好き だ	5	4	3	2	1
買いたい物が、私には たくさんある	5	4	3	2	1
持ち物を見て、その人が どんな人物かを判断する ことが多い	5	4	3	2	1

賛成・反対の程度 意見項目	5. そう思う	4. どちらか というと思う	3. どちらとも 言えない	2. どちらか というと思わない	1. そう思わない
友だちとの違いの演出を、おしゃれの基準として重要視している	5	4	3	2	1
私の将来は明るい	5	4	3	2	1
人まねは好きではない	5	4	3	2	1
東京は、私にとって魅力的なところだ	5	4	3	2	1
プレゼントをもらうと、贈り主の気持ちが自分に伝わってくる	5	4	3	2	1
今の自分が持っている物は、私のこれまでの努力の証(あかし)だ	5	4	3	2	1
私の夢は、必ず叶う(かなう)	5	4	3	2	1
自分らしいライフスタイル・生き方へのこだわりを、私は大切にしている	5	4	3	2	1
個性的でありたい	5	4	3	2	1
消費に使えるお金に余裕があれば、私は幸せだ	5	4	3	2	1

質問は 6～7 ページに続きます ⇒

賛成・反対の程度 意見項目	5. そう思う	4. どちらか というと思う	3. どちらとも 言えない	2. どちらか というと思わない	1. そう思わない
セレブのような生活に、 あこがれる	5	4	3	2	1
身の丈(みのたけ)に合わ ない物は持ちたくない	5	4	3	2	1
良い商品は、私の人生を 豊かにする	5	4	3	2	1
自分自身の幸せを、一番 大切にしたい	5	4	3	2	1
どんな困難があつたと しても、私の人生は良い 方向に向かっていく	5	4	3	2	1
他の人とは違った物を 持ちたい	5	4	3	2	1
今の私は、希望に満ちて いる	5	4	3	2	1
欲しい物が手に入れば 入るほど、私は幸せに なれる	5	4	3	2	1
自分らしい商品を手 に入れるためなら、お金は 惜しまない	5	4	3	2	1
有名人やモデルのファッ ションが気になる	5	4	3	2	1
貯蓄するより、消費 したい	5	4	3	2	1

賛成・反対の程度 意見項目	5. そう思う	4. どちらか というと思う	3. どちらとも 言えない	2. どちらか というと思わない	1. そう思わない
高級ブランド品を たくさん持っている人 が、うらやましい	5	4	3	2	1
服を購入する際、友人と 似たファッションになら ないように気をつける	5	4	3	2	1
他人の持っている物が、 良く見えてしまう	5	4	3	2	1
自分の趣味や好みを基準 にして、買うものを選ん でいる	5	4	3	2	1
私の人生は右肩上がりだ	5	4	3	2	1
自分と同じファッショ ン・アイテムを友だちが 持っていることが分かる と、良い気持ちがしない	5	4	3	2	1

これで質問は終わりです。

長い間、面倒な質問に回答していただきまして、ありがとうございました。大変恐縮ですが、初めに戻って、記入漏れや書き間違いがないかどうか、もう一度、ご確認をお願い致します。

皆様からいただきましたご回答は、学術研究における貴重な資料として活用させていただきます。

なお、本調査についてのご意見やご感想、消費に関するご意見などを、以下にご記入いただければ幸いです。書ききれない場合は、余白や別紙にお書きいただいても構いません。

【自由記入欄】

【御礼について】

本アンケートに回答していただいた方の中から抽選で、ささやかではございますが、下記の品をお送りしたいと思います。希望される方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入いただき、このアンケート票を返送していただきますようお願い致します。なお、当選の発表は、発送をもって代えさせていただきます。また、抽選に関するお問い合わせにつきましては、大変申し訳ありませんが、お断りさせていただきます。

お品を希望されない方は、未記入のまま、返送していただけますようお願い致します。

品 ギフトカード(500円分)

20名

こちらに書いていただいた住所、氏名等を、本調査の分析に利用することは、決してありません。抽選し、お品を郵送するためにのみ利用します。また、御礼の品にかかる費用（郵送料含む）につきまして、科学研究費補助金からの支出は、一切ありません。安心して、ご希望ください。

住所	(〒 -)
電話番号	() -
氏名	ふりがな

また、本アンケートに回答していただいた方で、集計・分析結果についてご興味のある方は、下記に e-mail アドレス(パソコンのアドレスのみ、携帯アドレスは不可)をご記入下さい。集計・分析終了後、集計・分析結果のファイルのリンク先をご連絡いたします。

e-mail アドレス

【研究代表者】

柳田 卓爾 (やなぎだ たくじ)

山口大学経済学部准教授

消費に対する基本的態度調査 単純集計・クロス集計結果報告書

(科学研究費補助金による支援を受けた研究成果の一部)

2012年1月末日 発行

柳田 卓爾
山口大学経済学部
〒753-8514
山口県山口市吉田 1677-1

©2012 Takuji Yanagida, Department of Economics, Yamaguchi University

本書の全部または一部を無断で複製複製（コピー）することは、著作権法上で禁じられています。